



60

th Anniversary

株式会社
中央コーポレーション
創立60周年記念誌



株式会社中央コーポレーション

〒025-0003 岩手県花巻市東宮野第11地割5番地

TEL 0198-26-3033 FAX 0198-26-3035



Instagram



Home Page

株式会社中央コーポレーション創立60周年記念誌





東日本大震災
復興の軌跡

60
th Anniversary

株式会社
中央コーポレーション
創立60周年記念誌



株式会社中央コーポレーション

経営理念

鋼と建設の高度な技術で
社会に貢献します

方針

1. 顧客の生涯の最大化を目指します
2. 社員及び関係者の物心両面の幸福を目指します
3. グループ企業の永続的発展を目指します



中央製作所時代の社是「和を以て貴しと為す」

CONTENTS

ごあいさつ

株式会社中央コーポレーション 代表取締役社長

佐々木 史 昭 1

祝 辞

株式会社横河N S エンジニアリング 代表取締役

湯 川 雅 之 3

株式会社 HART

高 木 錄 郎 4

株式会社中央コーポレーション顧問・元衆議院議員

畠 浩 治 5

元専務取締役 現相談役

菅 原 博 6

元監査役

藤 原 正 克 7

第1章 座 談 会

1. あの時、今、未来へ

— 東日本大震災後の復興工事を乗り越え成長したわが社 — 9

2. 岩手・花巻から首都圏へ進出

— 復興工事の実績を生かし新たな土地で挑戦 — 21

第2章 インタビュー

1. 最前線で活躍する女性社員の声を聞きました

2. 鉄構業界初のブライト 500 企業

— 経営陣が語る「健康経営の実践と課題」 — 35

3. 夜明けの鉄路の先に描く未来

— 磨き続ける技が守る鉄道の安心 — 39

4. 誇りを胸に挑んだ挑戦の先に見えたもの

— 溶接競技会で磨かれた、技術者たちの歩みとその継承 — 45

第3章 工事実績

震災復興工事・橋梁 51

震災復興工事・水門 55

震災復興工事・陸閘 59

三陸復興工事 施工実績マップ 63

震災復興後・橋梁 65

震災復興後・水門 67

JR 68

関東工事 69

その他工事 71

工事実績表 72

第4章 経営状況

事業報告 79

経営状況推移 84

資料編

1. アーカイブ

当社 10 大ニュース (2015 年～ 2024 年) 87

社長賞 (2015 年～ 2024 年) 89

ピックアップ 90

2. 令和 7 年正月 社長年頭の辞 92

3. 60 周年設備投資計画 99

4. NETIS 技術 101

5. 資格者一覧 105

6. 橋梁ボランティア 106

7. 共済会活動 10 年史 109

8. 会社年表及び沿革 111

9. 組織図 113

10. 役員在任期間一覧 114

11. 全体写真・部署別写真 115

12. 表彰状・感謝状一覧 124

13. 社内安全ポスター&標語コンテスト 132

14. 社内ゴルフコンペ結果一覧 137

編集後記 138

ごあいさつ

株式会社中央コーポレーションは、創業者高橋吉助が個人営業していた中央製作所を昭和40年（1965年）10月4日に株式会社化して以来、今年で60年を迎えました。10年前の2015年に発行した創立50周年記念誌において、江戸末期まで遡る当社の源流に触れ、5世代160年にわたる歴史を紹介させていただいておりますので、60周年記念誌においては、それ以降の10年間について、特に2011年に発生した東日本大震災の復興に当社が果たした役割と意義に着目してとりまとめました。

東日本大震災とその復興は、岩手県にとっても当社にとっても、歴史に残る大きな節目となる出来事でした。当社は発災翌日の3月12日から岩手県鉄構組合と連携し岩手県沿岸部の600カ所に及ぶ水門・陸閘の応急復旧、調査等に岩手県の別働隊となって協力しました。本格復興過程においては、これまで経験のない大規模な橋梁、水門、陸閘が数多く岩手県から発注されました。岩手県の入札が総合評価落札方式となり、県内に橋梁・水門の施工実績を有する企業が複数存在したこと、震災翌日から実働できる地元メーカーがあることの重要性を県当局が再認識したこと、岩手県鉄構工業協同組合が鉄構業界を代表し信頼感をもって話し合いできる存在となったこと等様々な環境が整い、大型橋梁・水門・陸閘を元請として県内企業が施工し、立派に完成させ、メンテナンスまで対応出来るようになり、岩手県の鉄構業界の成長と成熟を感じる歴史的な10年となりました。

河口部の津波対策水門には日本最大級のシェル構造サニットゲートが複数採用され、当社は丸島アクアシステムさんと特定JVを構成し甲子川水門、大槌・小鎌川水門、鶴住居水門の3件のWTO案件を受注、その他にも多くの大型水門・陸閘を復興JVないし単社の元請で完成し、東日本大震災復興工事で当社が据え付けた水門・陸閘・橋梁は、元請・下請含め150箇所を超えてます。現在は、岩手県および沿岸自治体から水門・陸閘の年次点検設備業務委託を請負い、24時間365日正常な稼働を確実にする維持管理を担っております。橋梁についても、大船渡川口橋は橋長180mの3径間連続非合成箱桁、宮古西大橋は橋長430mの7径間連続細幅箱桁、陸前高田今泉大橋は橋長280mの6径間連続非合成鉄骨など、多くの大型橋梁を特定JVないし単社で完成させ、複数の優良工事表彰を受賞しました。

震災後8年が経過した2019年令和元年には、埼玉県さいたま市に関東営業所を開設しました。最初は三浦正人所長1名の小さな営業所でしたが、日鉄エンジニアリングさんの合成床版橋（パネルブリッジ）の元請・下請工事、河川改修に伴う水門改修、JR東日本向け重要鉄道構造物など当社の強みとする分野で、元請・下請ともに予想以上の営業成績をあげることができ、東京都の白鷺橋、神奈川県の厚木土木事務所83号橋において優良工事表彰も受賞し、2024年度関東営業所受注額は全社の約40%を占めるまでになりました。

この10年は東日本大震災の復興をバネに、会社・社員それぞれが千載一遇のチャンスにしっかりと取り組み、技術力を伸ばし、立派な実績と自信を付け、企業力を格段に飛躍させた10年だったと思います。復興需要の減少を睨み、インフラ整備需要の大きい関東に営業拠点を展開するタイミングも絶妙で、東日本全体に搖るぎない地盤を構築しつつあると考えます。

若年社員の採用も順調に進み、女性社員も増え、社員の平均年齢も若返り、10年前とはまるで違う会社であるかのような感じさえ受けます。令和7年9月の株主総会において、長年当社を支えてきた複数の役員が退任し経営陣の若返りが進み、今後10年、20年の舵取りを担う顔ぶれとなりました。次世代にとっても働きやすい環境整備をすすめ、社会に必要とされる公器として、長期的視野にたって人財を育て大切にする経営を続けて参りたいと考えております。

数多くのみなさま方のご協力を頂き、株式会社中央コーポレーションが創立60周年を迎え、さらなる未来へ発展し続けられるよう、社員一丸となって邁進することをお誓いし、会社を代表して心からの感謝と御礼を申し上げます。

令和7年（2025年）11月15日

株式会社中央コーポレーション

代表取締役社長

佐々木 史昭





ご 祝 辞

株式会社横河 N S エンジニアリング

代表取締役 湯川 雅之



ご 祝 辞

株式会社 HART 高木 錄郎

(2012.8 ~ 2021.9 顧問在籍)

株式会社中央コーポレーション様が創立 60 周年を迎えたこと、心よりお祝い申し上げます。創立 50 周年の折に拝聴いたしました「鉄工業創業 75 年、建設業に携わって 150 年」(現在は + 10 年) の歴史の重みに感銘を受けたことを今も鮮明に記憶しております。経営理念である「顧客第一主義、鋼と建設の高度な技術で社会に貢献します」を体现され、今日のご繁栄を築いてこられたことに改めて深く敬意を表します。

私ども横河 N S エンジニアリングは、2009 年 7 月に住友金属工業(現・日本製鉄)の建設エンジニアリング部門を分社化して設立された、まだ若い会社ではございますが、株式会社中央コーポレーション様のご支援をいただきながら成長してまいりました。主力製品である合成床版 (TRC 床版) の製作においては、優れた品質と多岐にわたる顧客ニーズへの対応力で、弊社の草創期を力強く支えていただきました。

また、東日本大震災を契機に開発した「ハイブリッド防潮堤」においては、全く新しい形式である大型合成構造物の製作をご担当いただき、約 1 年という短期間で製品化を実現することができました。本製品は、宮古港において延長 1,800m、高さ 8m の頑強な雄姿を示し、今なお大津波から宮古市街を守り続けております。このような大きな成果を上げることができたのも、若き日に同じ職場でご一緒させていただいた佐々木社長との信頼関係の賜物であると心から感謝しております。

佐々木社長とのご縁は、私が平成元年に住友金属工業へ入社した当時に遡ります。3 年先輩であった佐々木社長は、すでに橋梁技術の第一線で活躍されており、数多くのご指導をいただきました。平成 6 年には、当時の株式会社中央製作所に戻られ、若くして社長にご就任。その後も、仕事はもとよりプライベートでもご一緒する機会に恵まれ、常に前向きで明るいお人柄、真摯な姿勢、そして難易度の高い大型工事や新規分野への果敢なチャレンジ精神から、多くを学ばせて頂きました。今後とも、経営の“大先輩”として大所高所からのご助言を賜れましたら幸いです。

これから我が国のインフラ整備においては、老朽化が進んだ施設の維持修繕がますます重要になってまいります。御社と共同で取り組んでいる大規模更新向け新型橋梁「NY ラピッドブリッジ」の拡販などを通じて、両社の関係をより一層深め、次の 10 年、20 年、さらには株式会社中央コーポレーション様の創立 100 周年に向けて、Win-Win の関係をさらに『しんか(進化と深化)』させ、両社の企業価値向上を目指してまいりたいと考えております。

なお、遙か先の佐々木社長の背中を追いかけているゴルフについては、今一度精進し、少しでも近づけるよう努力してまいります。こちらにつきましては、一方的なご指導を何卒よろしくお願ひいたします。

結びに、株式会社中央コーポレーション様のさらなるご発展と社員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げ、私の祝辞とさせていただきます。

このたびは、創立 60 周年、誠におめでとうございます。

2011 年 3 月発生の東日本大震災を区切りに、前職を辞めて縁あった佐々木社長にお願いし 2012 年 8 月から 10 年間、中央コーポレーションで復興工事への何らかのお手伝いをと毎月名古屋からお邪魔しました。この間に、私の貴重な経験をした一つ目は若い人との交流です。

復興工事のような大規模工事には技術力、人材、施工経験など地元の建設会社には足らないと思われがちですが地元の復興を自分たちの手でという思いがあるはずです。そんな地元の思いへの技術協力が復興に叶えると思いました。

若い社員に技術資格を持った技術者に育てようという気持ちで 1 級、2 級土木施工管理技士の受験勉強会を開かせてもらいました。必ずしも建設系の学校を終了した人ばかりでなく、受験勉強は理解しにくい知識も必要です。携帯電話やパソコンの便利な時代ですから考えたことを文章化し、手書きすることに慣れていない年代ですから試験官のように厳しく接し苦労かけました。受験を希望する人たちには、資格取得は自分の終生の財産になることをモットーに頑張ってもらい、受験翌年 2 月の結果発表には合格者、不合格者といずれも喜び、あるいは残念がりと、そして素人の指導方法への反省でした。

そして、二つ目は防食技術への出会いです。

初めて訪れた頃、会社では金属溶射という防食技術を始められており、興味を持たせていただきました。猪狩部長中心に安全かつ長期耐力のある無機系封孔剤を使うことに着目されており、国交省新技術として NETIS 登録へのお手伝いをさせてもらいました。新技術の登録は会社技術力として大きな評価になるわけで、前職時代でも取得に苦労をしたものです。この防食技術で逆に多くを学ばせてもらいました。

福島原発汚水タンク水漏れ事故対策の手伝いを大手ゼネコン経由で頼まれていた頃、2017 年秋にドイツ製タンク洗浄用機械に出会いました。砂と水を混合して噴射洗浄するこの中古機械を塗り替え工事の湿粒プラスト工法として応用できないかを試行錯誤して考え、開発し、名古屋で NETIS 登録にこぎつけました。プラスト技術は乾式プラスト工法が主流であり、粉じん飛散が激しい作業環境で苦労されているのを見て、安全、かつ作業性の良い工法をと思いついたわけです。開発工法も理解を得ることに苦労しましたが、猪狩部長と共に岩手県工業技術センターの協力で気化水溶性防錆剤を開発し、先に開発した湿粒プラスト工法の品質向上にも役立つ新技術として、続いて NETIS 登録し、会社技術力アップに貢献できました。これらは従来の乾式プラスト工法の弱点を補う補修技術工法として期待され、会社の技術力が東北から全国的に認められていくことに感無量であります。

末筆となりましたが、中央コーポレーションが社員と会社が高い技術を持った企業として益々飛躍されることを祈念し創立 60 周年のお祝いの寄稿とさせていただきます。



岩手のエクセレントカンパニーとして益々の発展を！

株式会社中央コーポレーション顧問・元衆議院議員

畠 浩治



創立60周年によせて

元専務取締役 現相談役 菅原 博

株式会社中央コーポレーション創立60周年おめでとうございます。中央コーポレーションのこれまでのインフラ整備や岩手県の地域活性化、経済発展に果たしてきた役割とそれを支えてきた先達と現在の役員社員の皆様の活動に敬意と感謝を申し上げる次第です。

私自身も、平成27年から貴社で顧問をやらせていただいておりますので、私にとっても本年は顧問就任10周年という節目の年になりました。貴社で顧問をやらせていただききっかけは、私と佐々木史昭社長が高校の同級生として從来より旧知の関係にあったことになります。国土交通省、衆議院議員と公の立場で建設行政に携わってきた私ですが、民間企業の立場から建設業を見つめてみたいという思いがありました。

行政官の立場、政治家の立場として見てきた建設業界を、民間企業の中から見てみると、改めて新鮮で勉強になることが多い日々です。それは、建設会社は、日頃から自社の強みを把握して事業獲得のための戦略を緻密に議論立案し、技術力を磨き、いいものを作ろうとしているということです。そして、自分の事業を通じていかに地域社会に貢献しようかと日々考えていることです。東日本大震災の復旧復興において中央コーポレーションの果たした役割の大きいことは私の言うまでもないことです。貴社の中にいて貴社の活動を、現実に体験してみると、役所の立場で考えていたことと実務との違いを感じ、いかに現実を知らずにいたのかという気持ちを持つこともあります。

私は、鉄構幹部会に参加させていただいて、またその後に若手の皆様と語らせていただいて、貴社のすばらしさを実感しております。そのすばらしさとは、真面目でしっかりと仕事ぶりです。案件受注に向けて綿密な戦略を立て営業活動を行い、技術力を磨き、受注した案件については誠心誠意いいものを工期内につくろうと努力する、という意識がいつも感じられます。単なる形式的な報告にならずにいつもいい議論が行われていると感じています。貴社にいて感じることは、皆が会社のことを日頃から真剣に考えているということです。派手さや自己主張は強くないのですが、いつもいい加減さを排してまじめに仕事に取り組んでいる姿勢、やらせてみるとすごい能力のあることなど、岩手県人のいいところが現れた典型的な岩手のエクセレントカンパニーと言える会社だと思います。

貴社が手掛けたある直轄の歩道橋工事についての思い出があります。発注者たる国土交通省の事務所からの度重なる発注時期の変更や工事変更に伴う工事費の変更がある中で、かつ、周辺の住民への環境対策や店舗対策という難しい対応が求められる中、そのような状況に的確かつ柔軟に対応し、高欄の目隠しの設置、看板設置や工事における安全対策を行い、無事に完了させたことがありました。必ずしも多大な利益に結び付く工事であるわけでもないのに、現場代理人に加え、本社の工事部長も現場に常駐させるなど万全の体制で施工に当たったという努力も見て参りました。この工事は事務所長表彰を受けたのですが、これが中央コーポレーションイズムだと思いました。

東日本大震災の復興事業も落ち着き、全体の公共事業費をめぐる状況も予断を許さないものがあります。また、建設業における社員の高齢化や若者の採用の難しさなどの問題も現れています。しかし、建設産業は、生活や産業といった全ての国民活動の一番の基本である国土と地域を支えていく基幹産業であります。特に災害の多い我が国においてはエッセンシャルワーカーとしての産業の最たるものであります。その中でも、かなりすばらしい仕事ぶりで発展して来た貴社のような地域を支える優良企業の占める位置がますます重要なってくると私は確信しますし、またそうでなければならぬと考えます。

私は、佐々木史昭社長とは、月1回山登りもしている山仲間もあります。佐々木史昭社長と頂上を目指しながら建設産業のことや中央コーポレーションの未来について語り合う時間は大変貴重で刺激的な時間です。私は、貴社で顧問をやらせていただいていることに誇りを持っております。今後とも、貴社のすばらしさのPRや貴社のような地方のすばらしい企業が活躍できる環境の整備に向けた働きかけ、情報収集など、私のできる立場で頑張ってまいりたいと思います。

貴社の活動エリアは岩手、東北の枠にとどまらず関東など全国展開とも言える状況になっています。社員の皆様におかれましては、中央コーポレーションは全国的に見てもすばらしい会社であることに誇りを持って活動していただきたいと思います。

結びとなりますが、改めて貴社のますますのご発展と社員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

平成27年（2015年）に創立50周年の式典が開催され、その前年度には多くの復興工事を受注し、創立50周年の折は当社にとって東日本大震災の復興工事が本格的に始まる時期でした。そして令和6年1月31日（2024年）太平洋セメント大船渡工場に隣接する「普金2号、3号陸閘工事」をもって当社受注の全ての復興工事を完了させることができました。このことは復興工事を立派に完成させようという弊社職員の努力と熱意の賜だと考えます。また、同時に忘れてならないことは工事関係者並びに地元の漁業関係者そして一般住民の方々の御協力であり、感謝の念でいっぱいです。

さて、私達はこの10年間復興工事等を通じて何を学んできたのでしょうか。復興工事に際しては多くの大型構造物を手掛ける機会が有り、我々にとって多くの知識を業務に取り入れ、技術・技能を研鑽する良い機会になったと思います。多くの職員（各部署職員）が難しい現場を経験することで著しい成長を遂げました。仕事の内容が個人の成長を促したという事実からもそれを窺い見ることができます。私達が手掛けるほぼ全ての構造物は50年以上の長きに亘り社会資本として残るものです。社員全員がそのことを意識し、業務に取り組むことで、さらに良い方向に変化していくことを学んだのではないでしょうか。

そして、関東営業所の開設（令和1年9月開設）についても触れなければなりません。関東に営業所を開設する目的は、復興工事の終了を見越しての事でした。復興工事が終わることで、岩手県内公共工事は東日本大震災前の厳しい状況に戻ることが想定されました。以前から首都圏に本社を置く企業様との取引が多く有るにも関わらず、どちらかというと「待ちの営業」となっており、顧客の新規開拓が進まない状況でした。従って新規顧客の開拓を進めるとともに、これまでの取引企業様との取引量を増やしていきたいとの思いから関東に営業所を開設しました。右も左もわからない中、開設のために尽力し、今なお営業所運営に注力してくれた職員達の苦労を思うと感謝しかありません。初めての元請物件は埼玉県発注、令和2年2月25日契約の「芝宮橋」でした。思いのほか早く公共物件が受注でき、嬉しかったことが思い出されます。その後日鉄エンジニアリング様の御協力も有り、パネルブリッジを梃子に、地場GCにも食い込みながら受注の拡大が図られています。中堅GCの物件情報も密に取りながら受注に結びつけており、今後も楽しみが多いと感じます。またJR東日本向けの製作物件の受注拡大が実現していることについても関東営業所を開設した効果が大きいと考えます。この6年間、様々なことが有りましたが優秀工事表彰を東京都並びに神奈川県から授賞するなど、関東営業所員・関東工事課員の努力の甲斐もあり、受注額は当初予測よりも大きくなっています。今後益々の発展が期待されます。

最後に、これから10年間の過ごし方により職員がさらに成長し、会社が発展することを切に願いまして、私の寄稿文のまとめと致します。



創立60周年によせて

元監査役 藤原 正克

私が岩手銀行を退職後、当社に入社したのは2003年（平成15年）10月1日でした。

当時、当社は5月に中央製作所と中央建設工業が合併し、社名を現在の中央コーポレーションとして発足したばかりで、売上高は20億円程度だったと記憶しております。

入社後22年たった今、60周年記念誌にこの文を載せるにあたって10年前の50周年記念事業、記念誌の編集に携わったことを思いおこしています。

50周年の時、私は取締役総務部長で記念事業の打合せや記念誌への寄稿依頼など忙しくも楽しく仕事をしていましたと思っております。

さて、その後の10年ですが、当社にとってまさに復興工事の時代がありました。

2011年の東日本大震災から3年たった2014年3月から（株）丸島アクアシステム様との復興JVで「釜石港須賀地区ほか海岸災害復旧（23災144号ほか）陸閘設備ほか工事」を皮切りに17件ものJV工事を受注し完成させております。

私はJV工事が始まったときから、JV工事の経理を担当しておりましたが、2017年取締役総務部長を退任し、監査役として勤務させていただいている間も引き続きJV工事の経理を担当させて頂きました。

JV工事は「復旧・復興建設工事共同企業体（復興JV）」として当社が55%（株）丸島アクアシステム様が45%の比率で6件の工事を受注し完成させました。契約金額はJV全体で30億1600万円（当社分16億5900万円）となりました。また、同じく大同機工（株）様と復興JVでも同じ比率で6件、JV契約金額28億3000万円（当社分15億5600万円）を完成させております。

そのほか「特定・建設工事共同企業体（特定JV）」として、当社60%、（株）横河ブリッジ様40%の比率で施工した川口橋上部工工事では、契約金額8億7800万円（当社分5億2700万円）、当社55%、北日本機械（株）様45%の比率で施工した閉伊川横断橋上部工工事では、契約金額20億1900万円（当社分10億2700万円）をそれぞれ完成させました。

また、（株）丸島アクアシステム様が70%、当社が30%の特定JVのWTO案件では3件でJV契約金額が75億4000万円（当社分22億6200万円）とものすごい金額の工事を完成させております。

このように、JV工事だけで当社の工事金額は70億3200万円となっており、本当に復興工事の時代であったと痛感しております。JV工事は工期が概ね2~3年でしたが、（株）丸島アクアシステム様との復興JV「二級河川閑口川筋閑口川水門設備工事」は6年9ヶ月の長い工事となり現場代理人の高館和弥さん（現工事部主査）も大変だったと思います。

JV以外の私が関わった案件としては、2017年11月に西塚保さん（現工事部参与）が秋の叙勲で「瑞宝単光章」を受賞し、2018年2月には盛大に叙勲祝賀会を催しました。

そのほか、当社社長が理事長を務める「岩手県鉄構工業協同組合」から岩手県への推薦で2019年6月に「優秀建設施工者岩手県知事表彰」を菊池淳哉さん（現製造部次長）が受賞、その後2020年9月には「優秀施工者国土交通大臣顕彰」受賞しております。

また、同じく「優秀建設施工者岩手県知事表彰」を2024年6月に石森裕浩さん（現工事部次長）が受賞され、本年には大臣顕彰に推薦されております。

その他の案件としては、2014年に当社敷地南側の田圃600坪を新駐車場用地として賃借以来、2016年にはさらに1200坪を資材置場として賃借しております。さらに昨年2024年には駐車場用地の西側の田圃600坪を新駐車場用地として購入し、その南側900坪を新資材置場として購入しております。現在、さらに南側400坪ほどを購入することで進めているところです。

私が入社した頃に比べ、売上高、利益、敷地なども大きく増加し、これまでの会社の発展がうかがわれ同慶の至りであります。

これもひとえに佐々木社長の先見の明とリーダーシップによる社員教育の賜物と思っております。

第二の人生として22年間もお世話になったものとしては、感謝してもしきれない思いであります。中央コーポレーションが100年企業として今後ますます発展されることをお祈りし、60周年記念誌への寄稿文と致します。



中央コーポレーション 2015-2025 10年間の変革と成長





CHUOH
CORPORATION

60th ANNIVERSARY

あの時、今、未来へ —東日本大震災後の復興工事を乗り越え成長したわが社—

座談会 #1



平成 23 年（2011）3 月 11 日に起きた東日本大震災により多くの方が犠牲となりました。岩手県では 34 市町村のうち沿岸 12 の市町村が津波の猛威にさらされました。改めて亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

中央コーポレーションは、被災した従業員や家族がいなかったものの、震災を境に多くの試練と困難に立ち向かうことになりました。今、創立から 60 年の歩みを振り返る時、会社の歴史が大きく転換した出来事だったといつても過言ではありません。

被災地で数々の復興工事に携わった足跡はまさに「復興の歩み」そのものだったといえるでしょう。復興工事を手掛けたことで地域に貢献できただけでなく、技術や知識も格段に向上し大きな物件を完遂できる力を培いました。

改めて中央コーポレーションの震災体験や復興工事を後世へ伝えるため、当時の様子や思いを語り合い、ここに記憶と記録として残します。



佐々木 史昭 社長
(当時: 代表取締役社長)



菅原 博 専務
(当時: 常務取締役)



菅原 克彦 常務
(当時: 株式会社岩手銀行)



高橋 孝典 常務
(当時: 工事課課長代理)



あの時、私たちに何ができたか 中央コーポレーションそれぞれの 3.11

佐々木社長 本日は、60 周年記念誌制作にあたり、10 年を振り返り記念座談会を開催致します。テーマは「震災復興」と「関東営業所の開設」の 2 つとし、座長は私が務めます。当時を振り返っていただいて、とくに印象に残っていること、エピソードなどを自由にお話しいただければと思います。私からまず一言述べますと、震災前と比較して、よくあれだけ大規模な工事を、岩手県当局が地元企業に元請させることを決め、発注し、無事受注し、施工・完成させられたものだな、という思いがあ

ります。それまで当社や鉄構業界、岩手県当局が、積み上げてきた様々な実績をベースに鉄構業界が信頼を得て、震災復興を契機に一気に状況が進みました。まさに歴史の転換点であったと思います。まず専務から何でも結構ですので、お話しください。

菅原専務 東日本大震災の 2 日前に震度 5 強の地震がありました。私は水沢で業界の集まりへ行くため、車で移動中でしたが、電線が非常に揺れ、運転しているのも怖くて車を一旦止めました。おさまって会議へ出席し、帰路につきました。大震災はその 2 日後です。大変強い地震でした。発災



青木 彰人 部長
(当時: 工務課課長)



川守 永朗 部長
(当時: 東北営業所課長代理)



三浦 正人 所長
(当時: 品質管理課課長)



高橋 忍 課長
(当時: 工事担当課員)



菊池 淳哉 次長
(当時: 製造二係主任)

※表記の役職はすべて座談会開催時のものです。

直後、本社で仕事をしていた社員には一度外に避難をしてもらいました。社長は鉄構業界の行事で留守でした。何度も余震があり、そのたびに外に避難してもらいましたが、社員の皆さんには家族のことが気になり、電話をかけたりして仕事が手に付かない状況を見て、残る人だけを会社に残して、一般社員には帰っていました。

ただ、震災直後から岩手県の依頼も受け、応急復旧とか調査とか協力対応も結構やりましたよね？

社長が夕方に帰社され、発電機を事務所に持ってきて電源をとれるようになり、災害本部を立ち上げて、テレビで状況を確認できるようになりました。

最初に目に届いた画像は福島県相馬で津波が7メートルというものでした。その後、今度は宮古で車が流されている様子を見て、これは本当に大変なことが起こったと思いました。平素からお付き合いのある官公庁から要請があったら対応しなければいけないことを想定し、工事部の可能な方に待機をお願いしました。一夜明けて、当社社員が沿岸部へ出向いて現地調査、撮影した写真が届き、大きな水門施設も、アルミ陸閘も流され、めちゃくちゃになっている姿を見て、水の力は本



震災直後の沿岸部



被災した水門の調査



集められた災害支援物資



本当に恐ろしいと感じました。数日後、当社社長が懇意にしている大船渡市の豊島建設社長と連絡がとれ、支援物資の供給について話をしました。ちょうど、当社でJESエレメントを製作しており、納入先のJR西日本金沢支所栗林所長から、支援物資供給の問い合わせが来て、当社を経由して豊島建設さんに届きました。JR西日本支社や現場を施工している建設会社からも含めてトラック1台満載の支援物資を送っていただき、豊島建設さんの本社が流された後の臨時事務所へ持て行きました。

佐々木社長 震災直後から岩手県の依頼も受け、応急復旧とか調査とか協力対応も結構やりましたよね？

菅原専務 応急復旧と調査のため、当社から3グループ編成しました。岩手県全体で5～600ヶ所あったようですが、当社で200ヶ所はやりましたね。

高橋常務 地震発生3日後ぐらいに岩手県庁から水門、陸閘の点検要請があり、私と当時の設計課長の酒井さんと県庁を訪問しました。メーカーとして県から要請のあった会社は当社（県南担当）と北日本さん（県北担当）の2社のみだったはずです。停電のためエレベー

ターが動かず、河川課のある県庁7階まで何度も階段を往復した記憶があります。当社の工場も稼働していなかったので、現場点検には製造部のメンバーも含め、菊池淳哉さんなど複数人、複数車で対応しました。県から優先的に給油できる書類ももらいました。点検時に遺体を発見しても特に処置しなくて良いと指示がありました。大船渡地区では焦げ臭い匂いが充満し重油で汚れていて、水路や上屋内部を点検する際にはブルーシートで覆われている箇所もあり非常に緊張しました。また、調査中に緊急地震速報が鳴ったのを覚えていました。

高橋課長 自分が担当していた陸前高田の旧姉歯橋の補修工事が2週間ほど前に完了していて、現場から引き揚げた直後の震災発生でした。陸前高田市内のほぼ全てが流されて中心市街地は廃墟と化し、よく通ったラーメン屋もどこあるかわからない有様。補修した旧姉歯橋は橋脚から落ち、橋桁はバラバラになりました。別件で私が施工した陸閘2門も、1門は扉体がなくなり戸当りが引きちぎられており、もう1門も瓦礫に埋もれました。

佐々木社長 発災当時の会社の様子はどうでしたか？

三浦所長 震災当初は品質管理課所属で、工場で国交省さん発注のゲートの立会検査でした。これは尋常じゃない揺れだということで、国交省の方が検査をその場で止め



て帰られる事態になり、大変な緊急事態だと思いました。

高橋課長 私は発災当日夜、防犯担当として24時から会社に入りました。夜間、花巻市の職員の方がドラムの電源コードを貸してくれないか、ときました。その日は三浦さん、工事部の照井斉さんも会社に待機していたと思います。投光器を花巻の体育館に届けた記憶もあります。

佐々木社長 災害本部を立ち上げて、当社は発電機を使って夜間も明るくテレビで情報を取れ、地下水もくみ上げましたが、世間は電気もガスも水道もみんな止まっていたので、何かと頼りにされたのだと思います。グループ会社の中央石油でガソリンや軽油の在庫を保持できていたことも大きかったです。青木さんはどうでしたか？



青木部長 その日私は鉄構組合青年部の事業で日立鉄工所さんの工場見学に参加していて、その後一関の千葉鉄工所さんに向かう途中でした。ラジオをつけると地震発生と津波の警報が出ていましたが、津波は高さ3メートルくらいと聞いていたので、ここまで大事になるとは思いませんでした。送電線もかなり揺れていましたし、信号は止まっていたが、何とか会社に帰りました。

佐々木社長 川守さんはどうでしたか？



川守部長 私はその頃仙台の東北営業所配属で、清水建設東北支店の近くで監理技術者講習を受けていました。仙台市内も激震でした。家族で仙台に住んでいたので、家に帰ろうとエレベーター式の駐車場から車を出そうと1時間ぐらい粘ったんですが、停電が復旧せず諦めて約10キロの距離

をアパートまで歩きました。歩いている途中仙台駅の方は、火事なのか真っ赤になっていて、強い余震が何度もあり、酔っ払っているような感じでした。2時間半ぐらいかかるて家に着いたのが夜7時半ぐらい。奥さんと子供が無事で抱き合った記憶があります。仙台市内もガソリンが全然手に入らず、治安も悪くなり、泥棒が入ったという事案もよく聞きました。

眞面目に一生懸命向き合った手探りの復興工事 信頼関係を築き、大型物件に挑戦

菅原専務 復興工事の最初は丸島アクアシステムさんとの復興JVで、釜石須賀地区水門・陸閘工事を受注しました。受注してから、実際に動き始めるまで1年ぐらいかかったような気がします。通常の公共工事の量も少なく、県自体が被災しているので非常に時間がかかり、なかなか工事着手できず2年ぐらい苦労した思いがあります。

佐々木社長 いずれ震災復興工事は出て来るだろうと思っていましたが、いつどういうタイミングで出てくるかわからず、震災後数年は全然出て来ないな、という感じでした。



丸島アクアシステム復興JV 須賀地区水門



三浦所長 標準断面発注という言い方をしていましたが、予め設計変更ありきで概算数量と一般図のみで入札を行い、受注者を決定した後に詳細設計を進める感じでした。

菅原専務 須賀地区陸閘は、釜石港に設置されるので日本製鉄釜石製鉄所の総務課に大変お世話になりました。ヤード内に事務所をお借りするとか、敷地の横断許可をとるとか。

佐々木社長 日本製鉄さんは、釜石製鉄所があるので地元企業としての存在感は別格で、震災復興に合わせて開発した新製品であるハイブリッド防潮堤を、日本製鉄東北支店と連携し、素材は日本製鉄、土木エンジニアリングは横河NSエンジニアリング、当社が地元ファブリケーターとして製作と据付を担当する連携をとって営業し、大型受注に結びついたことは画期的でした。また須賀地区陸閘の後から、新たに開発された二相ステンレス鋼が徐々に使われ始めました。

高橋課長 宮古港の藤原地区陸閘で、二相ステンレス鋼が採用された当時日本最大の陸閘設備をJV現場代理人として担当しました。特に藤原1号陸閘は純径間25m、扉高8.22m、走行レール約49mという巨大なものでした。

菅原専務 二相ステンレスは、従来のステンレス鋼より高強度で耐食性、耐孔食性が優れていて、従来品より価格は高くなりますが、レアメタル含有量が少なく、原料価格の変動に対するリスクも

少なく比較的価格が安定しているのが売りでした。

佐々木社長 水門・陸閘の大型工事はほとんどJV案件だったと思います。三浦さんは、JVの窓口をかなりやってもらいましたけれど、どんなことが思い出されますか？

三浦所長 平成26年に品質管理課から営業になりました、須賀水門が初の復興JV案件で、当社が親でした。営業配属になって間もなかったせいもあり最初は子である丸島アクアシステムさんに教えを請いながら進めていました。不慣れで何も分からず、入札後の内訳書の提出はとても緊張しました。今まで扱ったことのない工事費が大きいものばかりで間違えればアウトなので。高橋忍課長とは実行予算、JV予算の作成に携わっていただき本当に助かりました。積算など詳しく理解していない中、現場事務所の手配、釜石製鉄所に土地借用依頼、飯場を造らなければならぬ、などいろいろな課題がありました。これらすべてを丸島アクアシステムさんと一緒に実施出来たので、本当にいい経験をさせてもらいました。



佐々木社長 JVの受注金額は本当に大きくて、早いうちに甲子川水門と大槌・小鎌川水門の2件を

WTOで受注しましたが、2件だけで当社分が20億円ぐらいになりました。

菅原専務 当時、復興工事が始めて3年ぐらいで、鶴住居水門を含めて受注ベース40億円を超えてました。

佐々木社長 特定JVでは、丸島アクアシステムさんが親で、当社は子だから気楽。復興JVだと、当社が親で当社の実績にはなりますがJVの予算管理、工程管理、発注者対応などを当社主導で進めなければならないから、復興JVのほうが大変だったんじゃない？

三浦所長 津波対策用大型水門はWTOで特定JVでしたが、復興JV工事の方が先に出て、丸島アクアシステムさんと複数案件受注出来ましたので、JV2社間で営業を皮切りに、技術、製造、工事等、それぞれ交流が盛んになりました。懇親会もたくさんやりました。当社も若い社員が多かったので、社外の方との交流は技術的にも、人間的にもいい経験になったと思います。橋梁については、北日本機械さんと初めて地元同士で特定JVを構成し、複数件受注して大変盛り上りましたが、とにかく相手に迷惑をかけないよう必死でした。特に、当社が親で北日本機械さんとの特定JVで受注した宮古西大橋は、総重量1800tで契約金額20億円を超える超大型案件。岩手県内企業同士のJVで無事に完成させ、令和元年度の優良工事表彰も受賞しました。岩手県当局に岩手県内企業の底力を示した画期的な物件でした。



北日本機械特定JV 今泉大橋

高橋課長 私が携わった最初の復興JV工事は釜石須賀地区陸閘でした。当初、他の若手現場代理人が担当しておりましたが、

彼もJV工事の進め方をよくわかっておらず私が手伝うことになりました。現場予算を作る時、三浦さんから予算案を頂戴して、現場予算に落とし込んでいくのに非常に苦労しました。何パターンか案を作って、菅原専務のところに持つて行つては「これじゃダメだ」と何回も添削いただきました。専務や監査役の厳しいチェックがあり、何度も修正した記憶があります。現場が始まり、関西から丸島アクアシステムさんが現場に入られる際、正直私も他県の人と仕事をするのは初めてで、どう接したらいいかわからなかったです。最初の打ち合わせに、先方は工事部長、副部長初めそういうたるメンバーで来られました。現場を上手く進めるためには丸島アクアシステムさんと良い関係を築かなきゃダメだと思い、できるだけ現場の雰囲気を良くしようといろいろ考えました。うちの会社のいいところ、うちの会社らしいところを全面に押し出して一緒に仕事を進めていこうと必死に走り回った記憶があります。

佐々木社長 うちの会社のいいところって、どういうところですか？



高橋課長 当然、地元企業ということ。丸島アクアシステムさんは奈良県で関西人が多いので、私たちは岩手県人で、岩手県人らしく愚直で面白目な人格があります。そういうところから信頼もらえるように、現場を進めていこうと考えました。

佐々木社長 丸島アクアシステムさんと一緒に仕事をしていて、こんなことを聞いたら恥ずかしいな、とかそういうことはありました？

高橋課長 ありましたね。最初は聞きたいこともあまり聞いたらよくないのかな、という感じもしましたが、関係性を築いていくうちに、そんなことないな、と徐々に聞けるようになりました。

佐々木社長 逆に相手から見るとどの程度のことまでは分かっている、ということが分かった方が、進めやすいでしょう。ここまでは進めて大丈夫、だからここから教えればいい、と理解してもらえるのは大きい。話してもわからないというのが一番困る。工事の現場においては高橋忍課長が丸島さんとの窓口役だったと思うし、製造においては淳哉さんがそうだったでしょう。



丸島アクアシステム特定JV 甲子川水門



丸島アクアシステム特定JV 小鎌川水門製作時

造った。造るにあたって淳哉君にはご苦労かけたね。小槌を「うちで造れます」とあなたが言ったのは立派だった。

菊池次長 言いましたっけ？全然覚えてない…。

菅原専務 私としては「大丈夫かな？」と思ったけど「いや、造れます」と。それがあったからこそ、その後の関口川シェルゲート、昨年関東で完成させた古利根堰ゲートにも結びついている。

佐々木社長 どこで分割して、どこを機械加工して、現場溶接でどのように品質と形状を管理するか、精度を要する極厚のシェルゲート製作は大変貴重な経験だったと思います。やり遂げられたのは、丸島さんから当社の製造部が信頼を勝ち得たこと、もともとうちはものづくりにチャレンジしてきたDNAがあるからと思います。



菊池次長 製缶技術を基本にすると、長さ20mの製缶だと通常7～8mmの許容はある。大型のシェルゲートだとダム堰の基準になり、左右1mm以内にどうやって収めるか。以前のうちの工場では歪取りで頑張るという概念しかなかったのが、20mで1mm以内となれば機械加工で仕上げなければ無理。全体は一気に運べませんし、全体を加工できる機械加工機もないし、最後は現場で組み上げて溶接しなければならない。丸島アクアシステムさんに教えてもらいながら、製缶後全体を組んだ状態で各部材に芯を入れ、機械加工代を大きめにとって削り線を入れ、解体後、単品で機械加工を外注し、現場では溶接変形を管理して、最後に許容値内に納めるということで、大変勉強になりました。

菅原専務 端部ブロックは短いわけだよね。そこ

の精度を確保して最終的に数字が合うように加工するんだね。

菊池次長 他の中央部は通常の5mmとかに入つていればいいので、普通に管理していれば許容値に入つてくる感じでした。丸島アクアシステムさんの工場で当社の及川雅玄さんと一緒に2・3日入つて、大型機械製品の精度管理のノウハウを教えてもらいました。

佐々木社長 自社で大型の機械加工機を保有しなくても、外注加工出来る会社があれば十分製造可能ということですね。社内で大型機械加工機を保有しても稼働率を確保出来ないので。

菊池次長 はい。そのつながりから、大型機械加工を当初はアルバックさんにお願いし、今はユーテックさんにお願いして、いずれともよいお付き合いをさせていただいています。

佐々木社長 高橋常務の震災に対する思いは？

高橋常務 私は会社に迷惑かけてしまったという意味で、東日本大震災の復興がまだ道半ばの時に起きた平成28年（2016）の台風10号の被害が思い出されます。平成27年（2015）に受注し、現場代理人として担当した国交省の久慈管内橋梁補強工事の施工中に台風被害を受けました。安家川沿いに設置した現場事務所がまるごと河川に流出して今でも強烈に記憶に残っています。台風が来ることがわかっていたながら、ここまで被害が



台風10号被災時

出るとは想像できませんでした。

※平成28年台風10号被害…岩手県全体で死者20名、行方不明者3名。

佐々木社長 当社の現場事務所はどういう状況だったの?

高橋常務 台風がきているからということで、現場は止まっていたけど書類作成はやる、ということで何人が事務所にいましたので、見回りをして午後6時ぐらいまで書類作成をやって帰りました。夜になって、別の久慈の現場を担当していた工事部員から「アパートから脱出できないので助けてください」と連絡があって、自分のアパートを出てみたら周りが水に浸かっていて、周囲の道路が冠水していたので、私自身も身動きが取れませんでした。久慈市山形町の新芋谷橋を担当していた工事部員からも「出られなくなったので助けてください」と連絡がきました。通行可能な道路を遠回りして助けることができました。早朝水がひいたので現場を確認したところ、現場事務所ごと見当たらず、パソコンや資材など一切合切流されていました。何週間後かに現場に行きましたが、ユニックは近くで埋まっているのを見つけて搬出しました。



佐々木社長 現場事務所で残業でもしていたら、危なく一緒に流されたということ?

高橋常務 だったかもしれません。

菅原専務 車なんかも流されたけども、結局保険下りなかったよね。

高橋常務 災害保険は下りていないんですけど、地元の野田村から権災証明書をもらったので、コピー機とかある程度の補償は受けることができました。大変な経験でしたけれど、おかげさまで成長させてもらったと思います。今の自分があるのもこの震災復興体験を乗り越えたおかげです。

佐々木社長 この復興工事期間中、いろいろな会社を見る機会があったと思います。他社さんへ行って見てみると、うちの会社の良さがわかるようなこともあったのではないか?

菊池次長 資金力がある丸島アクアシステムさんなんかは、必要な機械加工機を全部自社で保有するという考え方。うちは自社工場で造った後、外注さんに協力してもらって、最終的にもちろん自社で責任を持つ。作業台のあり方なども勉強になりました。うちは1回1回物件に合わせて台を持ってきてサイズに合わせて準備しますけど、丸島さんはH鋼を何十mも置いて定盤にして作業台として使う。定まったピッチで全面埋まっていて平らになっているという印象です。天井クレーンの下にサブクレーンがあってクレーン待ちが少な



丸島アクアシステム特定JV 鶴住居水門

い。今はうちも同じようになっています。

佐々木社長 やっぱり工場がきれいだよね。丸島アクアシステムさんとか、旭イノベックスさんとかは、かなりレベルの高い会社だけど、当社の手が届かないほどではない。ちょうどよい目標になって、よいお付き合いをさせていただき、大変勉強になりましたね。

菅原専務 復興の際、製造部長は伊藤誠さんで、青木さんも携わった。工場も外注手配含めて一つ一つが大変な仕事だったので、まとめ上げるのに大変苦労しただろう。

青木部長 大型案件で初めて受注した須賀陸閘はステンレス鋼材を扱うので、社内製作では工場製作の際にステンレスエリアを決めて、鋸対策や酸洗水の処理について、製作前段階の検討にプレッシャーを感じて進めた記憶があります。大型工事の受注により、県外業者に協力してもらう機会も多く、多くの工場を見せていただいたので、大変良い勉強になりました。また丸島アクアシステムさんとのJVで受注した大型物件のおかげで、自社工場で加工していく中でも、会社として相応の利益が上がり、製造出来高の確保に大きく貢献しました。

佐々木社長 WTOのような超大型案件は、難易度が高く大手企業が受注しても利益を確保出来る水準の積算になっていて、利益率が非常に高いことを実感しましたね。大型物件を競って受注して



横河ブリッジ特定JV 川口橋

いかないと大きな利益は取れないことが身に染みました。川守部長は営業的に思い出される苦労にはどんなものがありましたか?

川守部長 大船渡の川口橋ですね。700tを超える3径間連続箱桁の送り出し架設。横河ブリッジさんと特定JVで当社が親で受注しましたが、総合評価の事前予測ではライバルJVに負けていたので、何としてでも受注しようと低入札にいかざるを得なくて…。



佐々木社長 当時は、低入札制度が今と違っていて、担当技術者を増やしたり、低入札資料をかなり多く用意させられたり、ペナルティ的なものが課されましたけれど、後に影響するほどのこととはなかったですね。

川守部長 完成工事評点はむしろ高かったです。

佐々木社長 今振り返ると、営業戦略的には成功と言えるのでしょうか。

菅原専務 入札の読み次第でしたが、入札参加企業が何社になるかわからず、参加企業の入札金額から低入札基準価格が決まる制度だったので、読みはさほど当てにならず、ある程度金額を下げな



三陸鉄道 小鎌川橋梁

きや勝てないという判断でした。

川守部長 今は岩手県の低入札制度が改正され、低入札しても評価点数に反映されなくなったので、低入札が起こりにくくなりました。

佐々木社長 当社は震災前から公共工事以外の柱として、JR 東日本向けの鉄道橋や、JES エレメントなど、重要構造物を結構なボリュームで担当させてもらっていましたので、震災復興で忙しくなったときでも JR の仕事を切らすこととはしませんでしたね。

青木部長 三陸鉄道や山田線が流され、JR 東日本が担当して復旧・復興の鉄道桁の架け替えを進めましたが、当社でも相

当製作させて頂きました。一番早かったのが、JR 八戸線の橋桁がそのまま流された大浜川橋梁で、ユニオン建設さんも、JR 東日本の盛岡土木技術センターさんと構造技術センターさんも一生懸命になって検討し、流された桁を再利用することになりました。

佐々木社長 当時の JR 東日本の構造技術センター所長、鉄道桁の大御所石橋忠良氏が当社の工場に来られ「この規模と能力の工場がこの位置で稼働



JR 八戸線 大浜川橋梁 被災時

しているのであれば、流された桁をプラスチックで補修して、必要な部材を再製作して、再利用しましょう」と判断して、後に土木学会や橋梁専門誌「橋梁と基礎」で報告されました。当社の工場がなければ、すべて造り直しましたね。

菅原専務 また随分きれいに直しましたよ。プラスチックで塗り直したら新品みたいになった。あれはすごかった。プラスチック後は塩分測定もしたんだろう。

佐々木社長 今だったら F 砂 S 工法を活用して、湿粒プラスチックで塩分除去して再利用、ということになるのでしょうかけど、当時はまだありませんでしたね。



岩手県の復興工事を県内業者が元請け 震災復興工事で実績をつくり 次のステップへ

佐々木社長 私の立場で震災復興を振り返ると、岩手県当局が当初は手探りだったものの、徐々に岩手県の鉄構業界を信頼してくれるようになってきたということだと思います。以前は、大手橋梁メーカーの団体である日本橋梁建設協会の意向を尊重する感じだったと思いますが、東日本大震災直後の応急復旧に地元メーカーの協力がなければ何も出来ないことを実感し、完成後のメンテナンスも見据えて地元企業の実力を測っていたのだと思います。建設業の中では、鉄構組合は建設専門工事団体の一つにしか過ぎず、岩手県の入札制度



JR 八戸線 大浜川橋梁 架設時

も、基本は県内に何 100 社もある岩手県建設業協会を念頭に置いたもので、状況の異なる鉄構業界に準用すると多少の不具合を生ずるのは織り込み済みという感じです。岩手県鉄構組合として岩手県に要望してもよほどの不具合が生じていないのであれば、逆に他の建設業界に影響を及ぼしかねないという意識もあり、慎重にならざるを得ないこともよくわかりました。しかし震災復興需要も前に、岩手県の鉄構業界がノーガードで大手企業と入札競争すると基本は敵わないで、地元企業の受注チャンスが拡がるように何度も要望を重ね、そうしているうちに相互理解も深まり、これはいよいよ本当に動かないとまずいな、という局面になつて、ようやく動いてもらえたという感覚です。地域精通度の本社加点において当該地域に地元企業がない場合岩手県全体を地元と見なして 0.5 点加点するとか、復興 JV 制度を岩手県で採用してもらえたとか、ちょっとしたことが、最終的に県内企業の受注の実現につながり、岩手県の鉄構業界を大きく成長させることにつながったことを振り返ると、鉄構組合の活動は非常に重要であったと感じます。

震災当時、岩手県鉄構組合には、社会インフラについて活動する特別の組織はありませんでした。理事長は小山田工業所社長小山田周右氏、副理事長はカガヤ社長加賀谷輝男氏、佐々木鉄工所の故佐々木英則氏、そして私の 3 人で、私が一番若かった事もあり、岩手県当局への要望書のシナリオは私が書いて、理事会で承認していただき、岩手県要望の機会をつくり、事前説明へ行っていました。



JR 八戸線 大浜川橋梁 令和 7 年現在の写真



岩手県当局も水門・陸閘の応急復旧の際、地元企業の応援がなければどうしようもないことを実感され、水門・陸閘設備完成後の点検・整備も地元企業がなければなしえないことを理解されたようで、岩手県鉄構組合がパートナーとして認知されるようになりました。徐々に話しが囁き合うようになっていました。震災後 7 年経過した平成 30 年に私が理事長に就任し、社会インフラ部会を立ち上げ、その後も毎年継続して当局とコミュニケーションをとり、信頼関係を熟成させて今に至っています。岩手の社会インフラを、岩手の地元企業により設計、製作、据付、メンテナンスまで担当するようになったことであり、震災後の岩手にとって最大の社会変化の一つと言えると思います。地元への経済効果も大きく、地元に継続雇用を生み出し、技術者も育ち、これこそ岩手県が本当の復興として目指してきたものであろうと思っています。



CHUOH
CORPORATION

60th ANNIVERSARY

岩手・花巻から首都圏へ進出

座談会#2



東日本大震災の復興工事後、成長した中央コーポレーションがさらに多くの受注を確保するためには岩手県外への事業展開が必須でした。花巻から首都圏への進出は、大きな期待とリスクが入り交ざる決断です。しかし、中央コーポレーションの歴史には、故郷を離れて事業を拡張しようとした同じような挑戦がありました。

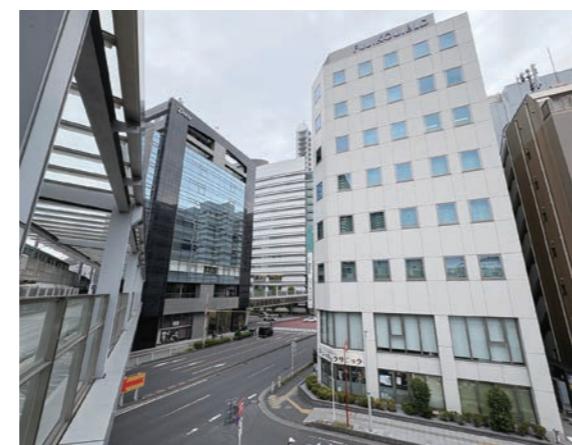
創業者高橋吉助は、花巻で経営していた高常組製作所を拠点に昭和8年、函館で事業を興します。最初に製粉所を設立し、大工と機械の技術をもとに木型屋を営んで成功しました。故郷花巻に戻ってから花巻鉄工所を興し、鉄の時代の端緒を開きました。

自らの力で時代を切り拓く精神は現在も受け継がれています。復興工事で得た経験と技術を首都圏で生かそうと、令和元年に思い切って埼玉県さいたま市に営業所を開設しました。

新たなことにチャレンジするスピリットは、関東営業所にも脈々と流れています。



関東営業所（さいたま市中央区新都心）



思い切った決断、関東営業所の開設 震災復興工事の終了を見越した 次のステップへ

佐々木社長 座談会の第2部は関東営業所の開設と、その後現在に至るまで、をテーマに皆さんからお話を伺いたいと思います。

菅原専務 ここで改めて確認したいのは関東営業所を開設しようとした経緯です。まず復興工事の終焉に伴って当社が期待する工事量を確保できるかどうかということでした。開設の随分前から復興工事が終わった後、どのようにして受注量を確保していくかという事について社長と何度も話し合っていました。当時の営業責任者である福田さんからも、復興後は首都圏に営業所を開設したい、という思いを聞いておりました。最終的には思い切って開設しましょう！と社長が判断され、関東営業所の開設に至るわけですが、場所が問題でした。東京都心ですと費用もかなりかかりますが、大宮であれば岩手から新幹線一本でいけること、都内に行くにも便がよいし、社員が住みやすく、家賃や経費もリーズナブルであること、埼玉県には地元橋梁メーカーが少なく参入しやすそう

であったことなどを総合的に判断して、大宮駅西口（さいたま市）に営業所を開設しました。今までお付き合いのある会社が首都圏に一定数あるので、大宮から営業すれば取引を拡大できるだろうということ、需要の大きい関東で新しいお客様を獲得したいということ、そして官庁工事の入札にも本格的にチャレンジするつもりでした。

佐々木社長 あれほど早く元請工事が受注できるとは、正直思っていなかったですよね。

菅原専務 そうですね。営業所を開設してまもなく、埼玉県から芝宮橋を元請受注し、続けて畠橋を受注出来ました。いずれも日鉄エンジニアリングさんのパネルブリッジが採用された案件です。当社は日鉄エンジニアリングさんとパネルブリッジの製作委託契約を交わしていく、元請橋梁メーカーとして埼玉県へ対応をしつつ、委託契約に基づいて製作を当社工場で



行い、工事部が現地架設を行うフォーメーションでした。関東平野は広くて、河川改修では桁高を押さえられるパネルブリッジの競争力は高く、土木工事に含めて発注された下請案件含めて、かなりの件数を受注することが出来ました。

三浦所長を中心に開設半年で元請け物件2件受注

佐々木社長 三浦さんは初代所長として行かれましたが、最初は苦労されましたか？

三浦所長 開設半年ほどで、元請け2件の受注はありがたい思いでいっぱいでした。初受注は2020年の芝宮橋、次に豊橋をやるということで、2つのプロジェクトに最低1人ずつ、2人の担当技術者を決めなければなりませんでした。芝宮橋は高橋義樹さんと決めておりましたが、豊橋は当時震災復興工事を担当していた忍さんに打診し、かなり調整した記憶があります。忍さんが豊橋の担当技術者として赴任され、住民説明会や工事用借地の地権者挨拶を昼夜問わず一緒に回ったことがとても懐かしいです。

佐々木社長 最初は大宮駅西口の狭い営業所から始めて、着実に営業基盤を固めて、さいたま新都心へ移転してさらに広くなつて今に至る。順風満帆ではなかったとは思うけど、やる度に自信がついてきたという感じでしょうか。

をする話があるんだけど、どうしよう」と言った時、妻から簡単に「いいんじゃない」という感じで言われ、「あんたならできるでしょう」ぐらいのトーンでしたので、「じゃ行ってみるわ」と快く引き受けてしまいました。正直関東に行ったのは10代以来。大宮駅に降りた時にはまるで別世界みたいな感じで、とても不安だったことが印象に残っています。駅の大きさと人の多さに驚きましたし、三浦所長の運転で主要道路を走った時には車の多さと渋滞には困惑しました。しかし、ずっとJVと一緒にやつてきた三浦所長がいたのでとても頼りにしていましたし、ワクワクもしていました。自分にとって関東の初物件が、埼玉県の元請物件ということで、絶対に失敗できないという思いもあったし、協力会社や商社も全て初めてでしたのでプレッシャーも大きかったです。会社が求める目標を達成しなければならないという思いも強く、三浦さんにいろいろ教わりながら、2人で協力して豊橋を納めたという印象が強いです。



佐々木社長 最初は大宮駅西口の狭い営業所から始めて、着実に営業基盤を固めて、さいたま新都心へ移転してさらに広く



なつて今に至る。順風満帆ではなかったとは思うけど、やる度に自信がついてきたという感じでしょうか。

三浦所長 そうですね。

佐々木社長 何が一番記憶に残っていますか？



白鷺橋

架設時

高橋課長 皆さんよくご存知の東京都の白鷺橋ですね。最初に三浦さんが、東京都の公告から白鷺橋の案件を見つけて、一度現場と一緒に見に行こうとお誘いをいただき「ここだけど、いけるか？」という話をされたのを覚えています。そのとき「このヤードの広さだったらいけるんじゃないですか」と私もあっさり答えてしまったのです。

佐々木社長 現場の条件としてはかなり厳しいと聞いていましたが、実際はどうでしたか？

高橋課長 周りに架空線や鉄道といったものはなかったし、「ヤードの広さも大型クレーンが入ることができる、桁もヤード内で地組立できるな」という概観と「トレーラーを駐停車できる場所も確保できる」と確認出来たので、その場で直感的に三浦さんと井上顧問に「白鷺橋の現場、やれると思いますよ」という話をして、それから三浦所長が本格的に動き始めました。

佐々木社長 住民対策が大変だったと聞きましたが？

高橋課長 住民対策もそうですが、個人的に1番の不安は客先の東京都への対応でした。東京都の独自のスタイルというか、東京都ならではのローカルルールがあって、細かい質疑に対応するだけで時間がどんどんなっていく。東京都は難しい顧客というイメージがありましたら、その遥か上をいく印象を受けました。

佐々木社長 クレーン設置地盤のFEM解析をやれとか言われてなかった？

高橋課長 白鷺橋が架かるところは運河になっていて、その両岸には港湾局が管理する防潮堤があって、工事を発注する東京都第五建設事務所は港湾局から許可を取って工事をしていますので、クレーン架設で防潮堤に影響を及ぼしてしまうと補償してください、という話になってしまいます。地盤の耐久性は通常、平板載荷試験等で安全性の判断をするのですが「それだけでは、防潮堤下の地盤が変位しないかどうかまで確認できないよね？」と質問をされ、技術部に相談しながら、白鷺橋の設計を担当したコンサルタントに照会して、地盤の変形についてFEM解析を依頼しました。

佐々木社長 FEM解析になると技術部の新銀部長や類家さんの出番ですよね。

高橋課長 そうです。お二人には現場にちょくちょく来てもらいました。とくに新銀部長には私がメンタル的に厳しくなった時、お昼に焼肉をご馳走してもらいながら相談に乗ってもらい、大変助かりました。

佐々木社長 忍さんでもメンタル苦しくなる時はやっぱりあるんだね。

高橋課長 週末家に帰っては、ずっと妻に愚痴ばっかりしゃべっていました。でも愚痴をしゃべった

後に必ず言われるのが「大丈夫でしょ」と。それで終わりです。

レベルの高い顧客の要求、積極的に学んで対応

菅原専務 私が最初に関東営業所に行った時、以前忍さんに聞いたけれど、新しいことに対応するのに参考書を買って勉強していたよね。

高橋課長 そうです。埼玉に行って、顧客から求められる質疑の内容もレベルも高いことが多く、受注者として適切に応

対しなければならないことが増え、必要と思った書籍はできるだけ買って営業所に集めていました。書籍があれば、私も部下に「本に書いてあるから読め」と言える。私からまた聞きするより、彼らも正確な情報を書籍から得ることができるので、必要な書籍は経費で買わせてもらっていました。関東営業所は本社と距離がありますし、本社もどういう状況かわかりません。電話で技術部の方に聞くことはできるけれど、ある程度自分で調べてから、焦点を絞って電話やメールで聞くようにしています。

佐々木社長 忍さんが担当する物件の工事評価は



白鷺橋 表彰時

とても高いし、一緒に若い人を連れて行って、教えて成長させているのがいいですね。

高橋課長 単純な話です。早めに教育して教えれば自分が楽になる。そうすると自分にも時間ができ、自分はより別なことに視野を広げられる。できれば若い人には、自分が同じ年齢の時よりも、自分より優秀な人間に育てたいと思っています。

佐々木社長 関東営業所の案件は、埼玉県・東京都・神奈川県とも工事評点も高いし、優良工事表彰も同じ年度に違う発注者の東京都と神奈川県からもらっていることは、トータル的に質の高い仕事をしている証ですよね。特にどのような点が評価されていると思いますか？

三浦所長 東京都に関しては発注者とのコミュニケーションが重要だと思っていまして、忍さんは東京都の監督員2名と地域住民の折衝を重点的にやってもらったのがよかったです。神奈川県については施工管理の方がいらっしゃいましたが、工事を担当していた当社の田中仁さんとの人間関係も良く、相手から指摘されたことはすぐに対応するし、聞かれたことにも田中仁さんはじっくり調べて対応していたので、客先の要望に応えられたと思います。



芝宮橋

佐々木社長 岩手の会社としてプライドを持ってやるぞ、というところもありました？

高橋課長 そうですね。埼玉で仕事をすると、発注者も付き合う協力会社も商社も全て、当社のことを知らない人が多かったので、まず中央コーポレーションを覚えていただきたいということと、当社の印象をより良く感じていただきたいということを常日頃から思って顧客対応していました。

菅原専務 営業的には、日鉄エンジニアリングさんとの協力関係と、ある意味パネルブリッジのシェア拡大の波に乗ったのも幸運でしたね。

三浦所長 昨年から当社顧問に就任いただいた佐竹さんは、日鉄エンジニアリング時代、東北エリア担当だったことがあり、震災当時からお付き合いがありました。私が関東へ異動したのと同じぐらいの時期に佐竹さんも関東に異動となり、ご縁を感じました。営業所開設当時、芝宮橋の情報はわかつっていましたが、畠橋の情報は掴んでいなくて、佐竹さんから情報提供いただき、早めに動くことができたからこそ、結果的に2件の受注につながったのだと思います。

高橋課長 お客様評価の話ですが、当社の評価の高さは、当社の工場検査の対応や製品が優れている、というのが根本にあります。現場にいると他社製品と比較するケースもよくありますが、当社製品の品質は絶対的に高いです。工事評価に決定的に良い影響を与えています。

関東の現場を盛り上げる工場や営業の底力

佐々木社長 忍さんは当社の工場で製品を造っていた経験もあるから、うちの工場の生産能力、品質は高いという感じはあると思います。青木さんはどのように感じられますか？

青木部長 震災前には大手企業の下請の仕事も多

く、元請さんからの指導や品質管理で鍛えられた面も大きいと思います。その代表が当時の住友金属さん。TRC合成床版

も平成18年あたりから本格的に担当して、それまではあまり外観にはこだわらなかったメッキ仕様の合成床板もかなりシビアにご指導受けました。耐候性橋梁の保管状況なども、裏面に枕木の跡がつかないようにナイロン棒（細い棒）を使用して安定錆を発生させるなど、細かい配慮も学びましたね。

佐々木社長 なるほど。川守さんは関東の営業について、感じるところはありますか？

川守部長 お客様に密に足を運んでいるところがいいですね。顔を覚えてもらうことが一番なので。三浦所長も望月課長もいろいろ足を運んでいるのが本社からも見えてます。月1回開催している鉄構幹部会議の資料にも、かなり詳細な情報をあげてくれていて、それが源泉だと思います。

佐々木社長 最近では望月君が家族連れて関東へ異動してくれて、とてもよく頑張ってくれていますよね。孝典常務は関東についてどう感じていますか？

高橋常務 おかげさまで昨年度の受注内訳を見ても、関東営業所からの受注が全社の40%に達する状況になっていて本当に助かっています。私も去年まで2年ほど関東にいて、関東工事課で手の回



らない物件をお手伝いしましたけれど、関東は元請でなくとも、大手ゼネコンさんなどの下請も多く、客先要求レベルが高くて大変な現場が多かったです。都心部の中野駅や所沢駅のペデストリアンデッキは現場の制約も多く、元請大手ゼネコンの要求もきつかったです。無事完成出来て何よりでした。その延長でペデストリアンデッキが当社の次の新分野として確立しつつあるのがとてもうれしく思います。今後はどうしても関東の工事現場を担当できる人員の増強が必要で、関東での中途採用がなかなか難しいので、本社から最低1人ぐらいは技術者を出したいと思っています。



佐々木社長 それだけ関東には需要がある感じはありますよね。

高橋常務 そうですね。工事を経験すれば、確実に個人のレベルアップにつながります。特に関東はいろいろ勉強になることが多い。会社にも経験値がたまっていきますので、多くの方にチャレンジしてほしいと思います。

佐々木社長 その人の家庭や環境が許さないといけないところが難しいですけれど、行けば緊張感があって、間違なく良い経験が出来て大きく成



所沢ペデストリアンデッキ

長できますよね。他に課題はありますか？

菅原専務 いつも三浦所長に言っているのは「営業所としての採算性をしっかり確保してほしい」ということでした。附加值ある仕事をしっかり受注してもらえば、営業所経費は十分カバー出来ます。採算性を意識して営業所管理をしてもらえばいいなと思っています。



パネルブリッジほか 守備範囲の広さで勝負

佐々木社長 当社はけっこう守備範囲が広いですね。官庁工事の橋梁元請工事ができる、パネルブリッジも下請けも含めてやれる、ペデストリアンデッキもやれる、ステンレス水門、アルミ陸閘もやれる、すべて設計から出来ます、JR鉄道橋も出来ます。たぶん同業他社と比較しても、橋梁系の会社とか、水門系の会社とか、両方やる会社とか色々ありますが、当社ほど守備範囲の広い会社は全国でもあまりないので



古利根堰水門

はないですか？以前は受け身で、何でも下請出来ますという感じでしたが、今は広い守備範囲のいずれにも元請を狙って攻めの営業が出来ている気がします。

三浦所長 守備範囲が広いことは間違いないやりやすいです。同業者から見ても、水門も橋梁もやる会社は、埼玉辺りでもあまりないです。

菅原専務 さらにうちは首都圏の鉄道もやれるからね。



三浦所長 しかし、国交省含めても関東の自治体にもそんなにたくさん橋があるわけではないので、その中でパネルブリッジにはけっこう助けられています。私達は、これまで多少忙しくても、小さい橋梁であっても依頼があれば対応してきましたので、日鉄エンジニアリングさんはそういう点でも当社を評価しています。製品の品質管理を担当されている方が当社が良いと言ってくれているようです。

佐々木社長 素晴らしいですね。パネルブリッジ委託契約が、こんなに元請橋梁受注とリンクしてくるとは、関東営業所を開設しなければ気がつかなかった。



武子川橋梁 工場製作

三浦所長 全国的に橋梁の仕事が薄くなってきてるので、パネルブリッジを製作したい、委託加工契約したいという会社さんは今後増えてくると思います。

佐々木社長 大手橋梁メーカーがパネルブリッジやりたがることもある？

三浦所長 橋梁工事が少なくなってきたので当然、規模の大きいパネルブリッジはやりたい会社が出てくると思います。関東へ行く前に、日鉄エンジニアリングさんの方に関東へ営業所を出すという話をした際、埼玉県にはパネルブリッジの設計引き合いが多いというお話を頂いていました。当時一緒にJVを組んでいた橋梁メーカーの方からも、埼玉県は中小河川も多くパネルブリッジのような合成床版橋が多いという話も聞いていました。

佐々木社長 東日本大震災で大きな橋梁や水門・陸閘の実績がついて、関東に出て行くにはいいタイミングだったね。場所も埼玉県は絶妙だった。

三浦所長 そうですね。入札制度も埼玉県は当社にマッチしていると思います。

佐々木社長 まったく運がいいですね。これほど想定していた以上にうまくいくとはさすがに思わなかった。でもそれを現実の形に出来たのは、三浦さん、忍さん、田中さん、望月さん、みなさんがよく頑張ってくれたからだね。

この10年の足跡は
過去50年にも匹敵
歴史的な事業展開を誇りに未来へ！

菅原専務 創立50周年の時の工場見学会や祝賀会で、OBの方々から「ずいぶん稼いだな」と仰って頂きました。私も入社して40年ぐらいにはなっていたのですが、その一言には非常に感慨深いものがありました。それからまた10年経っていますので、さらにさまざまな話が出てくるでしょう。関東営業所には2~3ヶ月に1回ぐらいはお邪魔していろいろ話を聞いたり、現場を見せてもらったりしていますが、夜の懇親会は本当に楽しいですね。皆さんに集まつていただいて、みんなの仕事ぶりを聞くのは至福の時間です。これを末永く続けられる様にしていきたいですね。

佐々木社長 最後にまとめですが、当社にとりましては、震災復興過程に立ち会って、地元企業としてこれだけ大きな地域貢献ができたことは、岩手県自体の歴史に刻まれるほど大きい出来事だったと思います。そして、震災復興で実績を積んだ橋梁・水門・陸閘の技術を基に関東営業所へ展開し、見事に関東での実績へと開花させました。まるでサクセストーリーで描いたかのような、見事な会社の成長物語と言えるのではないでしょうか。

10年前の50周年記念誌では、当社の源流に遡るまでの歴史を掘り起こして読み物にして随分会社のPRにも使いました。この60周年記念誌にお



水辺公園橋 架設時



鶴橋 架設時



いては、座談会形式で、当社の震災復興工事への関わりや、関東営業所の開設と実績の拡大等について、関係するみなさまから貴重なお話を伺う事が出来、新たな当社の歴史として記録に残すことが出来ます。

50周年記念誌に匹敵する、あるいはそれ以上の60周年記念誌になりそうです。60周年記念誌も関係者はもちろん、多くの方に読んでいただきましょう。みなさまにはご協力を頂き、大変ありがとうございました。

以上で、座談会を終了します。おつかれさまでした。

■関東営業所 元請・下請受注実績【2025年まで】

・合成床版橋	元請 7件 下請 13件	(芝宮橋、畠橋、滝下橋、霞橋、83号橋、白鷺橋、中央橋) (2018号橋、越谷吉川線なかよし橋、253号橋、渋川西跨道、清柳橋、高田川橋、清水橋、3-104号橋、市井平橋、久米市道橋、浜大津橋、宿野辺橋、血流川橋)
・橋梁（補修含む）	元請 3件 下請 2件	(新堀橋、新井橋、JR山手線こ線橋) (巽橋、明治橋)
・歩道橋 (ペデストリアンデッキ含む)	元請 1件 下請 11件	(水辺公園橋) (花園橋、川中島歩道橋、中野駅ペデストリアンデッキ、町保橋、所沢ペデストリアンデッキB・C、関沢橋、東鷺宮、大崎駅ペデストリアンデッキ、越谷レイクタウン水上デッキ、大相模調節池水上デッキ（レイクタウン関連工事）)
・水門、陸閘、その他	元請 3件 下請 2件	(渋井水門、古利根堰水門、鳩ヶ谷変電所陸閘) (南摩ダムスクリーン、大井川陸閘)
・JR、私鉄 関連	38件	(鶴田川橋、第1三ノ輪架道橋、島田第5橋、空沢開渠桁、宝町架道橋、新石橋架道橋、神田駅ホーム延伸、小橋川橋、谷地川橋、深谷エレメント、古利根川橋、有楽町中央口架道橋、酒匂堰橋、夕張川橋、普賢寺堀橋、弥五郎橋、横須賀架道橋、山崎跨線橋落橋防止、出入区落橋防止、十日町橋、長尾線改良桁、飯田橋架道橋、南幸町架道橋、神岡開渠桁、荒川橋、三河島こ線線、第二土沢橋、長尾線14・15号開渠桁、千葉支社極小橋、座光寺エレメント、中江南エレメント、武子川橋りょう、第1土沢橋、長尾線44号開渠桁、第2大久保架道橋、原当麻エレメント、第1梶ヶ谷架道橋、西原開渠桁)



※座談会開催日：令和7年7月7日

最前線で活躍する女性社員の声を聞きました

インタビュー#1



平成 28 年（2016）に「女性活躍推進法」が施行され、令和 4 年（2022）、対象企業の規模が従業員 301 名以上から 101 名以上へと拡大されました。当社でも女性社員数は平成 28 年の 14 名から令和 7 年（2025）には 22 名へと増加しました。女性採用の強化に伴い、令和 6 年（2024）には女子更衣室の拡張や女性トイレの増設など、職場環境の整備も進めています。

事業規模の拡大に伴う総務部の人員不足をきっかけに、女性が総務の業務を担当するようになったことが当社の女性雇用の始まりでした。東日本大震災後、公共工事の増加により設計部や工務部でも増員が必要となり、男女の区別なく採用を進めた結果、現在では男性と同様の業務を担う女性社員も徐々に増えています。

近年は男女ともに育児休暇を取得できる制度を導入し、誰もが働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



女性社員の強み、課題、育成・評価、働きやすい職場、出産・育児サポート、女性管理職・リーダー、有給取得、会社や部署のサポート、会社への期待などを上司からの質問形式で答えていただきました。



女性に合った働き方を模索 40 代社員にリフレッシュ休暇を

現在の業務について聞かせてください。

JR 関連の物件を中心に、エレメントやトンネル緩衝工などの製作物を現地へ搬入する業務を担当しています。まずはJR、元請け、構造技術センター、そして当社の 4 社で工事の流れを打ち合わせし、確認事項を整理したうえで製作を進めます

女性社員が増えてきた現状についてどう感じていますか？

女性社員が増えてきたことは良い傾向だと思いますが、現場対応や県外への打ち合わせなど、家庭の事情によって男性と同じように動けない場面もあると感じます。たとえば、子どもが小さい、頼める人がいないなどの理由で、出張や夜間作業が難しいケースもあります。私自身、子どもは上が 20 歳、下が 13 歳と手がかかるようになりましたが、それでも現場対応は男性社員にお願いすることがありますし、夜間作業は体力的にも厳しいです。現在は重構造物を扱っているため、現場での女性の活躍には一定の制約があるのが実情です。仮に、業務分野を広げる、たとえば鉄を使った新たな分野を立ち上げた場合は、デザイン業務などを通じて女性の力を活かすことができるかもしれません。

環境整備についていかがでしょうか？

女性用のトイレや更衣室などが整備され、働きやすくなったことはとてもありがたく感じています。ただ、女性に対する配慮が手厚くなることで、男性の中には面白くない人もいるかもしれません。従業員全体にとってバランスの取れた環境づくりが大切だと思います。

女性管理職についてはどう思いますか？

女性の比率が高い職場では女性管理職も増えていますが、当社の場合はそこまでの人数ではないため、まだ課題があると感じます。管理職は会議も多く、責任の重い案件を仕切る場面もあるため、現状を見る限りでは女性にとって負荷が大きいポジションだと思います。

有給休暇の取得、働く環境についてお聞かせください。

休暇を取得するには、男女問わず業務が止まらない体制づくりが前提です。現在は 1 人で担当している業務も、常に 2 人で動かすような仕組みにしておくと、より柔軟な対応が可能になると思います。工務でトンネル緩衝工事がある場合、午後から打ち合わせが入ることが多く、残業は避けられません。残業しても、子どもの部活の送り迎えに間に合うように工夫しています。夕方の業務が多いため、朝を遅めにして夕方に働くなど、フレックスタイム制が導入されれば、さらに働きやすくなると感じています。

仕事が忙しい時は休まず残業をし、物件が一段落した時に休みを取るというメリハリのある働き方をしています。結婚、子育て、仕事とがむしゃらに頑張ってきましたが、今 40 代になり、心身ともにリフレッシュできる長期休暇制度があれば嬉しいです。



佐々木 玉恵

工務部工務課主任
平成28年(2016)10月11日入社
工務課配属が長く、JR 物件業務をほぼ 1 人で担当。仕事と子育ての両立で頑張ってきた女性社員の鑑。限られた業務時間内に仕事を完了させようとする姿勢は、働き方改革の見本となっている。

自分の仕事が工場を動かす面白さ プライベートも充実



現在の業務について聞かせてください。

設計からあがってきた図面を見て、工場で製作するための資料を作る「原寸」という業務を担当しています。イメージとしては、プラモデルの部品を図面通りに組み立てられるような取り扱い説明書を作るような仕事です。また、材料が鉄なので、溶接すると変化することも考慮して材料を買い、工場に指示します。自分が作った資料で、工場の製作から完成まで作業が進むことにやりがいを感じています。入社当初は全く知識がなく、高校で学んだ内容と違っていたため少し焦りました。でも、一生懸命やれば何とか追いつける今は思います。

女性管理職についてどう思いますか？

現在、後輩たちに仕事を教えることで精一杯です。将来の役職について今は考えられませんが、もし役を任されるような状況になった場合は、家族のことも考えて判断します。会社のサポートだけでなく、家庭内のサポートも必要だと思っています。

今、熱中していることを教えてもらえますか？

プライベートでは野球が好きで、目標は12球団の球場スタジアム巡りです。毎年、旅行を兼ねて夏の甲子園に行くことを楽しみにしている、お盆休みに高校野球観戦に行きます。お盆休みにさらに5日ほどお休みをいただき、準決勝や決勝まで甲子園で見たいと考えています。

休みは取得しやすい環境にありますか？

有給休暇も取りやすい環境です。別の言い方をすれば「己との戦い」で、休みを取りながらその前に工場での仕事が止まらないように資料を整え、「よし、これで大丈夫だから休みます」と休ませてもらっています。上司や周囲と相談しながらスケジュールを調整することで、会社にも自分にも良い形で仕事が進められることに喜びを感じています。

佐藤 彩夏

工務部工務課原寸係
令和3年(2021)4月1日入社

20代の若さで仕事に全力投球。
業務吸収能力が高く、男性社員と一緒にプロジェクトに大きな貢献をする。後輩指導も丁寧で、高校生の企業見学の際には原寸係の業務説明も担当している。今年、目出たく社内結婚した。

安心して産休育休を取得 フォローし合って仕事ができる体制に

現在の業務について聞かせてください。

総務では、注文書や請求書などの各種書類作成を担当しています。工務課や工事課の社員から依頼を受けることが多く、「ありがとう」と声をかけてもらえる瞬間や、楽しくコミュニケーションが取れることにやりがいを感じています。

産休・育休を取得した経験を話していただけますか？

会社や部署の皆さんが、産休・育休にスムーズに入れる体制を整えてくださったおかげで、安心して休暇を取得することができました。復帰後は、新しく導入されたシステムなどについて後任の小原さんに教えてもらい、業務感覚を取り戻すまでに1ヵ月ほどかかりましたが、課内のフォローもあり、今はがむしゃらに取り組んでいます。

主人は社内の別部署に勤務していますが、仕事が多忙で育児への関与が難しく、急な休みが取りづらい現場環境が課題だと思います。現場にもサポート体制があれば、もう少し柔軟な対応が可能になるのではと思います。それでも、産後パパ育休制度を活用できることは大きな助けになりました。初めての出産・育児を夫婦で乗り越えるにあたり、主人には4週間しっかり育休を取ってもらいました。事前に準備すれば休暇取得は可能であることを実感し、以前より休暇を取りやすい環境になってきていると感じています。

働きやすい環境づくりについて意見を聞かせてください。

誰か1人が抜けても業務が滞らない体制が理想です。特に有給休暇を取得しやすくするために、部署内で「今月は何人が1日ずつ休みましょう」といった計画的な休暇取得の仕組みがあっても良いと思います。今後は育児や家の時間を確保するため、時短勤務も検討しています。柔軟な働き方が可能になれば、家庭との両立がしやすくなり、職場全体の働きやすさにもつながると考えています。

ゼロから図面を完成させる達成感 子育てと仕事両立で高みを目指す



現在の業務について聞かせてください。

設計図面の作成を担当しています。前職では元請け企業に図面書類を作成して提出するという事務的な業務が中心でしたが、今の職場では1つの物件の図面を自分でゼロから作る、自分でやったものが成果として出るということに一番やりがいを感じました。

直近では、エレメントの図面を作成しました。初めて1人で全部作成した図面で、真っ直ぐではなく少し斜角がついたようなものが箱状に連なっている物件でした。隣のエレメントの取り合いがとても難しかったです。板同士が全て斜めに付いているので、どちらを基準にして、どの長さで取るかなど、製造や技術、原寸、工務、ほとんどの部署の方々に教えてもらながら、図面を完成させました。「1つ終わらせたな」と強く思い、一番の達成感を得られました。

女性社員が直面しやすい課題・ハードルはですか？

勤務時間だけでは間に合わず、家に持ち帰って仕事をしたことが何度かあります。家庭では家事や育児はあるため、子どもには「今は仕事中」と伝え、自分でできることは任せるようにして、作業時間を取りるようにしています。

主人が平日休みなので、主人が家にいる日は多少退社が遅くなてもどうにかなりますが、子供が小さいうちは保育園のお迎えや、学童保育の時間制限、延長料金などもあり、どうしても「この時間まで帰りたい」ということは出てきます。

今後の取り組み、目標を聞かせてください。

子育てと仕事とのバランスを調整する毎日ですが、忙しい先輩や上司の負担を少しでも軽減できるようになりたいと考えています。ですが、やっている業務内容が難し過ぎるので、今後は自分自身が頑張って勉強して、補助できるぐらいにはなりたいと思っています。

田中館 広恵

技術部設計課
令和5年(2023)4月17日入社

中途採用で入社1年後には、専門外の1級土木施工管理技士補の資格を取得。学生時代に学んだことを生かし、難しい図面の作成にも挑戦している。3人の子どもの育児と仕事との両立に奮闘中。

先輩の働き方は未来の自分 自分にしかできない仕事にやりがい



女性が活躍できる職場にするために必要なことは？

『女性だからこの仕事』という枠はあまり感じていません。自分ができる範囲で仕事をしているので、性別による区別はないと思います。男性も女性も、仕事の時間がしっかりと決まっているれば、家庭との両立は可能だと考えています。例えば、高館さんのように工事部にご主人がいて、代わりになる人がいないため、家庭や子育てを担っている場合、子どもが熱を出した時などは高館さんが早退することがあります。その際、私が業務を引き継ぎます。社内のご主人に頼ることができなくても、同じ部署の私がサポートできることがとても嬉しいです。というのも、次に自分が出産する番になった時に、同じように助けてもらえるのではないかという安心感があるからです。頼られることはありがたいことで、やりがいにもつながっています。

現在の業務について教えてください。

広報活動やSNSでの情報発信を担当しており、最近はインスタグラムも始めました。これらの業務には正解がなく、前任者もいないため「何か投稿しなきゃ」と常に考えながら更新しています。以前はデザイン系の仕事をしていたので、工業系の当社でその経験を活かせるのはありがたいことです。「自分にしかできない仕事だ」と思えることがやりがいにつながっています。会社のホームページを更新した際に、社長から文章を褒めてもらうこともあります。とても嬉しいです。

仕事以外で興味のあることは？

北海道出身で、地元では地域の劇団に所属し、長く演劇活動をしていました。花巻に来てからは演劇に関わっていませんが、本当は日中仕事をして、夕方から稽古をするような生活が理想です。舞台装置や裏方もできるので、地元の劇団を探してまた演劇に挑戦したいと思っています。

鉄構業界初のブライト500企業 —経営陣が語る「健康経営の実践と課題」—

インタビュー#2



経済産業省の「健康経営優良法人」に認定され、さらにその中でも中小企業の上位500社のみに与えられる「ブライト500」の認定を受けている当社。社員の心身の健康を真剣に考えた結果として始まった取り組みは、歩数チャレンジやラジオ体操といった日常的な健康増進活動にとどまらず、「誕生日ミーティング」や「ワンオンワンミーティング」など、社員との対話を重視した独自の制度へと発展しています。制度整備や職場環境の改善にも力を注ぎ、社員とその家族の幸せを支える企業文化の醸成を目指す姿勢には、健康経営に対する経営陣の強い想いと覚悟が込められています。

今回は、社長はじめこの取り組みを進めてきた3名に、これまでの歩みと現状の課題、そして今後の展望についてお話しいただきました。



危機感から始まった取り組み、社員と共に歩む健康経営



佐々木 史昭

代表取締役社長
平成6(1994)年4月1日入社

当社の代表取締役社長として、常に会社全体の状況を把握しながらも社員の声に耳を傾け、社員に寄り添った経営を実践。健康経営の重要性に着目し、当社として取り組みを開始するきっかけをつくった第一人者でもある。健康経営の取り組みが本格的に始まった2020年から5年経った現在も、健康経営を経営戦略の一環として位置づけ、全社的な推進を牽引している。

当社が健康経営に本格的に取り組むきっかけは、社員の喫煙率の高止まりに対する危機感でした。社会全体に喫煙率の低下傾向が見られる一方、当社ではその空気が感じられませんでした。健康は会社が強制したからといって実現する訳でなく、社員ひとりひとりが自ら気づいて前向きに行動を変えていける仕組みが必要です。と考えていました。その折、私が副会頭を務めている花巻商工会議所が健康経営優良法人の認定を受けたことを知り、本格的に導入を検討することにしました。

歩数チャレンジは、経営陣を含む社員全員を5人ごとにチーム分けし、1週間の歩数を競い合うチーム戦の取組です。スマートフォンのアプリを活用して歩数記録を共有し、日々意識し合うことで、健康を意識して行動しよう、という雰囲気が出てきました。歩数チャレンジをきっかけに社内コミュニケーションも促進され、これがきっかけでお付き合いが始まり、社内結婚に至った事例も出てきました。チームを固定化せず定期的にチームをリフレッシュしていることもうまくいっている要因と感じます。

社員との対話としては、誕生日ミーティングとワンオンワンミーティングに取り組んでいます。誕生日ミーティングは2017～18年頃から、誕生日を迎える社員に社長室に来てもらい、お祝いに商品券を贈呈し、社長ないし役員2名でいろいろな話を30分程度聞かせてもらっています。本音の話が出てくることも多く、職場環境の改善につながる場合もあります。普段話す機会のない役員と誕生日ミーティングでは直接話が出来るので楽しみにしている社員もいるようです。

ワンオンワンミーティングは、3か月に1度、直属の上司と部下に1対1で話をしてもらう仕組みで、上司には部下の言葉を傾聴するようお願いしています。メンタルヘルスの変調に気づいてもらうことも念頭に置き、健康経営目標であるメンタルヘルスによる欠勤率を1.5%以下に抑えることの達成に寄与していると感じています。

健康経営優良法人ブライト500の認定は名誉なことですが、それ自体が目標ではありません。時代の変化に合わせて施策を進化させ、社員が心身ともに健やかで安心して働き続けられる真の健康経営を目指して参ります。

対話を大切に、社員とその家族の幸せを真摯に支える



菅原 克彦

常務取締役
平成26(2014)年10月1日入社

佐々木政城部長が総務部長に着任する前は、菅原常務が総務部長を兼務し、当社における健康経営の本格化が始まった当初から健康経営に携わってきた人物。現在は、佐々木部長に総務部長としての業務を引き継ぎ、常務取締役としての職務に専念する一方、引き続き佐々木部長と連携しながら、健康経営の推進に積極的に取り組んでいる。

取り組みを始めるにあたって、まず重視したのは社員の納得感でした。日々多忙な業務の中で新しい取り組みを導入するには、強制ではなく理解と共感が不可欠です。社員にアンケートを取り、食事のカロリーやバランス、睡眠、エクササイズチャレンジなどを記録するといった案もありましたが、毎日のことはシンプルなものが続けやすいのでは、と歩数チャレンジが採用されました。さらに健康経営のメリット・デメリットについて情報を集め、実際に認定を受けている企業の話を聞くなど、丁寧に準備を進めていきました。

また、誕生日ミーティングとワンオンワンミーティングの両方を実施することで、社員が立場上、直属の上司には伝えにくいことも、経営陣には伝えられるような環境を整えてきました。会話の中では社員が安心して自身のことを話してくれることが多く、職場外の個人的な話やご家族に関する話題に発展することもあります。そうした対話を通じて、社員ひとりひとりの背景や現在の状況をより深く理解することができ、心身のコンディションにも気づきやすくなります。特にワンオンワンミーティングでは悩みや課題を早期に把握し、問題が大きくなる前に対処することが重要だと捉えています。

こうした取り組みの甲斐があり、2021年と2022年に岩手県のいわて健康経営認定事業所（中小企業部門）に認定され、その後2023年には、経済産業省の認定制度・健康経営優良法人プライト500の認定を受けることができました。東北地区の鉄構業界では初めてであり、岩手県内でも6社のみです（2024年時点）。社員の努力があってこそのものだと捉えていますし、産業医による全社員の健康診断結果の詳細な分析と適切なフォローアップを重ねてきたことをはじめ、ひとつひとつの取り組みを着実に実行してきた成果でもあります。新卒採用の際にも、健康経営プライト500の認定により従業員の福祉に真摯に取り組む会社として評価いただけるようになりました。

健康経営はゴールのない取り組みです。社員とその家族の幸せを支えることは、企業として当然の責務だと考えています。今後も対話を大切にしながら、より働きがいのある職場環境の実現に努めています。

年に1回の誕生日ミーティング風景



日々の業務の話からプライベートの話まで会話の内容は多岐に渡り、役員と話す機会の少ない社員にとっては誕生日ミーティングは経営陣と直接話をする貴重な機会でもあります。この話し合いから業務・職場改善にもつながっています。

誕生日ミーティングではお誕生日を迎えた社員へ商品券を贈呈しております。今後も各社員が気持ち良く誕生日を迎えるよう努力して参ります。

目に見える取り組みから制度整備まで、総合的な支援を。



佐々木 政城

総務部長（株岩手銀行より出向中）
令和6(2024)年4月1日入社

財務部長として着任後、現在は総務部長として菅原常務より業務を引き継ぎ、総務部門における幅広い業務を担当。特に健康経営の推進に注力しており、「健康経営優良法人」認定取得に向けたエントリーをはじめ、社員への健康情報の提供や、健康に関するアンケートの実施・集計・周知などを通じて、社内の健康意識の向上に努めています。

歩数チャレンジやラジオ体操といった、目に見える取り組みが注目されがちですが、当社ではそれに加えて、制度面の整備や職場環境の改善にも力を入れてきました。有給休暇や育児休業の取得しやすい環境づくり、業務のDX化やCDS、CNFなどの活用による業務効率の向上、時間外労働の削減など、社員がより健やかに働く環境を整えて参りました。特に育児休業については女性社員だけでなく、産後パパ育休の制度を利用し、男性社員も積極的に取得するように経営陣からも声をかけています。さらに各部署ではマネジメントプログラムという経営計画に連動した行動計画を策定し実行していますが、その中で残業時間が上限を超えない仕組みづくりに取り組んでいます。

一方で、毎年行っている健康習慣アンケートにおいて、健康に気を配るようになったという回答は必ずしも増えておらず、取り組みが形骸化している面もあるかもしれません。特に若い世代は、健康の大切さを実感しにくい年代でもあります。だからこそより継続的かつ自然に健康と向き合えるような啓発や支援が必要だと感じています。

健康経営優良法人プライト500の認定につきましては、全国の中小企業から多数の申請がある中、上位500社に選ばれたことは大変光栄であり、今後もその水準を維持していく責任を感じています。

今年（2025年）は厚生労働省が若者の採用・育成に積極的な企業を認定するユースエール認定企業として初めて認定されました。こちらは若者の就職を支援する制度であり、近年では建設業界の公共工事における入札の総合評価項目としても加点対象となり始めているなど注目が高まっています。認定要件は厳しく、直近3年間で新卒採用者の離職率が2割以上だと資格を維持できなくなります。毎年5名程度の新卒採用の当社では1人でも離職者が出ると要件を満たせません。取得したばかりでまだまだこれからですが、若手社員が安心して働く会社にしていきたいです。

健康経営とは、社員ひとりひとりの人生を支える企業としての姿勢であると考えており、心身ともに充実した状態で働く企業文化の醸成を目指しています。これからも実効性のある施策を継続し、質を高めていく考えです。

健康経営優良法人プライト500 (中小規模法人部門)を認定



全国の中小企業500社のみ選ばれる本認定を3年連続認定いただいている。今後も継続できるよう一層会社一丸となって取り組んで参ります。

3か月に一度のワンオンワンミーティング風景



基本的には直属の上司と部下1対1でミーティングを行います。上司は基本聞き役に徹します。部署内の問題やご本人が担当する業務の悩みなどをお話しいただき、ときには業務改善へと繋がります。メンタルヘルスの変調に気付く役割も担っています。社員が心身ともに健康で働くよう引き続き取り組んで参ります。

夜明けの鉄路の先に描く未来 —磨き続ける技が守る鉄道の安心—

インタビュー#3



鉄道インフラの安全性と信頼性を支えるのは、専門的な工事施工と高度な溶接技術です。当社では、30年前にJR すみ肉溶接技量資格を初取得して以来、技術力の蓄積と職人たちの誇りを礎に、JR 関連工事に取り組んできました。製造部では鉄道桁やアンダーパス構造物などの高精度な製品を手がけ、工事部・工務部と連携しながら、厳しい品質基準をクリア。夜間作業や限られた施工時間の中でも、綿密な準備と工程管理で安全を守り抜いています。本項では、一般的な土木工事とは異なる鉄道工事の特性に、製造と施工のスペシャリストたちがどう向き合っているのか、若手育成や技術継承の取り組みも含め、現場最前線の声をお届けします。



三陸鉄道 小鎌川橋梁



東北本線
村崎野・花巻間花巻 Bv 桁取替工事



お客様の信頼に応える技術と安全への取り組み



堀合 聰

工務部長
平成14(2002)年4月1日入社

技術部、工事部、営業部、工務部と幅広い部署を経験。20代では鉄道専門会社 BMC への出向も経験し、工学博士でもある。現在は工務部長の職にあり、JR 関連の総会などには当社代表として参列し、信頼関係の発展を図っている。

近年、東日本旅客鉄道さんやユニオン建設さんなどから複数の表彰をいただき、技術力を評価いただいていることを大変光栄に感じています。これらの表彰は、日頃の地道な努力や、現場における技術と安全への意識の高さが実を結んだ結果であると受け止めています。

当社は積極的な営業活動を行ってきたわけではありませんが、お客様からの信頼をいただき、着実に実績を重ねてまいりました。特に溶接に関する品質保持においては高い評価をいただいており、案件によっては当社指名で仕事が来ることもあります。このような形で認められていることを素直に誇りに思っています。今後も引き続き技術力を高め、安全と品質の両面でご期待に応えていきたいです。

現在、私は会社を代表して、鉄道施設協会東北支部の総会、ユニオン建設さん、仙建工業さんをはじめとするパートナー会社主催の安全大会、安全協力会の総会などに出席しています。安全大会では、安全への注意喚起に加え、JR さんから今後の経営計画をご説明いただき、将来の業務機会を把握することができます。安全衛生協力会では、東日本全体で発生した事故の速報や重大事故の事例が共有され、各パートナー会社はこれをもとに独自の安全対策を講じています。当社もこの情報を活かし、自社の専門性を踏まえた取り組みを進めています。

夜間作業の多さや、若手の育成・人材確保の難しさなど課題は尽きません。現場と共に協力会社の皆さんも、人手不足や若手育成という共通の課題を抱えています。特に20代の若手技術者不足は深刻ですが、技術や経験の継承を絶やすわけにはいきません。そのためベテラン技術者と若手をペアで現場に出し、意識を高める指導を行っています。

これまで約30年、重大な事故もなく安全な施工を継続できているのは、作業員一人ひとりの努力の賜物です。これからも技術を磨き、安全性の向上と品質確保を追求し続けることで、お客様の信頼にお応えし、企業としての一層の成長と社会への貢献を目指していきます。

安全を第一に、次世代へ受け継ぐ現場力



石森 裕浩
工事部次長
平成12(2000)年12月12日入社
JR関連工事、橋梁をはじめとする工事現場の管理を担当。令和5年に優良県営建設工事担当技術者会長顕彰、令和6年には岩手県知事より優秀建設施工者、令和7年に国土交通大臣顕彰を受賞した。

JRの工事としては主に鉄道橋の架け替えや補修・補強工事、新幹線のトンネル緩衝工の据付など、当社工場で製作した製品を現場に収める業務を担当しています。線路上で災害が発生した際の緊急対応も重要な業務の一つです。

JR工事は夜間の現場作業の作業時間が限られていることもあります。昔は昼間の作業を終えた後、そのまま夜の現場へ向かい、翌朝まで作業を行うこともありました。帰宅するのには午前中。休もうとしても外の物音や車の走行音が気になり、眠れない日々もありました。現場責任者という立場上、常に緊張感を抱えながら作業にあたっていたこともあります。十分な休息が取れないまま業務を続ける辛さは今でも忘れられません。幸い、現在はそのような状況はなくなりましたが、あの頃の過酷な日々は今も強く印象に残っています。

また、JRの工事は安全管理が非常に厳しく、万一列車の運行に影響を与えるような事態が発生すれば、事故として扱われます。機材の置き忘れや鍵の閉め忘れなどは絶対にあってはなりません。特に新幹線ではその影響の大きさから、一つの小さなミスが大問題に発展する恐れがあります。在来線でも列車が来る時間を知らずに作業をしていて、急に列車が来てしまつた経験もあります。事故が発生した場合、関係者は約1週間にわたって安全教育を受けなければならず、その間は現場に出ることができません。場合によっては、会社自体が仕事を受注できなくなることもあります。現場では細心の注意が求められます。今はこうしたリスクを未然に防ぐため、作業後に現場の最終確認として写真を撮影しチェックを徹底しています。

夜間作業や線路閉鎖作業では、経験を積むことで確かな判断力が身につきます。JR工事管理者の資格には5年以上の現場経験が求められるため、若手が経験を積めるよう体制を整えています。

私たちが手がけた構造物は、完成後も何十年にもわたって多くの人々の暮らしや移動を支え続けます。私たちは形に残る仕事に携われることに誇りを持っています。この誇りとやりがいを次の世代にも確実に引き継いでいけるよう、これからもひとつひとつの現場に真摯に向き合っていきます。

鉄路を守る責任を胸に、確かな次世代の力。



鈴木 優太
工事課兼鉄道課主任
平成21(2009)年4月1日入社
製造部を経て工事部に異動。主任職を務め、一級土木施工管理技士でもある。JR関係工事の担当者として従事し、令和6年にユニオン建設より感謝状を受賞するなど、確かな実績を重ねている。

JR工事は、一般的な道路工事とは大きく異なります。道路工事では迂回路を設置し、交通を切り替えて安全な施工環境を確保できますが、鉄道橋の工事では迂回路の確保は現実的ではありません。列車の運行を継続しながら工事を進める必要があることや住宅地が近い場合は、さらに工事の難易度を押し上げます。住宅地が近いとヤードが狭いケースが多く、現場に広さがない場合、多いときは100人ほどの工事関係者が現場に出入りします。

夜間作業も多く、限られた作業時間や場所の中で確実に工事を完了させるには、入念な事前準備が不可欠です。確実な施工を支えるのは、綿密なタイムスケジュール、各工程での作業内容の詳細な確認、そして何より発注元や協力会社との連携が大切です。事前打ち合わせは、工事の品質と安全を確保する上で極めて重要で、細部にわたる調整を常に心がけています。丁寧な準備があってこそ、安全かつ確実に工事を進めることができます。

例えば作業に必要な工具を一つでも忘れてしまった場合、取りに戻ることはできません。わずかな作業ミスであっても列車の運行停止につながる可能性があるため、高度な安全対策が求められます。この責任の重さを私たちは常に意識しています。

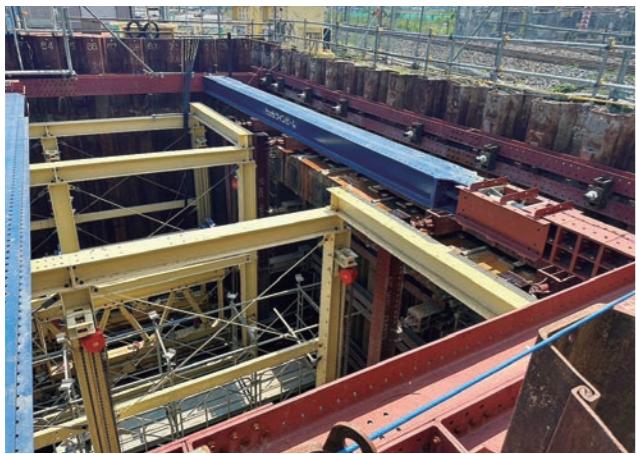
鉄道は人々の生活に欠かせない存在です。多くの方々が毎日安心して鉄道を利用できるよう、私たちはプライドを持って、この仕事に向き合っています。現場ひとつひとつの作業が社会全体の安全や利便性に直結している自覚を持ち、縁の下の力持ちとして、これからも日本の鉄道インフラを支えていきます。



青い森鉄道 三戸・諏訪ノ平間（上）第3馬渓川B検査足場新設工事



東北本線 水沢・金ヶ崎間胆沢川B沓座修繕



東北本線 中江南エレメント 施工時



東北本線 一ノ関・山ノ目間中里避溢B橋桁修繕工事



日光線 武子川橋りょう 工場製作



東北本線 村崎野・花巻間花巻Bv桁取替工事 夜間取替風景

初めての挑戦が未来を開いた—すみ肉溶接資格取得の歩み



佐々木 規義

製造部長

平成3(1991)年2月1日入社

当社で初めてJRすみ肉溶接資格を取得。先んじて溶接技術競技会出場にも取り組み、長年にわたり製造現場の技術力向上と人材育成に尽力している。

JRすみ肉溶接技量試験は、東日本旅客鉄道株式会社の発行する土木工事標準仕様書に規定され、列車荷重が載荷される重要構造物の製作に要求される資格です。非常に高度な溶接技術及び管理が要求され、3年ごとの更新試験が求められます。

平成8年、会社として初めてすみ肉溶接技量認定を取得したときのことは、今でも強く印象に残っています。現社長（当時取締役企画管理室長）から指示があり、鉄道関係の受注を強化するために取り組むこととなりました。社内にノウハウがないため、溶接材料メーカーの方を講師に招いて指導してもらい、当時は練習場所もなかったので工場の一角をブルーシートで仕切って溶接機を設置し、専用の練習場としました。初めての試験では合格者は4名にとどまりました。危機感を抱き、すみ肉溶接の経験のある方を講師に招いて指導を強化し、懸命に練習を重ね、同年のうちにJR東日本の構造技術センターさんに再試験を依頼、その結果6名が追加合格、初年度で合計10名が資格を取得しました。この結果はJR工事の規模を押し上げる大きな転機となりました。

令和8年の試験で、当社では11回目の受験となります。当時は右も左もわからない状態でしたが、今では基礎知識や基本技術も蓄積されています。現在は17名が保有しており、全国でもトップクラスの人数と思われます。専用の溶接練習場も整備され、練習環境は格段によくなりました。JR案件ではすみ肉溶接資格の保持が必須条件として求められ、その維持と継承は不可欠です。製造部では若手社員にも積極的に受験を勧め、半年以上の時間をかけて訓練を重ね、試験の2か月ほど前から模擬試験を行うなど、合格をしっかりと後押しする体制を整えています。更新や再取得の支援も含め、製造部全体で取り組み、技能向上を図っています。

30年前の挑戦は確かな技術の基盤となり、次世代へと受け継がれています。私たちはこれからも、確かな溶接技術と品質で、鉄道の安全と信頼を守り抜いていきます。

三部門で守る品質管理で、鉄道を支える基盤を製造



菊池 淳哉

製造部次長

平成10(1998)年4月1日入社

入社以来、一貫して製造部に所属。現在は製造部全体の工程管理や後進の育成を担当している。平成19年にはアーケ溶接部門で岩手選抜大会優秀賞を受賞。平成25年には半自動溶接部門で全国溶接技術競技会に出場。令和2年に国土交通大臣顕彰を受賞している。

当社製造部では、鉄道の安全を支える重要な役割を担っています。主力製品は列車荷重が載荷される構造物として鉄道桁はじめ、列車が上部を走り自動車が下部を通行するアンダーパスを構築する際に使われるJESエレメントです。また、駅のホーム関連製品や新幹線の緩衝工も数多く手がけています。

鉄道桁の製作を担当出来る企業は、JR東日本管内でもそれほど多くなく、JRすみ肉溶接技量試験に相当数の合格者を安定して出している企業として、大手橋梁メーカーと比べても遜色ない結果を出しています。その中で会社の規模が比較的小さい当社は中小規模の桁を中心に製作を担当しています。首都圏の鉄道網は設置後100年近く経過し、鉄道桁の多くは掛け替え時期が近づいており、中小規模のものも多いため当社への期待は大きいものがあります。10年以上は毎年製作を担当しているバックルプレート形式の補修桁製作もこれに相当し、最近は中央線鉄道桁の端横桁補修部材の作成依頼なども続いている。

鉄道桁は、トラック荷重が25t程度であるのに対し、列車荷重は100tを超えて格段に大きく、車輪の数だけ繰り返し荷重が発生するため、鉄道桁の溶接には高い疲労耐性が求められ、溶接条件が適切で、溶込みが深く、外観のきれいな溶接技量の要求につながっています。

近年では新幹線高速化に伴う課題にも対応しており、高速の新幹線がトンネルから出る際の衝撃波による騒音や施設への影響を軽減するため、トンネル出入口に設置する緩衝装置を製造し、騒音問題の解決に貢献しています。

JR案件の場合、構造特性などにより現場溶接が難しいため、基本的には工場で溶接と組み立てを行います。品質管理基準は非常に厳しく、熱影響で変形しやすい部材を許容値内に収めるのは難しいため、製作には細心の注意を払っています。現場での不良はあってはなりません。設計を担当する技術部と、工務部・品質管理部を含めた製造部と、現場工事を担当する工事部が、部署を超えて力を合わせてJR品質を確保しています。今後も三部門が一丸となり、安全な鉄道を支えていきます。



令和2年度すみ肉溶接試験 開会式集合写真



令和2年度すみ肉溶接試験



令和2年度すみ肉溶接試験 社内観試験



令和2年度すみ肉溶接試験 社外観試験



CHUOH
CORPORATION
60th ANNIVERSARY

誇りを胸に挑んだ挑戦の先に見えたもの —溶接競技会で磨かれた、技術者たちの歩みとその継承—

インタビュー#4



当社には、高い溶接技術を誇る溶接士たちがいます。岩手県溶接技術競技会では毎年好成績を収め、代表として全国大会へ13年連続出場。平成24年の初優勝を皮切りに、設備環境の整備や指導体制の強化を重ね、令和6年度の全国大会では、アーク溶接、半自動溶接の両部門で全国入賞の快挙を達成しました。競技会は技術の披露にとどまらず、世代を超えて技術を継承し、仲間と切磋琢磨する場もあります。若手育成にも力を注ぎ、先輩たちの経験と知識を次代へつなぐ姿勢は、ものづくりの未来を支える原動力です。本稿では、溶接競技会への出場経験を持つ製造部の社員に、これまでの挑戦の経験と技術者の想いを語っていただきました。



令和6年度
岩手県溶接技術競技会
選抜大会・県大会
4部門優勝



競技会風景



全国大会上位への歩み～技術育成の変革

溶接技術競技会には、岩手県No.1を目指し全国大会出場をかけ、一堂に会して競う選抜大会と、県内の若手社員を中心に各社で溶接したピースを提出し競う県大会の2つの部門があります。当社の選手たちは、それぞれの技能や担当分野に応じてアーク溶接の部、半自動溶接の部のいずれかにエントリーし、年に1度の一発勝負の競技会に挑みます。

私自身選抜大会で初めて優良賞を受賞したのは平成15年のことでした。そのときの出場は会社の指示によるもので、自発的な挑戦というよりどちらかといえば消極的なスタートでした。当時は出場する選手も少なく、日常業務に追われるなかで練習に十分な時間を割くのも厳しい状況でした。それでも出場するからには結果を残したいという矜持を持って臨み、選手として出場する他の社員たちと切磋琢磨しながら就業時間外に練習を重ねました。あのときの努力と経験が今の自分の技術的基盤をつくったと感じます。

近年では、当社の選手たちが全国大会の常連となり、全国でも安定して上位成績を残せるようになってきました。その背景には会社による練習環境の整備が大きく寄与していると思います。照明がLEDに換わって工場が明るくなりましたし、第二工場に専用の溶接練習場を新設し、集塵装置も設置して空気環境を改善、また安定した電源設備を導入して電流・電圧の変動が少くなり、溶接品質の安定と技術向上につながりました。アーク溶接に関しては、メーカーに特注した特別仕様の溶接機器を導入してもらいい、選手たちのモチベーションアップにもつながりました。

当社のみならず業界全体で若手溶接人材の確保と育成が大きな課題となっています。溶接という仕事は体力的な負荷が大きく、技術取得にも時間がかかるため、敬遠されがちという現状があります。見て覚えろ、という時代は終わり、現代ではとくに丁寧な技術指導が求められます。半自動溶接については年々機械が進化して扱いやすくなっていることに加え、菊池次長はじめ、藤原係長、畠山主任といった次世代の技術者たちが全国大会に出場して入賞するなど、目覚ましいレベルアップを見せており、指導者としても安心して任せられる体制が整いつつあります。しかしアーク溶接に関しては、職人技のような繊細さが必要で機械の取り扱いも難しく、言葉だけでは伝えづらい難しさがあります。だからこそ、技術を伝える側が根気よく向き合い、時間をかけて丁寧に伝承していく姿勢が何より大切だと痛感しています。

自身の全国大会の経験を、若手育成の土台として



菊池 淳哉

製造部次長

平成10(1998)年4月1日入社

平成19年岩手選抜大会アーク溶接の部での優秀賞を皮切りに、平成24年岩手選抜大会半自動溶接の部で当社初の最優秀賞を受賞し全国溶接技術競技会初出場。その後も岩手選抜大会最優秀賞2回受賞し、当社の半自動溶接のレベルを全国レベルへ引き上げた先駆者。現在は製造部全体の工程管理や後進の育成を中心に、幅広い業務を担当している。令和2年に国土交通大臣顕彰を受賞している。

私は平成15年頃から県大会に出場し始めました。当初は練習も熱心とは言えず、結果も伴いませんでした。そんな中、平成19年にアーク溶接で優秀賞(2位)を獲得したこと、自分でスイッチが入り、本格的に競技と向き合うようになりました。当時、選抜大会はポリテクセンターで行われていましたが、溶接機は施設のものを使用しなければならず、普段使っている溶接機とは仕様が異なりなかなか手応えが感じられませんでした。それでもなんとか結果を残すことができ、会社から練習専用に溶接機を購入していただきました。その後、平成20年頃から社内に専用の溶接練習場が整備され、環境が少しづつ整っていました。

設備の充実により本格的な練習に取り組めるようになりました。平成25年には半自動溶接の部で優勝し、初めて全国大会に出場しました。全国大会出場は当社初の快挙でした。しかし、実際に全国大会へ出てみると全国トップレベルとの圧倒的な差を痛感しました。上位に入る選手たちは技術も集中力も桁違いで、失敗が一切ありません。また、全国大会の開催地は毎年変わり、その年は名古屋で開催されたのですが、東日本とは電源周波数(ヘルツ)が違い、競技中も戸惑うことばかりでした。それでもこの経験は大きな財産となりました。得た気づきや技術を社内で共有し、若手を育てる土台となっています。

溶接の技術やノウハウについては上の世代が教えられることは惜しまず伝えていますが、最終的には本人が自分なりにアレンジし、やりやすい方法で取り組んでもらうようにしています。教え方も柔軟に対応しており、目で見てもらって教える時もあれば、実際に一緒に道具を持ち二人羽織のような形で感覚をつかんでもらうこともあります。ただ、溶接はセンスが問われる作業で、感覚が合う人は比較的早く習得できますが、なかなか上達が難しい人もいるのが現実です。鋼材との距離感や角度、作業スピード、機械の扱い方などは、実践と練習を通じて得体するしかありません。

私が指導した後輩たちが、さらに次世代へと技術を継承してくれることを期待しています。わからないことは素直に先輩に尋ね、今の自分を超える努力を重ねていってほしい。そう願いながら日々指導にあたっています。

大会出場を後押しする練習環境の整備



溶接練習場



ボード

令和5年3月1日、旧溶接練習場が第二工場へ移設され、半自動溶接機3台とアーク溶接機3台が新たに導入されました。6つのブースは半個室として仕切られ、各ブースには集塵機ダクトが新設、練習環境が一層整備されました。また、溶接大会の入賞結果を掲示するための一覧ボードも設置され、技術向上と成果の共有が進められています。

悔しさを糧に積み重ねた練習、そして全国へ



佐々木 国彦

製造部課長

平成14(2002)年4月1日入社

平成26年岩手選抜大会アーク溶接の部で当社初の最優秀賞を受賞。当社で唯一のアーク溶接の部全国経験者であり、2年連続で岩手県代表に選出、通算6回の全国大会出場を誇る。

全国大会：平成27年アーク溶接の部18位(優良賞)、令和6年アーク溶接の部17位(優良賞)。

入社当初は人手不足の中、毎日のように厳しい指導を受けながら溶接技術を習得しました。業務終了後の遅い時間に、冬期の寒い中で練習を重ねたものです。しかし頑張っても本番では入賞止まりでなかなか優勝には届きませんでした。

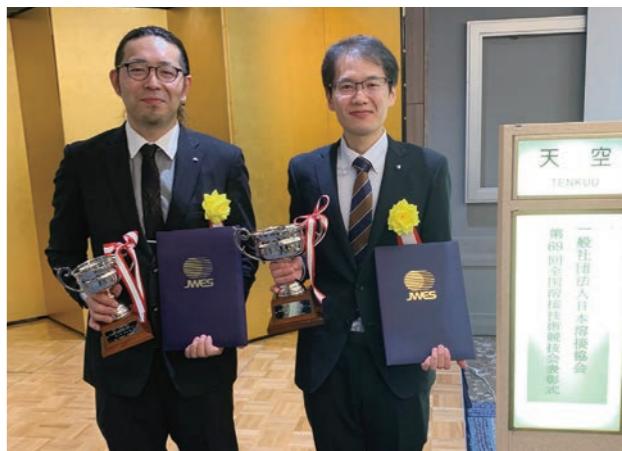
転機は平成26年でした。大会課題が5年ごとに変更される中、新しい課題に集中して取り組み最優秀賞を獲得、平成27年にアーク溶接の部では当社初めての全国大会出場を果たしました。平成25年に菊池次長が半自動の部で全国大会へ出場してから社内にも全国大会の情報が入るようになりました。大阪大会においては電源周波数(ヘルツ)の違いもあり、事前に会場で練習させてもらい本番に備えられたのは大きかったです。菊池次長、私、藤原係長、畠山主任と続けて全国へ出場したこと、社内の溶接レベルが一気に上がった感じがします。全国大会出場という明確な結果と新たな目標が出たことにより、会社からの支援も本格化し、練習環境も格段に向上しました。そうした後押しも受けて、令和6年度高知大会では全国17位入賞という自己最高成績を収めることができました。

先輩たちに叱咤激励を受けながら悔しさと向き合い、休日も返上して練習してきた経験が今の自分を支えています。しかし次代を担う若手と向き合う中で、世代間のギャップを感じることも正直あります。技術を教えることは惜しませんが、私がかつて先輩に向かっていいたような意欲の強さが伝わってきません。自分は職人気質が強すぎるのかもしれません。「鉄と話をしながら溶接をする」と言う不思議に思われるかもしれません、実際に溶接をしながら鉄の状態を感じ取り、力加減を調整していく。そうした対話が成り立った時に美しい溶接が完成します。そのような経験を伝え、「自分を超えたかったら俺より練習しなきゃダメ」と話しても、なかなか響かないもどかしさを感じています。

来年から競技課題が変更になるため、今年10月の富山全国大会は出場選手にとって5年間の集大成となります。全国の選手達は過去最高のパフォーマンスをするはずです。私自身も負けずにこの大会にふさわしい挑戦をしたいと考え、日々練習に励んでいます。



溶接出前授業(釜石商工高等学校)



令和6年度全国大会ダブル入賞表彰式



支援体制と、全国の仲間との交流が広げた可能性

「菊池次長を越えたい」という思いが私の原動力でした。平成22年に競技を始めた当初は常に頂点に立つ菊池次長に抑えられ2位が続いていました。次長の競技会引退後に念願の初優勝を果たし、それ以降も安定して好成績を収めています。今も岩手県内では誰にも負けないという気持ちで練習を続けています。

平成26年に初めて出場した全国大会（秋田大会）は緊張のあまり、気がついたら大会が終わっていたという印象です。その後、平成30年の山口大会に出場し、自身2回目の全国大会で20位入賞を果たしました。菊池次長のやり方を観察し、自分なりに取り入れた成果だと考えています。翌年の沖縄大会では上位を狙いすぎて結果が伴いませんでした。しかしこの年から、他県選手との交流が始まり、技術や意識の幅を広げるきっかけとなりました。その後も試行錯誤を重ね、令和3年度は自己最高成績の全国5位入賞、令和5年度は全国12位、翌令和6年度は全国7位と、しっかりと成績を残すことができるようになりました。当社は全国上位の常連企業とは言えないので、トップ選手と情報を共有することの意義はとても大きく、学びも多いです。現在は社内だけでなく全国に仲間があり、岩手県選抜大会でも強い気持ちで臨み、全国の頂点を狙っています。

以前は業務後の練習でしたが、現在は会社の支援により勤務時間内にも練習ができるようになりました。大会と同じ時間帯での練習は体を慣らすという点でも大きな利点があり、技術向上だけでなく、本番に近い環境で取り組むことができるという点で非常に重要です。全国で戦うにはできる努力をすべて尽くす必要があります。こうした支援体制により、後輩たちも着実に成長しています。

また、高校生のものづくりコンテスト溶接部門で全国大会が開催されるようになり、岩手県でも高校生を対象とした溶接大会が行われるようになりました。岩手県溶接協会と連携して、大会に先立って工業高校を訪問し、選手となる生徒たちに溶接技術や安全管理などの指導を行っています。この活動を通じて溶接技術を若い世代へ引き継ぎながら、後進とともに日本一を目指し続けたいです。

ご指導への感謝とともに歩んだ全国への道のり

令和元年に初めて選抜大会に出場し、苦戦はしましたが、岩手県4位の優良賞をいただくことができました。入社当時から先輩方のご指導や、会社が整えてくださった環境のおかげで、充実した練習に取り組むことができたことがこの結果につながったのだと思います。本番では緊張もありましたが、気持ちを強く保ち最後までやり抜くことができました。その後も県内で経験を重ね、令和4年には念願の岩手県大会優勝を果たし、全国大会に初出場しました。その前年に全国5位を獲得している藤原係長を抑えて出場する以上、何の成果も得られず戻ってくるわけにはいかないと、まずはメンタル面で負けないことを最大の目標とし、死に物狂いで本番に挑みました。事前練習では仕上げた溶接ビードを藤原係長に見えてもらい、「全国11位くらいのレベルだね」と声をかけて頂き、実際に全国10位という結果を残せたことは大きな自信となりました。

大会と仕事は別物ですが、日々の練習で培った技術は業務にも活きてきます。大会では技術の極みを目指しますが、仕事ではコストや納期との兼ね合いもあり、合格基準を満たせば十分という場合もあります。お客様によって求める品質レベルも異なります。職業病のように通常の仕事でも美しい仕上がりを追求してしまう者もいますし、私自身も自分のビードに納得いかないと、つい手直ししてしまうこともあります。大会での練習が今の技量につながっていて、技術者として成長する良い機会になっていると感じています。仲間たちと高め合いながら、今後も共に成長していくべきだと考えています。

技術や知識の面ではまだまだ足りない部分も多いと自覚しています。今後も藤原係長始め先輩方が注いでくださった時間とご指導を無駄にすることのないよう、次世代にもしっかりと伝えていけるよう精進していきたいです。



畠山 希一
製造部製造一課製造2係主任
平成28(2016)年4月1日入社
主に本溶接作業に従事、溶接技術競技会にも出場、令和4年には第67回全国溶接技術競技会へ出場し、全国10位（優良賞）を受賞。

I . 岩手県溶接技術競技会 選抜大会 成績一覧

年	大会区分	部	賞/順位	名前
平成15年度	第44回	【半自動溶接】	優良賞	佐々木規義
平成16年度	第45回	【アーク溶接】	優良賞	佐々木規義
平成17年度	第46回	【半自動溶接】	優良賞	平賀 義邦
平成19年度	第48回	【アーク溶接】	優秀賞	菊池 淳哉
平成20年度	第49回	【アーク溶接】	優秀賞	佐々木国彦
		【半自動溶接】	優秀賞	菊池 淳哉
平成21年度	第50回	【アーク溶接】	優秀賞(3位)	佐々木国彦
		【半自動溶接】	優良賞(4位)	菊池 淳哉
平成22年度	第51回	【アーク溶接】	優秀賞(3位)	佐々木国彦
		【半自動溶接】	優良賞(5位)	菊池 淳哉
平成23年度	第52回	【半自動溶接】	優良賞(6位)	菊池 淳哉
		【半自動溶接】	優良賞(7位)	藤原 裕城
平成24年度	第53回	【半自動溶接】	最優秀賞(1位)	菊池 淳哉
		【半自動溶接】	優良賞(5位)	小松 真二
平成25年度	第54回	【アーク溶接】	優秀賞(2位)	小松 真二
		【半自動溶接】	優秀賞(2位)推薦	藤原 裕城
平成26年度	第55回	【アーク溶接】	最優秀賞(1位)	佐々木国彦
		【半自動溶接】	優秀賞(2位)	藤原 裕城
平成27年度	第56回	【半自動溶接】	優秀賞(2位)	大竹 康貴
		【半自動溶接】	優良賞(5位)	藤原 裕城
平成28年度	第57回	【アーク溶接】	優秀賞(2位)	佐々木国彦
		【半自動溶接】	最優秀賞(1位)	菊池 淳哉
平成29年度	第58回	【アーク溶接】	最優秀賞(1位)	佐々木国彦
		【半自動溶接】	優秀賞(3位)	阿部 悟志
		【半自動溶接】	最優秀賞(1位)	菊池 淳哉
		【半自動溶接】	優秀賞(2位)	藤原 裕城
		【半自動溶接】	優良賞(7位)	石川 侑人

※朱書きは優勝

II . 全国溶接技術競技会 成績一覧

※朱書きは優勝

年	大会区分	部	賞/順位	名前
平成25年度	第59回	名古屋大会	【半自動溶接】	-
平成26年度	第60回	秋田大会	【半自動溶接】	-
平成27年度	第61回	大阪大会	【アーク溶接】	優良賞(18位)
平成28年度	第62回	函館大会	【半自動溶接】	-
平成29年度	第63回	横浜大会	【半自動溶接】	-
平成30年度	第64回	山口大会	【アーク溶接】	-
			【半自動溶接】	優良賞(20位)
令和元年度	第65回	沖縄大会	【半自動溶接】	-
令和2年度			当社からは【半自動溶接】藤原裕城選手が出場予定だったがコロナの為開催中止に	
令和3年度	第66回	三重大会	【アーク溶接】	-
			【半自動溶接】	優秀賞(5位)
令和4年度	第67回	青森大会	【アーク溶接】	-
			【半自動溶接】	優秀賞(10位)
令和5年度	第68回	茨城大会	【半自動溶接】	優良賞(12位)
令和6年度	第69回	高知大会	【アーク溶接】	優良賞(17位)
			【半自動溶接】	優秀賞(7位)
令和7年度	第70回	富山大会	【アーク溶接】	未発表
			【半自動溶接】	未発表

BRIDGE 橋梁

工事実績 震災復興工事

※物件名の横に記載された「No.」はP72から記載されている工事実績表の番号に対応しています
※物件ごとの概要は発注者、所在地、形式、大きさ、重量の順で掲載しております





WATER GATE 水門

工事実績 震災復興工事

WATER GATE

※物件名の横に記載された「/No.」はP72から記載されている工事実績表の番号に対応しています
※物件ごとの概要は発注者、所在地、形式、大きさ、重量の順で掲載しております



野々田水門／114
岩手県 岩手県大船渡市
アルミニウム合金製プレートガーダー構造ローラーゲート
W 5m × H 3.2m 1門



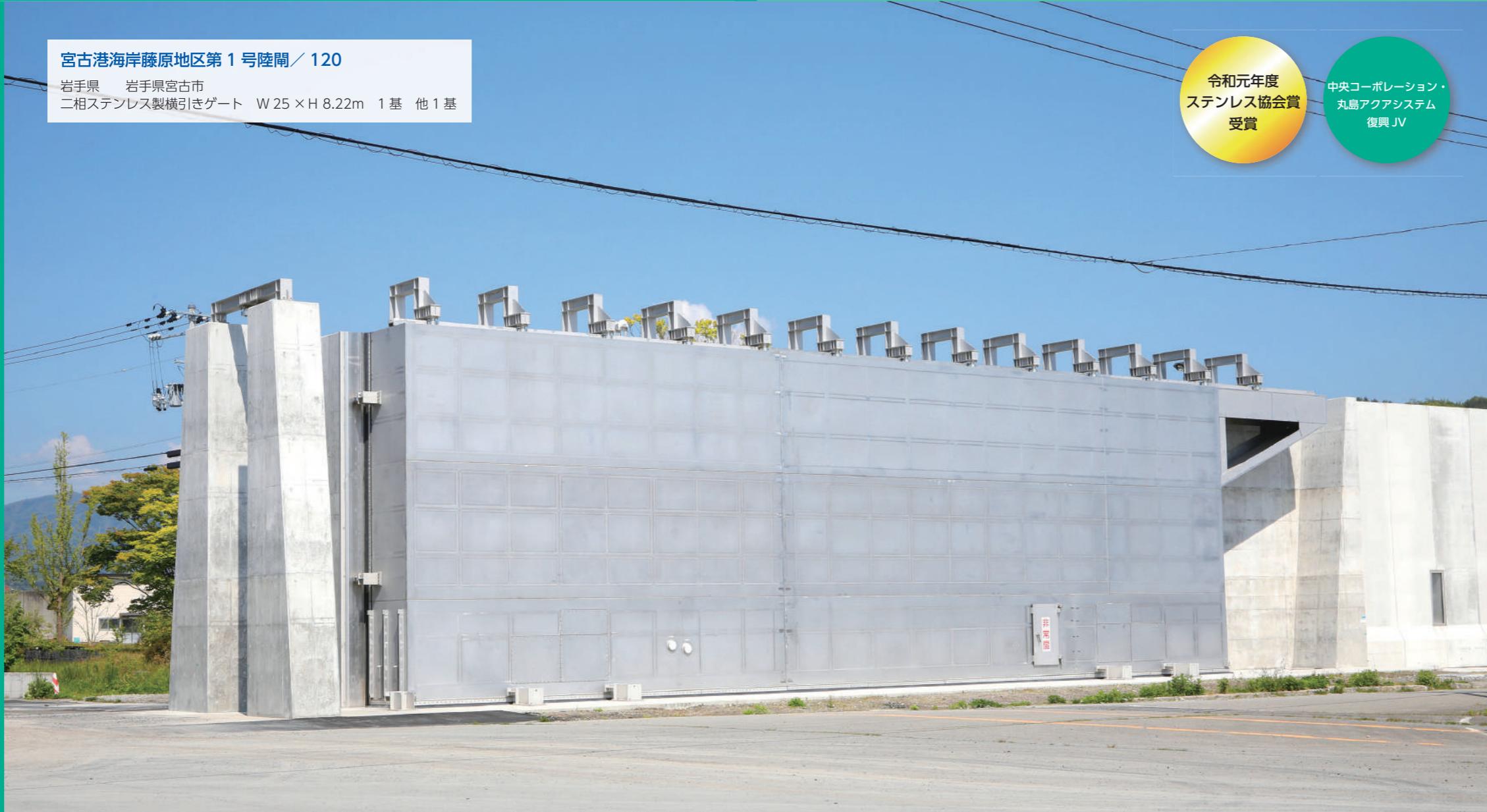


LAND GATE 陸閘

工事実績 震災復興工事

LAND GATE

※物件名の横に記載された「/No.」はP72から記載されている工事実績表の番号に対応しています
※物件ごとの概要は発注者、所在地、形式、大きさ、重量の順で掲載しております



釜石港須賀地区12号陸閘／112

岩手県 岩手県釜石市
ステンレス製横引きゲート W 10m × H 4.2m



釜石港須賀地区14号陸閘／112

岩手県 岩手県釜石市
ステンレス製横引きゲート W 15m × H 3.9m



釜石市 岩手県釜石市
浮体式起伏ゲート(ネオライズ) W 5m × H 3.67m



大船渡港細浦地区1号陸閘／134

岩手県沿岸広域振興局 岩手県大船渡市
二相ステンレス製横引きゲート W 9m × H 4.7m 1基 他3基



大船渡漁港海岸 15号陸閘／126

岩手県 岩手県大船渡市
ステンレス製横引きゲート W 6m × H 4.7m



大船渡海岸普金地区 2号陸閘／136

岩手県沿岸広域振興局 岩手県大船渡市
アルミニウム合金製横引きゲート W 22m × H 5.84m 他1基



脇之沢 1号陸閘／131

陸前高田市 岩手県陸前高田市
アルミニウム合金製横引きゲート W 7.0m × H 4.7m



大船渡港跡浜地区 4号陸閘／124

岩手県 岩手県大船渡市
アルミニウム合金製スイングゲート W 13.0m × H 5.5m



合足地区 2号陸閘／111

岩手県沿岸広域振興局 岩手県大船渡市
アルミニウム合金製横引きゲート W 5.0m × H 4.5m 1基



泊漁港陸閘／118

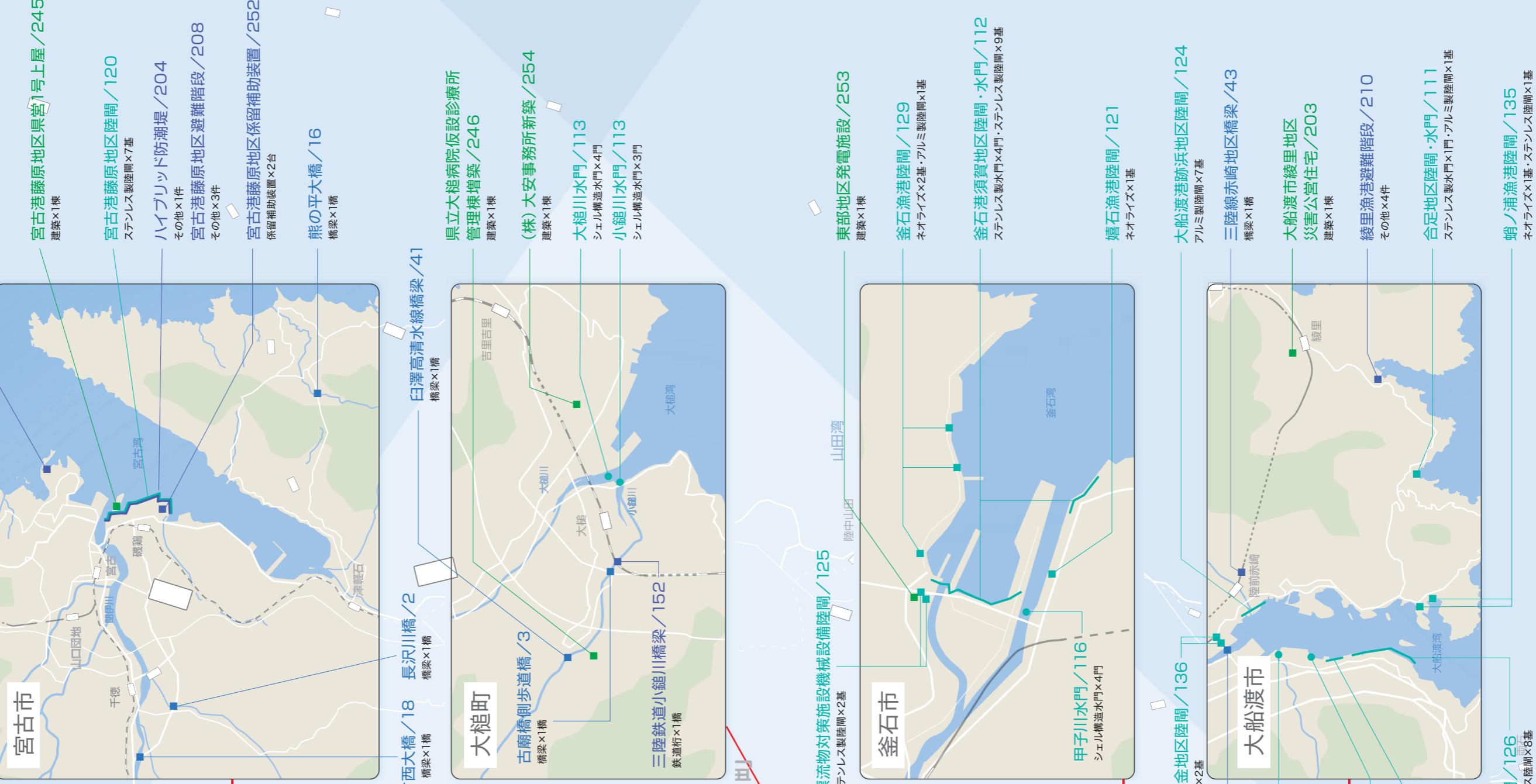
大船渡市 岩手県大船渡市
二相ステンレス製横引きゲート W 9.0m × H 4.7m 1門

三陸復興事業施工実績マップ

宮古市 (2021.4 ~ 2024.2)

宮古港遊歩道 / 249

その他 × 1 件



施工数 / ■ 橋梁新設 24 橋 / ■ 橋梁補修・補強 6 橋 / ● 水門 47 門 / ■ 陸閘 59 基 / ■ 建築 5 棟 / ■ その他 12 件 / 合計 153 件



大石橋／94

岩手県県南広域振興局 岩手県西和賀町
単純鋼箱桁橋 L 68.3m × W 10.7m 334t



樺沢大橋／103

岩手県盛岡広域振興局 岩手県八幡平市
2径間連続鋼合成床版橋 (パネルブリッジ) L 40.2m × W 9.7m 186.8t

橋梁補修工事



北上大橋／14

岩手県県南広域振興局 岩手県一関市
3径間連続鋼パンンドライドアーチ橋 (補修) L 482m × W 19.8m



豊沢橋／17

花巻市 岩手県花巻市
4径間連続鋼合成多主桁橋 (パネルブリッジ) L 133m × W 15m 768t



藤の巻橋／28

岩手県県南広域振興局 岩手県一関市
単純合成鋼鉄桁橋 L 29.2m × W 8m 36.6t



上の橋／93

岩手県県南広域振興局 岩手県一関市
3径間PC単純T桁 (補修) L 98m × W 6.6m



尻平川橋／92

岩手県県南広域振興局 岩手県北上市
3径間単純鋼鉄桁橋 (補修) L 86.5m × W 2.9m



盛岡地区歩道橋／13

東北地方整備局岩手河川国道事務所 岩手県盛岡市
単純非合成鋼鉄桁橋 (歩道橋) L 32.1m × W 2.1m 55.7t



一関歩道橋／38

東北地方整備局岩手河川国道事務所 岩手県一関市
単純非合成鋼鉄桁橋 (歩道橋) L 30.4m × W 3.2m 44.9t



遠川橋／101

岩手県県北広域振興局 岩手県久慈市
ポストテンション単純T桁×2連 (補修) L 61m × W 8m



轆轤石橋／100

岩手県沿岸広域振興局 岩手県大船渡市
2径間単純鋼合成鉄桁橋 (補修) L 83.65m × W 8.5m



煙山ダム取水設備／144

東北農政局北上土地改良調査管理事務所 岩手県矢巾町
ステンレス製スライドゲート 取水ゲート : W 0.3m × H 1.5m 4門



南部主幹線用水路ゲート／138

東北農政局岩手山麓農業水利事業所 岩手県滝沢市
ステンレス製スライドゲート W 3m × H 0.7m 他



山吉田水門／140 [元請／(株)只野組]

宮城県東部土木事務所登米地域事務所 宮城県登米市
ステンレス製オーバーリングゲート 1門 W 2.6m × H 1.4m



苗代堰ゲート／146

宮城県王城寺原補償工事事務所 宮城県大衡村
起伏堰 (ゴム袋体支持式) W 8m × H 1.2m



第二発電所水槽ゲート／148

東北農政局岩手山麓農業水利事業所 岩手県盛岡市
発電用ゲート (扉体、戸当り) ステンレス製ローラーゲート W 3m × H 4m 1門



針前堰ゲート／145

宮城県王城寺原補償工事事務所 宮城県大衡村
起伏堰 (ゴム袋体支持式) 1門 W 8m × H 1.6m



東北本線 南鍛冶町 Bv／167 [元請／ユニオン建設(株)]

東日本旅客鉄道(株) 岩手県花巻市
南鍛冶町BV(上り下り) 上路プレートガーダー L 5.4m 鉄道桁 2橋



東北本線 花巻 Bv／190 [元請／ユニオン建設(株)]

東日本旅客鉄道(株) 岩手県花巻市
単線開床式単純上路プレートガーダー L 7.0m 鉄道桁



三陸鉄道 小鎌川橋梁／152

東日本旅客鉄道(株) 岩手県大槌町
上路プレートガーダー単線 2主桁・橋枕木式
橋側歩道付 L 10.4m × 4本 L 10.1m × 2本 33.3t



日光線 武子川橋りょう／197 [元請／ユニオン建設(株)]

東日本旅客鉄道(株) 栃木県
単純下路 H型鋼工事桁 L 13.71m 1連 25.985t



東北本線 中江南エレメント／195 [元請／(株)ジェイテック]

東日本旅客鉄道(株) 宮城県仙台市
JES エレメント製作運搬 234.236t FRP 貼付 632.4m



大船渡線 羽根折沢橋／179 [元請／ユニオン建設(株)]

東日本旅客鉄道(株) 岩手県一関市
3径間連続レール造 排水管補修工 鋼製排水管 4箇所 他





川舟スノーシェルター／221

岩手県県南広域振興局 岩手県西和賀町

2ヒンジアーチ式鋼製スノーシェルター 施設延長 60m 幅員 7.5m



ハイブリッド防潮堤／204

【受注先】(株)横河住金ブリッジ

岩手県沿岸広域振興局 岩手県宮古市

フーチング金物 146.79t 連結金物 59.136t コンクリート打設 210m³ 総延長 1.9km



藤原地区陸閘避難階段／208

岩手県沿岸広域振興局 岩手県宮古市

避難階段 H 8.37m 1基 他 2基

大船渡市綾里地区災害公営住宅／203

岩手県 岩手県大船渡市

造成工事 地盤改良工事



大迫学校給食センター／205

花巻市 岩手県花巻市

構造 S造平屋建 延床 475.6m²

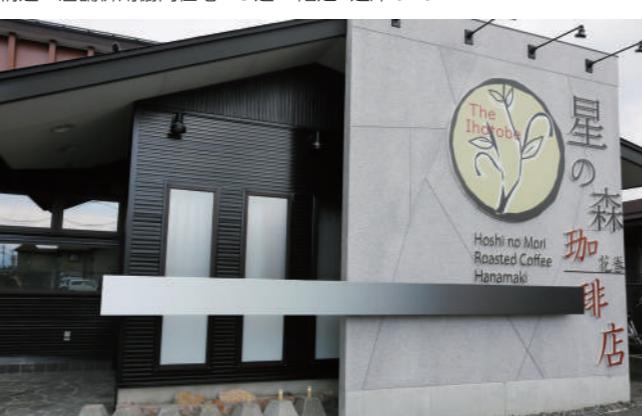
店舗改装 1式



花巻市中央地区上町災害公営住宅／207

花巻市 岩手県花巻市

構造 店舗併用協同住宅 RC 造 4階建 延床 910m²



星の森珈琲店／215

(株)マックスコーポレーション 岩手県花巻市

店舗改装 1式

工事実績表

【橋梁】

※年は受注年 (※着色は優良工事表賞)

No.	年	発注者	所在地	元請(受注先)／工事件名	工事内容
1	2011	栗原市	宮城県栗原市	23災18031号他1件 御館橋他1橋橋梁災害復旧工事	①御館橋:下路式ワーレントラス+単純鋼合成桁橋(補修) L 120m × W9m ②小田橋:3径間連続非合成鋼板桁橋(補修) L 125m × W6.2m
2	2012	岩手県沿岸広域振興局	岩手県宮古市	一般国道106号宮古西道路(仮称)長沢川橋上部工制作架設工事	単純非合成鋼板桁橋 L 56.4m × W14.7m 356t 平成27年度岩手県優良県営建設工事表彰受賞
3	2012	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大槌町	一般県道大槌小槌線古廟橋地区橋梁災害復旧工事	単純非合成鋼H形橋(補修) L 66.4m × W3.8m 30t
4	2014	岩手県	岩手県大船渡市	二級河川盛川筋塩場地区河川災害復旧(23災635号) 川口橋上部工工事	3径間連続非合成鋼箱桁橋 L 182.1m × W9.5m 701t ※中央コーポレーション・横河ブリッジ特定JV
5	2014	花巻市	岩手県花巻市	市道熊野内野線太田橋上部工製作工事・架設工事	4径間連続非合成鋼板桁橋 L 144m × W7.5m 277t
6	2014	岩手県盛岡広域振興局	岩手県盛岡市	一般県道盛岡鶴宿温泉線猿田橋橋梁補強修理工事	単純活荷重合成鋼板桁橋(補修) L 114.3m × W6.5m
7	2014	岩手県沿岸広域振興局	岩手県岩泉町	一般国道455号三田市橋橋梁耐震補強・補修(上部工)工事	3径間連続鋼板桁橋+単純合成鋼板桁橋(補修) L 156m × W10.75m
8	2014	仙台市	宮城県仙台市	(市)白沢熊ヶ根線野川橋橋梁上部工補修工事	3径間連続鋼床版鋼板桁橋(補修) L 47.9m × W5.8m 73.25t
9	2014	岩手県北広域振興局	岩手県久慈市	一般国道281号新芋谷橋上部工工事	単純非合成鋼箱桁橋 L 54m × W9m 196t
10	2015	仙台市	宮城県仙台市	(主)仙台山寺線深野橋橋梁補修工事	単純合成鋼板桁橋(補修) L 49.1m × W6m
11	2015	岩手県北広域振興局	岩手県輕米町	一般国道395号日ノ戸橋橋梁補強工事	2径間連続鋼板桁橋(補修) L 93.1 × W13m
12	2015	東北地方整備局 三陸国道事務所	岩手県九戸郡野田村	久慈管内橋梁補強修理工事	①安家大橋: P CボステンT桁4連橋 (補修) L 156m × W7.5m ②野田橋: P CボステンT桁2連橋 (補修) L 42m × W7.5m
13	2015	東北地方整備局 岩手河川国道事務所	岩手県盛岡市	盛岡地区歩道橋設置工事	単純非合成鋼板桁橋(歩道橋) L 32.1m × W2.1m 55.7t
14	2015	岩手県南広域振興局	岩手県一関市	一般国道284号北上大橋橋梁補修工事	3径間連続鋼パランドストライダーチーク(補修) L 482m × W19.8m
15	2016	岩手県陸前高田市	岩手県陸前高田市	池田建設(株) / 23災1174号市道今泉高田線姉歵橋橋梁災害復旧工事	3径間連続非合成鋼板桁橋 L 152.4m × W14.8m 520.9t
16	2016	岩手県沿岸広域振興局	岩手県宮古市	主要地方道重茂半島線(仮称)熊の平1号橋上部工工事 (熊の平大橋)	4径間連続非合成鋼板桁橋 L 154m × W6.5m 226t
17	2016	花巻市	岩手県花巻市	市道上町成田線豊沢橋上部工製作・架設工事	4径間連続鋼合成立柱橋(パネルブリッジ) L 133m × W15m 768t
18	2016	岩手県	岩手県宮古市	一般国道106号宮古西道路(仮称)閉伊川横断橋上部工工事 (宮古西大橋)	7径間連続鋼細幅箱桁橋 L 430.5m × 13m 1,797t 令和元年度岩手県優良県営建設工事表彰受賞 ※中央コーポレーション・北日本機械特定JV
19	2017	東北地方整備局 岩手河川国道事務所	岩手県二戸市	青岩大橋側道橋・床版工・歩道橋工事はか	上路式アルミ床版鋼板桁橋 L 140m × W2.3m 18.2t
20	2018	宮古市	岩手県宮古市	刈屋建設(株) / 28災540号役場線災害復旧(日蔭橋上部工)工事	3径間連続鋼合成立柱橋 L 71.5m × W6.2m 102.8t
21	2018	仙台市	宮城県仙台市	(市)御堂平2号線橋梁上部工工事	単純鋼板桁橋 L 43m × W9.5m 109.5t
22	2018	岩手県	岩手県陸前高田市	一般国道340号(仮称)今泉大橋上部工工事	6径間連続非合成鋼板桁橋 L 280.3m × W12.5m 779t 令和4年度岩手県優良県営建設工事表彰受賞 ※北日本機械・中央コーポレーション特定JV
23	2019	宮古市	岩手県宮古市	林道蕨の沢線1号箇所(上部工)災害復旧工事	鋼床版鋼板桁橋 L 54.7m × W4m 59.3t
24	2019	宮古市	岩手県宮古市	23災1145号橋梁災害復旧(下押待橋)工事(上部工)	単純2径間鋼合成立柱橋 L 40.1m × W3m 16.8t
25	2019	大槌町	岩手県大槌町	町道小槌線道路改良(橋梁上部工)工事(新鎌渡橋)	2径間連続鋼合成立柱橋 L 45.5m × W10m 128t
26	2019	石巻市	宮城県石巻市	(株)倉元建設 / 本地橋橋梁災害復旧(その2)工事	2径間鋼板桁橋 L 54.1m × W6.2m 45.7t
27	2019	奈良県宇陀土木事務所	奈良県宇陀市	(株)丸島アカアシシステム / 一般県道大又小川線三尾工区(仮称)永昌橋上部工事	単純非合成鋼箱桁橋 L 33.5m × W9.2m 75.163t
28	2019	岩手県南広域振興局	岩手県一関市	一級河川磯田川筋油島地区藤の巻橋(橋梁上部工)工事	単純合成鋼板桁橋 L 29.2m × W8m 36.6t 令和4年度岩手県優良県営建設工事表彰受賞
29	2019	埼玉県朝霞国土整備事務所	埼玉県和光市	(ゼロ債務)9513交付金(河川)整備工事(芝宮橋上部工)	2径間連続鋼合成立柱橋(パネルブリッジ) L 67.9m × W7.2m 121.7t
30	2019	埼玉県川越土木整備事務所	埼玉県川越市	社会資本整備総合交付金(河川)工事(豊橋上部工)	単純鋼合成立柱橋(パネルブリッジ) L 32.7m × W7.2m 66.5t
31	2019	岩手県沿岸広域振興局	岩手県岩泉町	二級河川安家川筋大正橋はか河川災害復旧等 閑連緊急(上部工)工事	①安家橋:2径間連続鋼板桁橋 L 53.2m × W5m 47.5t ②大正橋:2径間連続鋼合成立柱橋(パネルブリッジ) L 60.8m × W6.2m 105.3t
32	2020	府中市	東京都府中市	化工建設(株) / 府中スカイナード歩道橋改修工事	単純非合成鋼板桁橋(歩道橋) L 40.2m × W3m 29.7t
33	2020	宮城県東部土木事務所	宮城県石巻市	東日本コンクリート(株) / 風越3号橋上部工場製作工	3径間連続非合成鋼板桁橋 L 113m × W11m 246.9t
34	2020	宮城県東部土木事務所	宮城県石巻市	東日本コンクリート(株) / 相川2号橋上部工場製作工	単純非合成鋼箱桁橋 L 31.5m × W11m 59.5t
35	2020	岩手県沿岸広域振興局	岩手県住田町	一般国道340号葉山恵蘇地区(仮称)1号橋橋梁上部工 (製作・架設)工事(蔵王洞橋)	単純非合成鋼箱桁橋 L 57.8m × W12m 294t 令和4年度SAFETY2022受賞
36	2020	仙台市	宮城県仙台市	(市)小田原燕沢線燕沢歩道橋耐震補強及び補修工事	中路式プレートガーダー橋(補修) L 31.9m × W2.2m
37	2020	三郷市	埼玉県三郷市	須賀建設(株) / 無名2018号橋架替(上部)工事(和泉橋)	単純鋼合成立柱橋(パネルブリッジ) L 21.1m × W9m 43.792t

38	2020	東北地方整備局 岩手河川国道事務所	岩手県一関市	一関地区歩道橋工事(一関歩道橋)	単純非合成鋼鉄桁橋(歩道橋) L30.4m×W3.2m 44.9t 令和4年度岩手河川国道事務所表彰受賞
39	2020	岩手県県南広域振興局	岩手県西和賀町	一般県道ゆだ錦秋湖停車場線岩滑橋橋梁上部工工事	単純非合成鋼鉄桁橋 L47m×W7m 110.9t
40	2020	吉川市	埼玉県吉川市	名倉建設(株)／ (都)越谷吉川線整備工事(上部工・護岸工)	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L23.3m×W24.2m 124.8t
41	2020	大槌町	岩手県大槌町	松村建設(株)／ 町道白澤高清水線橋梁整備工事	2径間連続鋼合床版橋(パネルブリッジ) L52.5m×W3m 54.9t
42	2020	埼玉県 行田県土整備事務所	埼玉県行田市	サイレキ建設工業(株)／社会資本整備総合交付金(住宅) 工事(護岸工その11)(253号橋パネルブリッジ)	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L21.4m×W6.2m
43	2020	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	主要地方道大船渡綾里三陸線赤崎地区橋梁上部工工事 (大洞跨線橋)	単純非合成鋼鉄桁橋 L35.8m×W9.5m 96.5t
44	2020	仙台市	宮城県仙台市	(国)286号(野鹿公園前歩道橋)補修工事	下路形式単純鋼鉄桁橋(補修) L25.1m×W1.5m
45	2021	宮城県東部土木事務所	宮城県石巻市	東日本コンクリート(株)／ 追波沢川河川災害復旧工事(橋梁上部工その2)	単純合成鋼鉄桁橋 L28.4m×W6.2m 30.134t
46	2021	埼玉県 川越県土整備事務所	埼玉県川越市	社会資本整備総合交付金(河川)工事(滝下橋上部工)	鋼合床版橋(パネルブリッジ) L31.9m×W8.2m 79.3t
47	2021	岩手県沿岸広域振興局	岩手県岩泉町	北日本機械(株)／ 二級河川安家川筋新橋ほか河川災害復旧等 関連緊急(上部工)工事	新橋:2径間連続鋼合床版橋(パネルブリッジ) L56.3m×W7.8m 96t
48	2021	関東地方整備局 高崎河川国道事務所	群馬県渋川市	三井住友建設鉄構エンジニアリング(株)／日鉄エンジニアリング(株) 渋川西跨道橋	単純鋼細幅箱桁橋 L46.5m×W12.25m 51.1t
49	2021	鶴岡市	山形県鶴岡市	(株)マルゴ／ 皇太神社線向津橋上部工工事	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L30m×W1.4m
50	2021	岩手県県北広域振興局	岩手県輕米町	一般国道395号猿越橋耐震補強工事	単純鋼上路トラス橋(補修) L61.2m×L7.5m
51	2021	所沢市	埼玉県所沢市	洋光建設(株)／清柳橋改築工事(上部工事)	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L38.8m×W10.5m 127.3t
52	2021	岩手県	岩手県北上市	栗駒国定公園経塚山歩道橋架設工事	上路式プラットトラス橋(歩道橋) L40.9m×W0.8m 87t
53	2021	公益財團法人 資源環境センター土煙事業所	岩手県西和賀町	藤見橋上部工(製作)工事・藤見橋老朽化対策第三期工事 (橋梁上部工架設)	単純合成鋼鉄桁橋 L31.1m×W6.95m
54	2021	山形県最上総合支所	山形県鮎川村	(株)第二物産(製作)／(株)新庄鈴木柴田組(架設) 一般県道曲川新庄線道路改良工事(居口橋工区)(小坂橋)	単純活荷重合成鋼H形桁橋 L22.12m×W9.7m
55	2021	青森県中南地域県民局	青森県弘前市	丸勘建設(株)／ 承河改第5052号 大峰川河川改良(桜橋上部工)工事	単純合成鋼鉄桁橋 L35.9m×W4.2m
56	2021	零石町	岩手県零石町	岩井建設(株)／(株)中村建設特定共同企業体／ 町道澁沢・安庭線昇瀬橋架替工事(製作・輸送・架設・舗装工事)	3径間連続非合成鋼鉄桁橋 L98.1m×W10.5m 168.4t
57	2021	東北地方整備局 三陸国道事務所	岩手県洋野町	ショーボンド建設(株)／ 中野横断歩道橋損傷復旧工事	下路式鋼鉄桁橋 L30.76×W1.9 8.71t
58	2021	岩手県県南広域振興局	岩手県西和賀町	一般国道107号大石地区仮橋(鋼管杭)製作工事	単純合成鋼鉄桁橋 L34m×W8m
59	2021	仙台市	宮城県仙台市	東日本コンクリート(株)／ (市)東古屋敷線(仮称新馬橋)橋梁上部工工事	単純合成鋼床版橋 L50.5m×W10.5m 257t
60	2021	東日本高速道路(株) 北海道支社	北海道江別市	(株)横河N S エンジニアリング／ 県央自動車道夕張川橋(上り線)床版取替工事	①SEFジョイント P1 325タイプ L=13.007 1基 ②SEFジョイント P5 255タイプ L=13.048 1基 ③SEFジョイント P8 255タイプ L=13.092 1基
61	2021	仙台市	宮城県仙台市	鹿島建設(株)／ ヨドバシ第1ビル ベデストリアンデッキ製作工事	工場製作147.5t 工場塗装銷止め 1式 450m ²
62	2021	神奈川県 県西土木事務所	神奈川県真鶴町	東鉄工業(株)／ 令和2年度交通安全施設等整備工事(県単)その45 令和3年度交通安全施設等整備工事(県単)その18合併(真鶴歩道橋)	歩道橋及び柱脚19t
63	2021	日高市	埼玉県日高市	災害復旧工事(1災247号)新井橋上部工	2径間連続非合成鋼鉄桁橋 L55.4m×W3m 20.3t
64	2021	日高市	埼玉県日高市	災害復旧工事(1災248号)新堀橋上部工	2径間連続非合成鋼鉄桁橋 L42.4m×W3.3m 12.8t
65	2021	埼玉県 飯能県土整備事務所	埼玉県入間市	総A除)橋りょう整備工事(上部工)(霞橋)	単純鋼合床版橋(単純中空合床版橋) L41.5m×W14.8m 311.1t
66	2021	千葉県南房土木事務所	千葉県南房総市	化工建設(株)／ 花園橋1号側道橋・橋梁補修工事	1径間単純鋼鉄桁橋 L19.093m×W2.4m 8.93t
67	2022	西日本高速道路(株) 関西支社	兵庫県宝塚市	(株)横河N S エンジニアリング／ 小浜橋製作運搬(I・J ランプ・運搬用架台等製作)	3径間連続ラーメン鋼合床版橋 L43.65m×W11.499m
68	2022	千葉県 一宮川改修事務所	千葉県茂原市	(株)三枝組／ 広域河川改修(連携)工事(一宮川局部改良川中島橋工その2)	中路式床版鋼鉄桁橋 L38.2m×W2m 33.5t
69	2022	神奈川県 厚木土木事務所 東部センター	神奈川県海老名市	令和4年度 河川改修工事 公共(その4) 令和4年度 河川改修工事 県単(その7)合併(83号橋)	単純鋼合床版橋(単純中空合床版橋) L25.8m×W6.2m 46.84t 令和6年度 厚木土木事務所東部センター優良工事表彰受賞
70	2022	青森県三八地域県民局	青森県五戸町	浅水川広域河川改修工事(桜川橋)	単純合成鋼鉄桁橋 L27.3m×W4m 20.6t
71	2022	奥州市	岩手県奥州市	進栄建設(株)／ 馬懸女石線女石橋上部工架設工事	2径間連続鋼合床版桁橋 L44.2m×W6.2m
72	2022	東京都江東区	東京都江東区	千代田建設興業(株)／ 清水橋架替工事	単純鋼合床版橋 L38.3m×W12.8m 164t
73	2022	仙台市	宮城県仙台市	東日本コンクリート(株)／ (市)富沢西幹線1号線(熊野宮橋)橋梁上部工新設工事	単純鋼合床版橋 L32.4m×W3.637m 31.368t
74	2022	千葉県 銚子土木事務所	千葉県銚子市	日鉄エンジニアリング(株)／ 高田川橋	単純鋼合床版橋 L42.9m×W13m 166.872t
75	2022	中野二丁目 土地区画整理組合	東京都中野区	西松建設(株)／ (仮称)中野駅南口駅前広場公共施設工事 (中野駅ベデストリアンデッキ製作輸送・架設・上屋製作)	①鋼床版箱桁ラーメン橋 L10.46×W8.47m ②階段:単純中路鋼鉄桁橋 L14.8×W1.5m
76	2022	東京都第五建設事務所	東京都江東区	白鷺橋上部工事(4五 - 環3支2白鷺橋)	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L27.3m×W36m 95.375t 令和6年度 東京都第五建設事務所優良工事表彰受賞
77	2022	岩手県県南広域振興局	岩手県花巻市	一般県道山の神西宮野目桜橋々側歩道橋(下)橋梁補修工事	5径間単純鋼鉄桁橋 L149.99m×W2.1m

78	2022	山形県庄内総合支所	山形県鶴岡市	ショーボンド建設(株)／ 袖沢橋橋梁補修等工事	単純鋼ランガー桁+単純合成鋼鉄桁橋 L126m×W6.5m
79	2022	大崎市	宮城県大崎市	東日本コンクリート(株)／ 令和4年度市道百々北小牛田線(田尻川大橋)橋梁修繕工事	H型鋼単純活荷重合成桁橋 L44.9m×W7.8m 81.506t
80	2023	千葉県長生土木事務所	千葉県茂原市	化工建設(株)／ (仮称)町保橋側道路橋上部工架換え工事	3径間連続鋼床版桁橋 L28.02m×W1.75m
81	2023	青森県 下北地域県民局	青森県大間町	野崎建設工業(株)／ 下北北部中山間第32号奥戸川橋架設工事	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L39m×6.2m 79.7t
82	2023	栗原市	宮城県栗原市	市道横須賀上畠岡線橋梁上部工事(横須賀橋)	単純鋼鉄桁橋 L30.2m×W6.2m 31.4t
83	2023	東北森林管理局 秋田森林管理署湯沢支署	秋田県湯沢市	日鉄エンジニアリング(株)／ 役内林道西ノ又橋	2径間連続鋼合床版橋(パネルブリッジ) L45.5m×W5.2m 51.3t
84	2023	東日本高速道路(株) 東北支社	岩手県花巻市	三井住友建設(株)・ ドービー建設工業(株)特定建設工事共同企業体／ 東北自動車道 耳取川橋床版取替工事	①耳取川橋(上・下):単純合成鋼鉄桁橋 L37.7m×W10.75m ②葛丸川橋(上):2径間連続非合成鋼鉄桁橋 L69m×W10m
85	2023	所沢市	埼玉県所沢市	西武建設(株)／ 所沢駅歩行者デッキ(B・C)整備工事(その1)	①B:鋼床版中路箱桁ラーメン橋 L39.73m×W6m 階段 L9.45m×W1.5m ②C:鋼床版中路鋼鉄桁ラーメン橋 L12.18m×W4m
86	2023	さいたま市	埼玉県さいたま市	水辺公園橋架換工事	デッキプレート鋼床版桁橋(歩道橋) L29.6m×W2.5m 19t
87	2023	吉川市	埼玉県吉川市	(有)コンストラクションヤマザキ／ 市道3-104号大場川無名橋91上部工(その1・2)工事(兵庫橋)	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L26m×W7.2m 67t
88	2023	仙台市	宮城県仙台市	(株)テツゲン／ (市)富沢南一丁目1号線(杉の下歩道橋)橋梁上部工新設工事	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L32.2m×W3.6m 30.459t
89	2023	東京都江東区	東京都江東区	千代田建設興業(株)／ 巽橋架替工事	単純合成H型鋼桁橋 L16m×W15.8m
90	2023	茂原市	千葉県茂原市	(株)三枝組／ 市道2級5号線 道路改良工事(明治橋上部工)	単純鋼床版鉄桁橋 L45.6m×W12.8m 230t
91	2023	秋田県秋田市	秋田県秋田市	アキモク鉄工(株)／ 05-KA27-10令和5年度 河川改修工事(堀内1号橋)	単純鋼合床版橋(パネルブリッジ) L27.9m×W6.2m 39.962t
92	2023	岩手県北上市	岩手県北上市	一般国道107号尻平川橋橋梁補修工事	3径間単純鋼鉄桁橋(補修) L86.5m×W2.9m
93	2023	岩手県県南広域振興局	岩手県一関市	一般県道前沢東山線上的橋橋梁補修工事	3径間PC単純T桁(補修) L98m×W6.6m
94	2023	岩手県県南広域振興局	岩手県西和賀町	一般国道107号大石地区道路災害復旧(橋梁上部工製作・架設)工事	単純鋼鉄桁橋 L68.3m×W10.7m 334t
95	2023	関東地方整備局 千葉県国道事務所	千葉県	(株)ゼンテック／ R5船橋出張所管内橋梁補修維持工事	①弁天橋:単純非合成鋼鉄桁橋 L248.9m×W13.5m ②江戸川高架橋:3径間連続非合成鋼鉄桁橋 L183.05m×W14m ③天台大橋:単純非合成鋼鉄桁橋 L51.8m×W14.35m 支承防護工(金属溶射) 3橋分
96	2023	岩手県県南広域振興局	岩手県一関市	主要地方道一関北上線中里橋(堤外地側)橋梁耐震補強工事	単純ボステン方式PCT桁+鋼3径間連続プレテン方式PCT桁×2連 L167m×W10.75m
97	2024	久喜市	埼玉県久喜市	(有)中建工業／ 東鷺宮駅東口立体施設整備工事(上部工)</	

【水門・陸閘】

No.	年	発注者	所在地	元請(受注先)／工件事名	工事内容		※年は受注年
					工事内容		
111	2014	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	農地海岸保全施設災害復旧事業合足地区第2号(水門機械設備工事(合足地区2号陸閘・合足地区2水門ほか))	プレートガータ式ステンレス製ローラゲート W5.6m×H1.8m 1門 アルミニウム合金製横引きゲート W5.0m×H4.5m 1基		
112	2014	岩手県	岩手県金石市	釜石港須賀地区ほか海岸災害復旧(23災144号ほか) 陸閘設備ほか工事(須賀水門・須賀地区12号陸閘ほか)	①須賀水門:ステンレス製ローラーゲート W8m×H2.5m 1門 他3門 ②須賀地区陸閘:ステンレス製横引きゲート W15m×H3.9m 1基 他8基 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
113	2014	岩手県	岩手県大槌町	WTO 二級河川大槌川筋大槌の1地区ほか河川災害復旧 (23災617号及び622号)水門設備工事(大槌川水門・小槌川水門)	①大槌川水門:シェル構造サニットゲート W32.0m×H5.65m 4門 ②小槌川水門:シェル構造サニットゲート W25.5m×H3.81m 3門 ※丸島アカシステム・中央コーポレーション特定JV		
114	2014	岩手県	岩手県大船渡市	二級河川須崎川筋須崎川ほか水門設備工事 (須崎川水門・野々田水門)	①須崎川水門:シェル構造ローラーゲート W25.2m×H3.71m 1門 ②野々田水門:アルミニウム合金製 プレートガーダー構造ローラーゲート W5m×H3.2m 1門 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
115	2014	岩手県	岩手県釜石市	WTO 二級河川鶴住居川筋鶴住居地区河川災害復旧(23災647号) 水門設備工事	シェル構造サニットゲート W32.0m×H5.17m 5門 ※丸島アカシステム・中央コーポレーション特定JV		
116	2014	岩手県	岩手県釜石市	WTO 二級河川甲子川筋甲子川水門設備工事	シェル構造サニットゲート W26.0m×H5.87m 4門 ※丸島アカシステム・中央コーポレーション特定JV		
117	2016	岩手県	岩手県山田町	二級河川関口川筋関口川水門設備工事	シェル構造ローラーゲート W24.3m×H3.5m 2門 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
118	2016	大船渡市	岩手県大船渡市	泊漁港海岸災害復旧(23災545号その3)工事	二相ステンレス製横引きゲート W9.0m×H4.7m 1門		
119	2016	岩手県沿岸広域振興局	岩手県宮古市	宮古港海岸藤原地区陸閘設備その2工事	二相ステンレス製横引きゲート W8.0m×H4.5m 1基 他4基 ※中央コーポレーション・大同機工復興JV		
120	2016	岩手県	岩手県宮古市	宮古港海岸藤原地区陸閘設備その3工事 (藤原地区第1号陸閘ほか)	二相ステンレス製横引きゲート W25×H8.22m 1基 他1基 令和元年度ステンレス協会賞受賞 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
121	2017	釜石市	岩手県釜石市	平成28年度嬉石漁港海岸災害復旧(陸閘)工事(嬉石漁港陸閘)	浮体式起伏ゲート(ネオライズ) W5m×H3.67m		
122	2017	釜石市	岩手県釜石市	平成29年度桑ノ浜漁港海岸災害復旧(陸閘)工事(桑ノ浜陸閘)	二相ステンレス製横引きゲート W6m×H4.5m		
123	2017	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	(株)菊池組／ 門の浜漁港災害復旧工事	ステンレス製フラップゲート W2.5m×H2.3m 1門 他1門		
124	2017	岩手県	岩手県大船渡市	大船渡港跡浜地区陸閘設備工事(大船渡跡浜地区4号陸閘ほか)	アルミニウム合金製スイングゲート W13.0m×H5.4m 1基 他6基 ※中央コーポレーション・大同機工復興JV		
125	2017	釜石市	岩手県釜石市	東部地区避難路施設整備工事(その5) (漂流物対策施設機械設備陸閘)	二相ステンレス製横引きゲート W16.0m×H5.0m 1基 他1基		
126	2017	岩手県	岩手県大船渡市	大船渡漁港海岸災害復旧(23災県第520号機械設備)工事 (大船渡漁港海岸11号陸閘ほか)	二相ステンレス製横引きゲート W6.5×H4.7m 1基 他7基 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
127	2017	岩手県沿岸広域振興局	岩手県陸前高田市	広田漁港海岸高潮対策(機械設備)工事	アルミニウム合金製横引きゲート W5.3m×H5.03m 1基 他1基		
128	2018	釜石市	岩手県釜石市	(株)青紀土木／上平田川水門工事(その2)	ステンレス製ローラーゲート W10.8m×H2.2m		
129	2018	岩手県沿岸広域振興局	岩手県釜石市	釜石漁港海岸災害復旧(23災県第551号陸閘その1)工事 (釜石漁港ネオライズ)	浮体式起伏ゲート(ネオライズ) W13m×H4.06m		
130	2018	宮城県仙台地方振興事務所	宮城県仙台市	牛橋揚水機場取水ゲート外水門設備工事	ステンレス製2段スライドゲート W2m×H1.9m		
131	2018	陸前高田市	岩手県陸前高田市	脇之沢漁港海岸災害復旧(陸閘・水門)工事 (脇之沢1号陸閘・勝木田3号水門ほか)	アルミニウム合金製横引きゲート W7.0m×H4.7m 1基 他3基		
132	2018	岩手県沿岸広域振興局	岩手県釜石市	釜石漁港海岸災害復旧(23災県第551号陸閘その4)工事	アルミニウム合金製横引きゲート W7.0m×H4.31m 1基 他1基 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
133	2018	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	大船渡漁港海岸高潮対策(永沢地区機械設備)工事	二相ステンレス製横引きゲート W12.7m×H4.7m 1基 他3基 ※中央コーポレーション・大同機工復興JV		
134	2018	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	大船渡漁港海岸高潮対策(細浦地区機械設備)工事 (大船渡細浦地区陸閘)	二相ステンレス製横引きゲート W9m×H4.7m 1基 他3基 ※中央コーポレーション・丸島アカシステム復興JV		
135	2019	大船渡市	岩手県大船渡市	蛸ノ浦漁港海岸災害復旧(23災591号その5)工事	フラップゲート式陸閘(ネオライズ) W4m×H3m 1基 他1基		
136	2019	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	大船渡海岸普金地区海岸2・3号陸閘設備工事	アルミニウム合金製横引きゲート W22m×H5.84m 1基 ※中央コーポレーション・大同機工復興JV		
137	2020	山田町	岩手県山田町	田の浜地区防災緑地公園陸閘整備工事	アルミニウム合金製引戸式ゲート W6.0m×H3.8m 1門 他1基		
138	2021	東北農政局	岩手県滝沢市	岩手山麓農業水利事業 南部主幹線用水路ゲート製作据付 (その2・3)工事	ステンレス製スライドゲート W3m×H0.7m 他		
139	2021	独立行政法人水資源機構	栃木県鹿沼市	(株)丸島アカシステム／南摩ダム取水放流設備工事	ステンレス製スクリーン製作 122t		
140	2022	宮城県東部土木事務所 登米地域事務所	宮城県登米市	(株)只野組／ 令和2年度社河川A国補1-A06号山吉田水門改良工事(その2)	ステンレス製オーバーリングゲート 1門 W2.6m×H1.4m		
141	2022	岩手県企業局	岩手県奥州市	胆沢第二発電所代替放流設備設置(機械・電気)工事	代替放流主・副ゲート製作据付 ジェットフローゲート 円形高圧スライドゲート他		
142	2022	埼玉県	埼玉県松伏町	4古第201号古利根堰2号3号ゲート改修工事	①2号ゲート:シェル構造ローラーゲート ②3号ゲート:起伏ゲート付き2段ローラーゲート W20.1m×H4.14m		
143	2022	東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所	岩手県花巻市	ライトイ工業(株)／ 田瀬ダム クレストゲート補強工事	トラス門構式クレストゲート W10m×H8.5m 6門		

144	2022	東北農政局 北上土地改良調査 管理事務所	岩手県矢巾町	国営施設応急対策事業零石川沿岸地区 煙山ダム取水設備改修工事	ステンレス製スライドゲート ①洪水吐ゲート:W1.4m×H1.4m 1門 ②取水ゲート:W0.3m×H1.5m 4門 ③土砂吐ゲート:W1.2m×H1.2m 1門	
145	2022	宮城県王城寺原 補償工事事務所	宮城県大衡村	針前堰改修工事	起伏堰(ゴム袋体支持式)1門 W8m×H1.6m	
146	2023	宮城県王城寺原 補償工事事務所	宮城県大衡村	苗代堰改修工事	起伏堰(ゴム袋体支持式) W8m×H1.2m	
147	2023	北海道釧路総合振興局	北海道別海町	日立造船(株)／ 尾岱沿漁港海岸高潮対策(補正明許)	フラップゲート式陸閘 1門 尾岱沿漁港海岸高潮対策(補正明許)	
148	2023	東北農政局 岩手山麓農業水利事業所	岩手県盛岡市	岩手山麓農業水利事業 第二発電所水槽ゲート他製作据付工事	①発電用ゲート(扉体、戸当り) ステンレス製ローラーゲート W3m×H4m 1門 ②排砂ゲート(扉体、戸当り、開閉装置、架台) ステンレス製スライドゲート W0.7m×H0.8m 1門 ③水槽スクリーン ステンレス製バースクリーン W3m×H7.98m 2面	
149	2024	東京電力 パワーグリッド(株)	埼玉県川口市	鳩ヶ谷変電所陸閘設備	アルミニウム合金製陸閘 W8m×H2.6m	
150	2024	岩手県企業局	岩手県奥州市	胆沢第二発電所取水口除塵設備更新ほか工事	取水口除塵設備更新 堤堰制水門巻上機更新 取水口制水門巻上機更新 堤堰取水網柵更新	
151	2025	東北農政局 岩手山麓農業水利事業所	岩手県滝沢市	岩手山麓農業水利事業 南北分水工ゲート製作据付工事	①南部主幹線ゲート SUS製ローラーゲート(W3.6m×H1.45m) ②北部主幹線ゲート SUS製スライドゲート(W1.9m×H1.7m)	

【JR】

No.	年	発注者	所在地	元請(受注先)／工件事名	工事内容	※年は受注年
152	2016	東日本旅客鉄道(株)	岩手県大槌町	大槌・鶴住居間小鉢川橋りょう復旧(工場製作運搬・現場架設)工事(三陸鉄道 小鉢川橋梁)	上路プレートガーダー単線2主桁・橋枕木式 橋脚歩道付 L10.4m×4本 L10.1m×2本 33.3t	
153	2017	東日本旅客鉄道(株)	岩手県釜石市	大槌・鶴住居間146K520m付近第三釜石街道Bv改築工事(第三釜石街道跨道橋)	下路プレートガーダー単線2主桁・枕木開床式 左内側歩道付 L21.8m 40t	
154	2018	東日本旅客鉄道(株)	岩手県北上市	土託30第2号 柳原・江釣子間土川B改良他(工場製作運搬)工事	枕木抱込み式鋼工事桁 L14.7m	
155	2019	東日本旅客鉄道(株)	宮城県栗原市	くりこま高原・一ノ関間大又トンネル入口緩衝工場製作運搬	緩衝工多角形型 延伸30m 91.998t	
156	2019	東日本旅客鉄道(株)	新潟県見附市	見附構内指出橋りょう橋桁改良、 金塙中条間下坂橋りょうほか1橋りょう橋桁改良	単線開床式単純鋼DG L1.90m 他1橋	
157	2019	東日本旅客鉄道(株)	福島県郡山市	郡土技31第15号 会津若松構内第一鎧木新田橋りょう橋桁取替に伴う鋼材製作・運搬	橋枕木式上路プレートガーダー L2.2m	
158	2019	東日本旅客鉄道(株)	岩手県一関市	ユニオン建設(株)／ 有壁・一ノ関間第1大沢田橋りょう橋桁取替工事	工場製作輸送 大沢田橋りょう 2.99t 現地据付 1橋	
159	2020	東日本旅客鉄道(株)	東京都日野市	ユニオン建設(株)／ 豊田車両センター レール受桁製作・運搬	工場製作輸送	
160	2020	東日本旅客鉄道(株)	新潟県三条市	信越本線 東光寺・三条間鰐田川橋りょう(下)製作輸送	直結軌道式下路プレートガーダー L6.4m	
161	2020	東日本旅客鉄道(株)</td				

178	2022	東日本旅客鉄道(株)	岩手県北上市	ユニオン建設(株)／和賀仙人・ゆだ錦秋湖間26k628m付近雪おおい改良工事	雪おおい工37.9m 工場製作輸送 現地据付
179	2022	東日本旅客鉄道(株)	岩手県一関市	ユニオン建設(株)／1. 摺沢・千厩間羽根折沢橋補修工事	3径間連続レール造 排水管補修工 鋼製排水管4箇所 橋脚補強工 据付工・準備工1式 他
180	2022	東日本旅客鉄道(株)	岩手県岩手町	ユニオン建設(株)／盛岡・いわて沿宮内間巻堀トンネル(出口)緩衝工延伸工事	緩衝工延伸5m(アーチ型) 22.1t
181	2022	東日本旅客鉄道(株)	岩手県岩手町	ユニオン建設(株)／盛岡・いわて沿宮内間丹藤トンネル(出口)緩衝工延伸工事	緩衝工延伸8m(アーチ型) 37.6t
182	2022	東日本旅客鉄道(株)	岩手県滝沢市	ユニオン建設(株)／滝沢トンネル(出口)緩衝工新設工事	緩衝工延伸20m(アーチ型) 125t
183	2022	東日本旅客鉄道(株)	青森県東北町	ユニオン建設(株)／八戸・七戸・田間牛鍵トンネル(出口)緩衝工設置工事	緩衝工延伸15m(アーチ型) 44.6t 塞ぎ板他追加製作
184	2022	東日本旅客鉄道(株)	東京都千代田区	東鉄工業(株)／(仮称)飯田橋架道橋 端横横形状改良工事 (緩行線)	端横横改良4.3t (緩行線)端横横改良6.1t
185	2022	東日本旅客鉄道(株)	神奈川県川崎市	東鉄工業(株)／新鶴見(信)・尻手間南幸町架道橋バッカルプレート桁改良工事	下路プレートガーダー 枕木抱き込み式緩衝 L 23.86m 改良桁製作輸送18.345t
186	2023	東日本旅客鉄道(株)	長野県千曲市	第一建設工業(株)／松代通り架道橋補強工事	単純T型PRC桁 L 29.96m 鋼製梁・RC角柱橋脚 深基礎
187	2023	東日本旅客鉄道(株)	岩手県一関市	ユニオン建設(株)／柴宿・滝沢間第3秒鉄川B外1橋側歩道新設工事	大川橋梁40.2m 砂鉄川橋梁69.5m 2橋 15.4t 昇降用梯子製作
188	2023	東日本旅客鉄道(株)	岩手県北上市	ユニオン建設(株)／村崎野・花巻間飯豊こ線橋補修工事	ボストテンション方式PC単純T桁橋 L 17.7m × W 18.8m
189	2023	東日本旅客鉄道(株)	岩手県盛岡市	ユニオン建設(株)／13. 盛岡・いわて沿宮内間渋民トンネル(出口)外2開口調整扉設置工事	既設スリット調整 卷端T1.76t 渋民T1.73t 芦内T1.49t
190	2023	東日本旅客鉄道(株)	岩手県花巻市	ユニオン建設(株)／村崎野・花巻間花巻Bv桁取替工事	単線開床式単純上路プレートガーダー L 7.0m 鉄道桁
191	2023	東海旅客鉄道(株)	長野県飯田市	(株)ジェイティック／飯田線座光寺Bv新設工事	JESエレメント製作運搬257.342t FRP貼付895.4m
192	2023	東日本旅客鉄道(株)	岩手県岩手町	仙建工業(株)／いわて沿宮内・二戸間第一五日市トンネル(出口)緩衝工設置工事	緩衝工延伸8m(アーチ型) 25t 既設スリット調整11箇所
193	2024	東日本旅客鉄道(株)	岩手県奥州市	ユニオン建設(株)／水沢・金ヶ崎間多賀大橋こ線橋耐震補強工事	落橋防止装置 ①上部工ブレケット(取付金具含)16組 ②下部工ブレケット(取付金具含)16組 合計25t
194	2024	東日本旅客鉄道(株)	青森県十和田市	ユニオン建設(株)／八戸・七戸・田間牛鍵トンネル(入口)緩衝工設置工事	下部工新設1式 緩衝工新設1式 既設スリット調整1式
195	2024	東日本旅客鉄道(株)	宮城県仙台市	(株)ジェイティック／東北本線東仙台・岩切間中江南こ道橋新設工事	JESエレメント製作運搬234.236t FRP貼付632.4m
196	2024	東日本旅客鉄道(株)	青森県六戸町	ユニオン建設(株)／八戸・七戸・田間六戸トンネル(入口)緩衝工設置工事	トンネル緩衝工製作・運搬 ブレーリング杭製作 杭材H300*300*10/15*11000 16組
197	2024	東日本旅客鉄道(株)	栃木県鹿沼市	ユニオン建設(株)／日光線鶴田・鹿沼間武子川橋りょう改築その他工事	①既設:単純下路H形鋼工事桁 L 13.71m 1連 25.985t ②新設:単純下路H形鋼工事桁 L 15.75m 2連 43.092t ③仮橋台:単純下路プレートガーダー 29.22t ④ケーブルダクト:2主桁単純鋼板桁橋 6.34t
198	2024	東日本旅客鉄道(株)	青森県六戸町	ユニオン建設(株)／八戸・七戸・田間柴山トンネル(出口)緩衝工延伸工事	トンネル緩衝工製作・運搬 緩衝工延伸5m(アーチ型) 18t 架設1式
199	2024	東日本旅客鉄道(株)	青森県六戸町	ユニオン建設(株)／六戸トンネル(出口)外2開口調整扉設置工事	既設スリット更新 スリット製作 六戸T出口2.63t 柴山T入口1.85t 錦ヶ丘T出口1.85t 既設スリット撤去1式 新設スリット据付1式
200	2024	東日本旅客鉄道(株)	東京都新宿区	(株)交通建設／大久保・中野間第2大久保架道橋端緩衝支点部改良工事(急行線)	端緩衝13.8t 仮設材製作3.5t 工場塗装 輸送
201	2024	東日本旅客鉄道(株)	神奈川県相模原市	(株)ジェイティック／原当駅構内24k570m付近こ道橋新設その他工事	JESエレメント製作運搬463.338t FRP貼付576m

【その他工事】

※年は受注年

No.	年	発注者	所在地	元請(受注先)／工事件名	工事内容
202	2011	岩手県南広域振興局	岩手県西和賀町	一般国道107号向山スノーシェルター更新工事	鋼アーチ型 長さ77.2m 平成25年度岩手県優良県営建設工事表彰受賞
203	2013	岩手県	岩手県大船渡市	災害公営住宅(大船渡市綾里地区)新築(造成)工事	造成工事 地盤改良工事
204	2014	岩手県沿岸広域振興局	岩手県宮古市	(株)横河住金ブリッジ／宮古港海岸藤原地区防潮堤工事(ハイブリッド防潮堤)	フーチング金物146.79t 連結金物59.136t コンクリート打設210m ² 総延長1.9km
205	2016	花巻市	岩手県花巻市	(仮称)大迫学校給食センター(建築)工事	構造 S造平屋建 延床475.6m ²
206	2017	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	日新興業(株)／大船渡港清水地区ほか海岸災害復旧(防潮堤ほか)工事	防潮堤避難階段 管理階段 陸閘螺旋階段(ステンレス階段設置) 10基 他
207	2018	花巻市	岩手県花巻市	災害公営住宅(花巻中央地区上町)新築(建築)工事	構造 店舗併用協同住宅RC造4階建 延床910m ²
208	2019	岩手県沿岸広域振興局	岩手県宮古市	宮古港海岸藤原地区避難階段設置その2工事	避難階段 H 8.37m 1基 他2基
209	2019	岩手県企業局	岩手県西和賀町	仙人発電所シリンダーゲートロッキングフック補修工事	取水口シリンダーゲートロッキングフック(管体引掛け装置) 操作機工部軸受け部分の更新
210	2020	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	綾里漁港海岸高潮対策(防潮堤付属設備)工事	避難階段 H 12.9m 1基 他3基
211	2021	岩手県	岩手県大船渡市	東北興商(株)／大船渡港跡浜地区海岸防潮堤ほか整備工事	2号避難・管理階段工製作 5号避難階段工(工場製作) 1基 他
212	2021	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	(株)竹中土木／エムエム建材(株) 大船渡港普金地区海岸防潮堤ほか整備工事	4号陸閘避難階段製作・据付
213	2021	東北農政局 和賀中央農業水利事業所	岩手県花巻市	豊沢川農業水利事業 豊沢ダム堤体下流階段設置工事	鋼製付属設備製作 工場塗装工 溶融亜鉛メッキ 撤去・据付 土木工事 階段設置工 雪・風除け壁設置 足場
214	2021	岩手県南広域振興局	岩手県北上市	一般国道107号立花跨線橋橋梁補修その1・2工事	階段製作・設置2基 工場製作・上屋取付10.8t 既設階段撤去2基

215	2021	(株)マックス コーポレーション	岩手県花巻市	星の森珈琲店	店舗改装 1式
216	2021	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	大船渡海岸茶屋前地区災害復旧(23災66号)水門土木ほか工事	①避難階段 ステンレス製 14.5t 1台 ②管理階段 ステンレス製 2.9t 1台 ③操作台舗場 ステンレス製 1.09t 1台
217	2021	岩手県沿岸広域振興局	岩手県宮古市	一般国道106号柏木スノーシェルター補修工事	施工延長17.1m 主梁339kg 橫梁2,366kg 斜材739kg 屋根材298m ² 支承工3m ³ 断面修復
218	2022	三菱製紙 エンジニアリング(株)	岩手県北上市	三菱製紙(株)製薬室内外改修工事	1期～4期工事 仮設工 撤去工 鉄骨工他
219	2023	岩手県企業局	岩手県奥州市	胆沢第二発電所水圧鉄管更新(鉄管製作据付)工事	水圧鉄管 口径φ2300～φ1900 延長116.202m
220	2023	第一開明(株) 北上営業所	岩手県北上市	第一開明(株)北上総合ガスセンターポンベ庫新設工事	仮設 基礎 鉄骨 屋根 塗装 伐採 地盤改良
221	2023	岩手県南広域振興局	岩手県西和賀町	主要地方道盛岡横手線川舟スノーシェルターほか補修工事	2ヒンジアーチ式鋼製スノーシェルター 施設延長60m 幅員7.5m
222	2023	岩手県北広域振興局	岩手県久慈市	滝ダム繫船設備修繕工事	ワイヤーロープ更新 シーブ更新 非常用ブレーキ装置修繕
223	2023	仙建工業(株)	宮城県名取市	栄喜工業(株)／仙建工業新研修センター建設工事	鉄道工事改良 ※橋側歩道含む
224	2023	豊沢川土地改良区	岩手県花巻市	豊沢ダム取水放流設備等点検整備業務委託	<点検業務>取水設備、制水設備、放流設備、ゴンドラ設備、インクライン設備 等 1999年～現在
225	2023	東北地方整備局 岩手県河川国道事務所	岩手県盛岡市～一関市	北上川上流機械設備点検整備業務	<点検業務>河川用水門、樋門・通水管設備、排水ポンプ設備、係船設備 等 2001年～現在
226	2023	岩手県企業局	岩手県奥州市	胆沢第二発電所ほか水門設備等定期点検整備業務委託	<点検業務>水門設備 2000年～現在
227	2023	大船渡市	岩手県大船渡市	三陸地区漁港陸閘機械安全周知設備保守点検業務	<点検業務>陸閘設備 2021年～現在
228	2023	釜石市	岩手県釜石市	桑ノ浜漁港他陸閘維持管理業務委託	<点検業務>陸閘設備 2020年～現在
229	2023	釜石市	岩手県釜石市	グリーンベルト(陸閘)維持管理業務委託	<点検業務>陸閘設備 2020年～現在
230	2023	釜石市	岩手県釜石市	上平田川水門維持管理業務委託	<点検業務>水門設備 2023年～現在
231	2023	花巻市	岩手県花巻市	海洋施設台船昇降設備管理業務	<点検業務>台船昇降設備 2011年～現在
232	2023	矢巾町	岩手県矢巾町	煙山ダム油圧機械保守点検業務委託	<点検業務>油圧機械 2009年～現在
233	2023	陸前高田市	岩手県陸前高田市	水門・陸閘機械設備保守点検業務	<点検業務>水門・陸閘設備 2022年～現在
234	2023	山田町	岩手県山田町	田の浜地区防災緑地公園陸閘機械設備保守点検業務委託	<点検業務>陸閘設備 2023年～現在
235	2023	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	合足農地海岸堤防機械設備保守点検業務委託	<点検業務>水門・陸閘設備 2020年～現在
236	2023	岩手県沿岸広域振興局	岩手県大船渡市	大船渡管内(水産)水門・陸閘機械設備保守点検業務委託	<点検業務>水門・陸閘設備 2022年～現在
237	2023	岩手県沿岸広域振興局	岩手県釜石市	大槌・釜石・小白浜漁港陸閘機械設備保守点検業務委託	<点検業務>陸閘設備 2021年～現在
238	2023	岩手県沿岸広域振興局	岩手県釜石市	釜石大槌地区水門・陸閘機械設備保守点検業務委託	<点検業務>水門・陸閘設備 2021年～現在

【震災復興工事他追加】

※年は受注年

毎年、株主総会承認後、事業報告書は全社で共有され、各部署で読み合わせを行っています。直近令和7年6月度の事業報告を掲載します。

各 位

令和7年9月10日

株式会社中央コーポレーション
代表取締役 佐々木史昭

第51期事業報告書

1. 概況

(株)中央コーポレーション第51期(令和6年7月1日～令和7年6月30日)の事業並びに決算状況についてご報告申し上げます。東日本大震災復興工事も過年度に全て終了し、岩手県内の工事発注量は震災発生前の水準にもどり、県内建設各社は軒並み工事量の確保に苦労する状況となっています。県内橋梁工事においても新設橋梁は減り、橋梁補修・補強工事が増えていることから、当社の出来高内訳も、製造が少なく、工事が伸びやすい構造的状況となっています。好調な関東営業所管轄の工事においても、今期は元請工事が少なく、民間の橋梁、パネルブリッジ、ペデストリアンデッキ、JR関連工事で工事高を確保する形となりました。その結果、今期の製造粗利額は低下しましたが、一方で工事粗利額は高水準を維持できましたので、全社工事高は減らしたものの、計画利益は達成し、減収増益となりました。受注においては、全社で目標を達成し、特に関東営業所において全社受注の40%超を上げる新たな状況となっております。当社は、元請・下請のバランスが取れ、元請が少ない年度においても、JR向け重要構造物、ペデストリアンデッキ、パネルブリッジ等の特殊橋梁、ステンレス・アルミニウム製社会インフラなどの下請工事は競合先が限られ価格下落圧力もなく、当社の外部環境対応力の源泉となっています。しかし、より社会的責任の大きい官庁元請工事の受注力を高められるよう、若手・中堅社員により経験・実績を積んでもらい総合的技術力を押し上げ、企業力をさらに高めて参りたいと考えております。令和7(2025)年度、当社は創立60周年を迎える、60周年記念誌を編纂中であり、令和7年11月15日には記念式典を開催し節目の祝賀を行いたいと考えております。

2. 完工高及び利益

当社第51期の完工工事高は、製造目標22億円に対し15億7962万円(前期20億3483万円)、工事目標13億円に対し14億5555万円(前期16億6161万円)、全社目標35億円に対し30億3517万円(前期36億9645万円)となり、全社完工高は目標未達で前期比82.1%(前期90.8%)、全社営業利益は6350万円(前期5754万円)、同経常利益は7987万円(前期7018万円)となり、減収増益となりました。自己資本比率は64.9%(前期63.6%)となり、財務の健全性を十分に維持している状況です。

今期の剰余金配当(案)は、1株当たり360円(前期220円)とさせて頂きたいと存じます。昨年度は、決算前に税務調査が入って仕訳の御指導などを頂き1300万円ほど追徴課税を支払ったことで配当水準も低めとなりましたが、今年は例年並みの配当性向を実現し、上記のようにさせて頂きたいと思います。ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

3. 工事内容

主力の鉄構事業における官庁・民間工事割合は、官庁工事16億210万円(前期20億7473万円)で53.1%(前期56.1%)、民間工事は14億1515万円(前期16億2172万円)で46.9%(前期43.9%)となりました。

(1) 官庁工事

主な官庁工事は、国土交通省物件として、東北地方整備局岩手河川国道事務所「令和6年度北上川上流機械設備点

検整備業務」など計5407万円、農林水産省物件として、東北農政局北上土地改良調査事務所「国営施設応急対策事業零石川沿岸地区煙山ダム取水設備改修工事③」1億475万円、同岩手山麓農業水利事業所「第二発電所水槽ゲート他製作据付工事①」4198万円を完成させました。岩手県の発注物件として、県南広域振興局北上土木センター「一般国道107号大石地区橋梁上部工製作・架設工事①」2億5006万円、同「一般国道107号尻平川橋梁補修工事②」7749万円、同「主要地方道盛岡横手線川舟スノーシェルターほか補修工事③」3919万円、盛岡広域地方振興局「市道樅沢線(仮称)樅沢大橋上部工(製作・架設)工事」2億2239万円、沿岸広域振興局大船渡土木センター「主要地方道大船渡綾里三陸線轆轤石橋橋梁補修工事」1億7592万円、県北広域振興局「主要地方道久慈岩泉線遠川橋上部工他橋梁補強工事」9531万円、企業局「胆沢第二発電所水圧鉄管更新工事」3424万円など、岩手県合計で11億2715万円(前期10億415万円)を完成させました。

その他自治体では、埼玉県の春日部農林振興センター「4古第201号古利根堰2号3号ゲート改修工事③」1億6319万円、宮城県の「苗代堰改修工事」1億18万円などを完成させました。

(2) JR関連工事

民間工事における当社主要分野であるJR関連工事につきまして、ユニオン建設様向けに「日光線鶴田・鹿沼間武子川橋りょう改築その他工事」4877万円、「八戸・七戸十和田間柴山トンネル(出口)緩衝工延伸工事」4566万円、「六戸T(出口)外2開口調整扉設置工事」2000万円、「金田一温泉・目時間(上下)第7馬淵川B検査足場新設工事」1097万円、「ゆだ錦秋湖・ほっとゆだ間第1和賀川B沓座他修繕工事」1068万円など、計3億3454万円を完成、仙建工業様向けに「いわて沼宮内・二戸間第一五日市トンネル(出口)緩衝工設置工事」3497万円など、東鉄工業(株)様向けに「籠原・深谷間44K550m付近跨道橋新設工事」2240万円を完成させました。新たな顧客として(株)交通建設様から、首都圏の既存鉄道桁の改良工事である「大久保・中野間第2大久保架道橋端横桁支点部改良工事(急行線)」1016万円を完成させました。また長年お世話になっている(株)ジェイテック様向けに、開かずの踏切対策における線路下構造物構築標準工法「JES-HEP工法」で利用されるJESエレメントを「東北本線東仙台・岩切間中江南こせん橋新設工事」8932万円、「奥羽本線秋田駅構内千秋山崎こせん橋新設他」6183万円など、計2億2550万円を完成させ、JR関連工事は総合計6億6356万円(前期5億8773万円)となりました。JR関連工事は、震災復興や公共工事予算と関係なく、JR東日本の計画に基づき、老朽化が進む鉄道桁の架替計画、新幹線高速化等に伴う設備投資、開かずの踏切対策等が全国で進められており、引き続き当社の主要分野として注力して参ります。

(3) 民間工事

民間工事では、当社と長くお付き合いさせて頂いている横河NSエンジニアリング様向けに「ランドクロス製作輸送」4583万円、日鉄エンジニアリング(株)パネルブリッジとして、渋谷建設(株)様向けに「市道中野駅前線銅谷口橋整備工事(上部工)パネルブリッジ」1億1295万円を完成させました。

新分野として力をいれていた首都圏の再開発に伴うペデストリアンデッキについて、埼玉県の有力地場ゼネコンである金杉建設(株)様向けに「大規模調整池水上デッキ上部工(越谷レイクタウン)」1億8999万円、西武建設(株)様向けに「所沢駅歩行者デッキB・C整備工事」など3389万円、日鉄物産(株)向けに「大崎駅西口F南地区第一種市街地再開発事業ペデストリアンデッキ」3372万円を完成、ペデストリアンデッキ関連で合計2億9910万円を完成させました。

戦略的に進めている各地の建設会社様との連携については、本社営業部管轄で、青森県(株)柏崎組様向けに「小川原・上北町間第1小川原BL耐震補強工事(その4・5)工事」1479万円、東北営業所管轄で山形県(株)第二物産様向けに「町道月岡入間線大入間川橋架替工事(上部工製作)」1200万円、遠藤建設(株)様向けに「同架設工事」を700万円、関東営業所管轄で、千葉県茂庭市の三枝組(株)様向けに「茂庭市道2級5号線道路改良工事明治橋上部工②」1億8865万円、東京都足立区の(有)中建工業様向けに「東鷺宮駅東口立体施設整備工事(上部工)」3372万円などを完成させました。

(4) 機械設備点検整備業務

当社は東日本大震災の復興工事で岩手県沿岸部に100基以上の水門・陸閘を据え付けており、それらの点検整備業務委託を各自治体から請負っております。令和6年度は沿岸広域振興局大船渡水産センター「大船渡管内（水産）水門・陸閘機械設備保守点検業務委託」3765万円、同釜石土木センター「釜石大槌地区水門陸閘機械設備保守点検業務委託」3497万円、同釜石水産センター「大槌・釜石・小白浜漁港陸閘機械設備保守点検業務委託」1355万円、釜石市「グリーンベルト（陸閘）維持管理業務委託」など685万円、陸前高田市「水門・陸閘機械設備保守点検業務委託」660万円などであり、国土交通省岩手河川国道事務所の北上川流域機械設備整備点検を含めて、合計1億7430万円（前期1億5332万円）となりました。機械設備に加えて電気設備も範囲に含んで点検しなければならず、必要に応じJV相手先の支援も必要であり、工事部機械課に電気・設備の技術者を新たに採用して総合的に取り組んでおります。24時間365日確実に稼働する機械設備の点検整備のプロフェッショナルとして、責任も重く難易度も高いですが、相応の利益率も確保出来、岩手県沿岸住民の命を守り続けるべく、しっかりと体制を整えて継続して取り組んで参ります。

4. その他社内状況

(1) 報告すべき問題

①安全状況について

今期の安全状況については、令和4年1月28日当社工場において休業災害を発生させて以降、休業災害ゼロを継続しておりましたが、令和7年1月16日に、ベテラン社員が社内の20t仮組立ヤードの移動テント内を歩行中、キャブタイヤケーブルに気付かず足を取られ転倒し、右膝半月板を骨折する休業災害を発生させてしまいました。これにより無災害時間は1,094,352時間で途切れ、8月末現在234,262時間となっております。

令和6年度より工事部長と安全部長を兼務している青木彰人取締役のリーダーシップにより、とくに墜落・転落に係るリスクアセスメントの実践に取り組んでおり、施工計画段階においてリスクアセスメントを実践し、教育安全訓練の場で各作業員に具体的に落とし込むことで、社員・下請業者共々、休業災害ゼロを達成出来る様、日々の労働安全衛生活動に真摯に取組んで参ります。

(2) 社内トピックス

①溶接技術競技会

令和6年度第69回全国溶接技術競技会高知大会は、令和6年10月26、27日に開催され、当社の佐々木国彦さんと藤原裕城さんが岩手県代表として、それぞれ被覆アーク溶接の部と半自動溶接の部に登場し、佐々木国彦さんが全国17位の優良賞、藤原裕城さんが全国7位の優秀賞に輝くダブル入賞の快挙を達成しました。前年の68回茨城大会においては藤原裕城さんが半自動の部で全国12位の優良賞、67回青森大会においては畠山希一さんが半自動の部で全国10位の優秀賞、66回大会三重大会においては藤原裕城さんが全国5位の優秀賞を獲得しており、弊社から4年連続で全国大会ベスト20入りとなりました。その前も、平成27年度61回大阪大会で佐々木国彦さんが全国18位の優良賞、平成30年64回山口大会では藤原裕城さんが全国20位の優良賞に入賞しており、ここ10年で6回の全国大会ベスト20位以上入賞という素晴らしい成績を上げており、全国溶接技術競技会の常連企業として全国でも高い評価を得ているものと思われます。

直近の令和7年1月に行われた、全国大会岩手県予選、第65回岩手県溶接技術競技会においては、選抜大会アーク溶接の部で佐々木国彦さんが2年連続6回目の優勝、半自動溶接の部で藤原裕城さんが3年連続6回目の優勝を果たし、当社として2年連続5回目のダブル優勝、10年連続で半自動溶接の部優勝、13年連続で岩手県代表となり、令和7年10月4、5日に開催される第70回全国溶接技術競技会富山大会に、岩手県代表として佐々木国彦さんと藤原裕城さんの2名が登場します。

2名以外にも、選抜大会半自動溶接の部において、草刈拓斗さんが2位に入賞、県大会アーク溶接の部で藤原翔さんが優勝、同じく半自動溶接の部で熊谷紘乙さんが優勝、石川侑人さんが4位、鬼柳竜介さんが9位に入賞するなど、

全ての4部門で優勝し、当社から7名の中堅・若手社員が入賞しました。

高い溶接技術は、当社の基幹技術としてJR向けの重要構造物など難易度の高い鉄構構造物の受注に大きく寄与しているところであり、これからも当社伝統の高い溶接技術の継承を図り、とくに若手・中堅社員の溶接技量アップに積極的に取り組んで参りたいと考えています。

②健康経営優良法人プライト500の認定

従前より、社員一人一人が心身ともに健康な状態であることが、会社がよいパフォーマンスを発揮するために非常に重要なことと考えており、令和2年度より健康経営に取り組み、令和3年3月に経済産業省より「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」の認定を取得、令和4年度には健康経営優良法人プライト500の認定を取得、その後令和5年度、6年度ともプライト500の認証を受け、令和7年度も申請準備中です。プライト500は、健康経営に取り組んでいる全国の中小企業のトップ500に認められたということであり、現在岩手県でわずか4社となっております。歩数チャレンジでは、社員140名が5人1組28チームに分かれ、半年ごとにチームをリフレッシュ、スマートフォンのアプリを使ってチーム毎に歩数を合計し、週単位でランキング化して全社で共有することで、日々の社員の運動モチベーションのアップに繋げています。また、社員の誕生日に担当役員が誕生日を兼ねて面談を行い、社員の心身の状況把握に役立て、またワンオンワンミーティングを3か月に1回程度開催し、上司と1対1でざっくばらんに何でも話し合う場を設け、より風通しの良い職場環境を目指し、社員のメンタルヘルスの向上へ継続して取り組んでいます。定期健康診断も全社員が受診し、産業医からアドバイスを受けフォローを行っています。プライト500の認定を維持することは、決して簡単なことではありませんが、一つ一つ着実に出来ることを積み上げて参ります。

③外部コンサルタントの活用

令和6年度は、いわぎんリサーチ＆コンサルティングの紹介により、公益財団法人日本生産性本部の主任経営コンサルタント黒田和光様により、工事部の主に現場代理人を担当している社員向けの外部研修を約半年に亘って行いました。工事部の現場代理人は、当社製品の架設据付現場において、当社を代表する現場責任者として重要な役割を果たしており、仕事ぶりは工事評点に直結して責任は重く、本社のサポートが少なければ孤立感をもつことにも繋がり、不満やストレスが溜まるケースもあります。外部コンサル研修を通じて、現場代理人と工事部管理職と会社の3者の役割を客観的に分析し、それぞれが気付きを得、課題を整理し、解決に向けて行動計画を立て、実践に繋げています。会社としては、事務所で働く社員と比較して、現場代理人として働く社員の負担に応じた手当制度の創設を実現し、現場代理人のモチベーションアップに繋がり、今期の工事部出来高粗利の増加に繋がったと評価しております。令和7年度は、同じ黒田和光先生に、製造部のコンサルタント研修をお願いし、令和7年末までの約半年間を予定しております。製造部社員、製造部管理職、会社がそれぞれに気付きを得、モチベーションアップ、生産性アップへ向け、連携して取り組んで参ります。

④採用実績と就業環境

岩手県中部地域の採用競争が激化する状況下において、当社令和7年4月の新卒採用は、大卒新人1名（盛岡大学文学部卒）、高卒新人4名（黒沢尻工業高校卒2名、花北青雲高校卒2名）、全5名となりました。今後ますます厳しい採用環境は続きますが、藤原修顧問（元岩手県立一関工業高校校長）のお力添えもあり、令和8年4月の採用についても、専門学校卒2名、高卒新人5名、計7名の応募を見込んでいます。

一昨年からマイナビ社と契約し、マイナビ社のガイドに沿った採用活動を行うとともに、岩手大学理工学部、秋田大学理工学部と、積極的な情報交換、出身卒業生の訪問、インターンシップ受け入れ、研究協力等も積極的に行っております。なかなか採用まで結びつけるのは難しい状況ですが、引き続き、積極的に取り組んで参ります。令和6年4月より岩手銀行から佐々木政城さんに当社へお越し頂き、令和7年7月に総務部長に就任頂き、早速「ユースエール」という若者の雇用管理の状況が優良な企業を厚生労働大臣が認める制度に申請し、無事認証を受ける事が出来ました。今後とも働く社員の満足度が高く、働きたい会社として選んでもらえるよう、会社の魅力のブラッシュアップを続けて参ります。

5. 第52期の展望

(1) 繰越工事高及び受注目標

第52期への繰越工事高は、製造部18億7010万円（前期9億3200万円）、工事部8億5845万円（前期11億9065万円）、合計27億2854万円（前期21億2265万円）となり、昨年度に比較して約28.5%増の高水準となりました。特筆すべき物件として、関東営業所において、大手橋梁メーカーと競合しながら、東京都建設局発注「山手線こ線橋（仮称）鋼けた製作工事」3億1789万円を受注致しましたが、令和6年度東京都第五建設事務所様から「白鷺橋」優良工事を受賞したことが、本件の大型受注につながったと大変喜んでおります。

第52期の受注見通しは、地元の岩手県を中心に、国土交通省東北地方整備局、農林水産省東北農政局、並びに関東営業所管内の埼玉県、東京都、神奈川県等の官庁元請工事に注力し、公共工事により基礎となる数字を確保したいと考えております。公共工事の受注を先行させ、足りない分を民間需要で補うという方針を再確認し、ともすれば民間契約を先行させ、元請橋梁工事を後に受注すると、社内で製作しきれず、外注製作して原価が高まり利益率を下げてしまう事態を減らし、粗利益率の向上、生産効率のアップに繋げて参りたいと思います。

民間においては、引き続きJR工事、パネルブリッジ、ペデストリアンデッキ、水門・陸閘等に注力するほか、金額はまだ小さいものの確実に利益を見込める防錆事業、ユニット式フラップゲート等も取り込んで参ります。全社受注目標は35億円、完工工事高は、製造23億円、工事13億円、全社合計36億円、営業利益6000万円を最低限の目標とし、さらに上積みしていく様、焦らず着実に取り組んで参ります。

(2) 年度活動目標

今期の経営スローガンは、「出来高ファースト！」とし、活動目標を下記と致しました。

- ① 管理粗利月平均、製造部4200万円、工事部2700万円、全社月6900万円、年間粗利8億2800万円の達成。
- ② 営業受注を基に詳細の出来高計画を策定し出来高に寄与しない無償雑・有償雑の活動を管理し、日々のCDS達成、出来高粗利の達成を確実にする。
- ③ 技術者の部署異動並びに兼務を推進し、全社プロジェクト管理の元、より多様な工程を経験して貰い、社員の成長を強く後押しする。
- ④ 製造部に外部コンサルタントの指導を取り入れ、製造部員のモチベーションアップ、やり甲斐を感じられる職場の実現に向けて取り組む。

6. まとめ

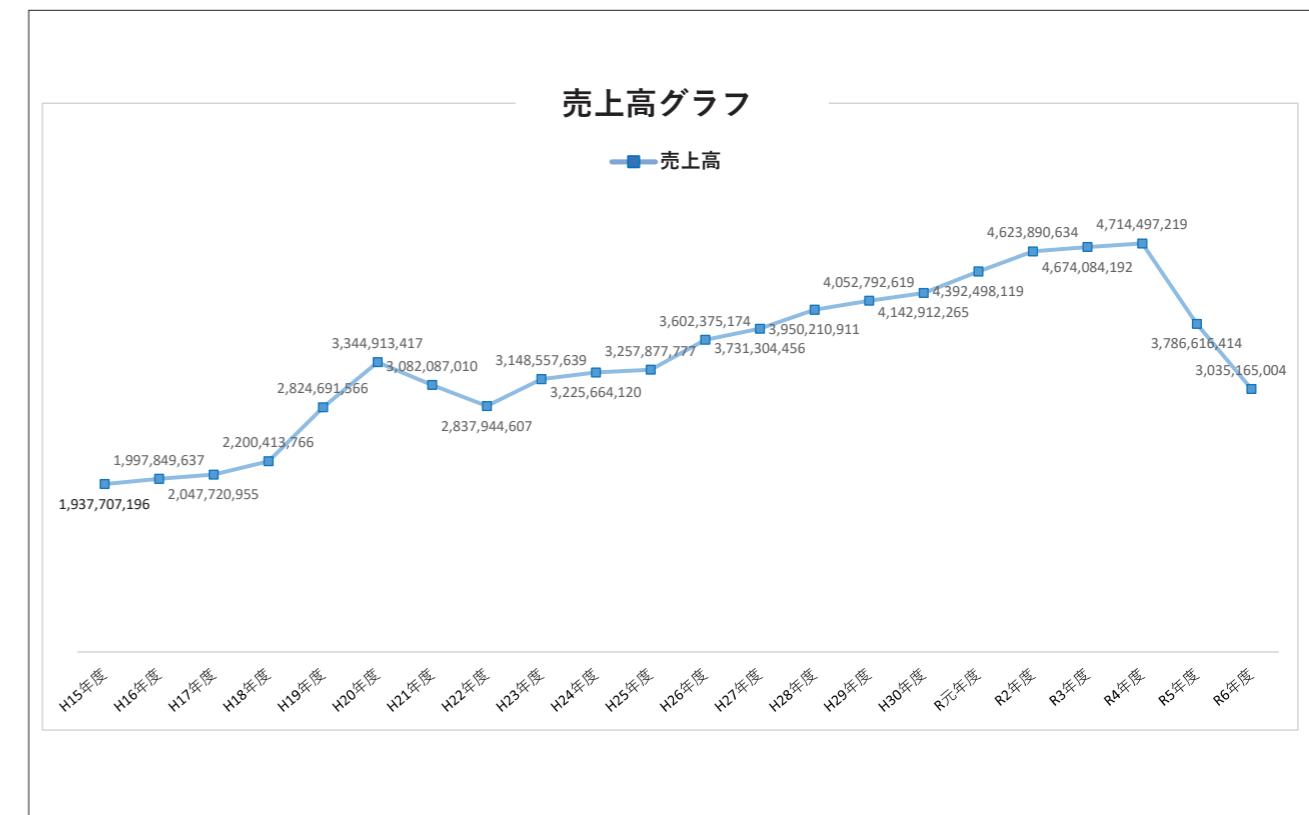
第51期株主総会をもって、長年当社の経営を担って頂いた専務取締役菅原博氏、監査役藤原正克氏が退任し、新たに関東営業所長三浦正人氏が取締役に就任、菅原博氏は監査役に就任し、新たな経営陣を構成することとなりました。経営陣の若返りが進み、社内に新たな風が吹くものと楽しみにしております。

当社は岩手県出身の真面目な若手・中堅社員が多く、日々の仕事における切磋琢磨を通じ、個々の仕事力及び総合的企業力を高めることを着実に継続していく事により、今後益々人手不足が進行するこの日本で、社会インフラを健全に維持するため大きな貢献ができると考えます。岩手県内のみならず、東北、東日本、そして日本全域において、社会インフラの整備に貢献する橋梁・水門エンジニアリングメーカーとして、設計、技術、製作、現地工事、メンテナンスまで、全社一丸となって全力で取り組んで参りますので、引き続きご理解・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

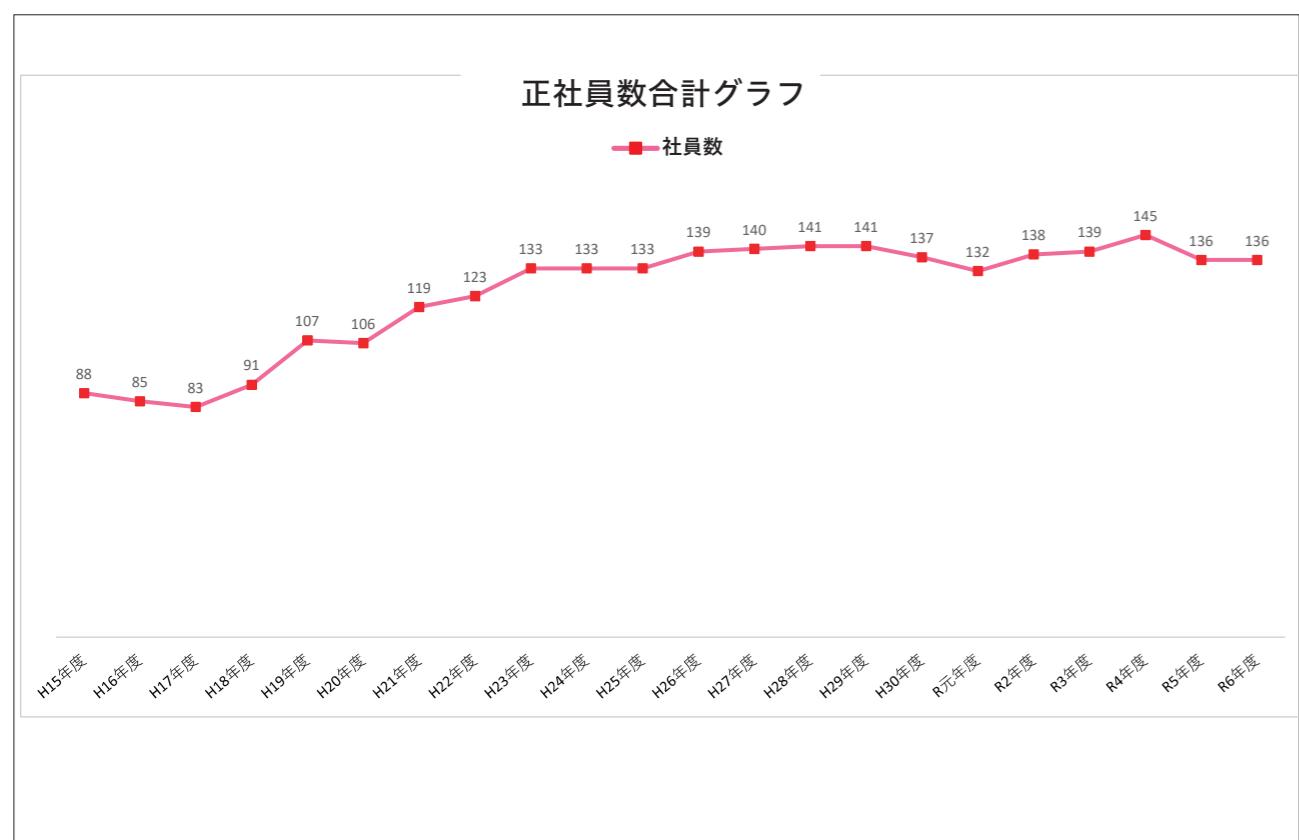
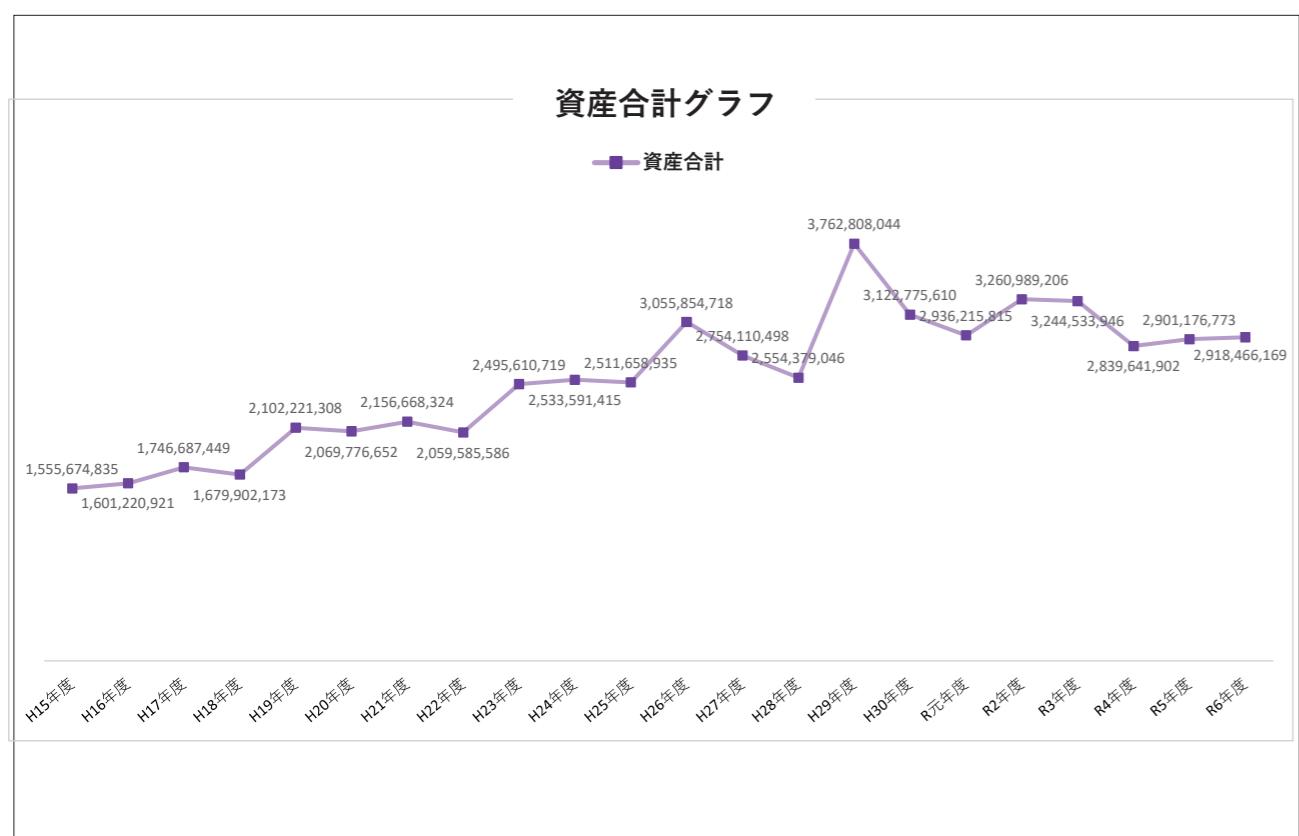
経営状況推移

合併以降の売上高、経常利益、資産合計、正社員数のグラフを示します。



資料編

Materials



1. アーカイブ

当社10大ニュース (2015年~2024年)

社内での情報共有と1年間の活動の振り返りを目的に、年末の仕事納め式にて社長がその年の当社の主要な出来事を1位から10位にまとめ、発表する恒例行事となっています。

※着色は☆ピックアップ☆で解説

	2015(平成27)年	2016(平成28)年	2017(平成29)年	2018(平成30)年	2019(令和元)年	2020(令和2)年	2021(令和3)年	2022(令和4)年	2023(令和5)年	2024(令和6)年
1位	50周年記念行事大成功 創立50周年記念祝賀会、創立50周年記念誌発刊、HP刷新、パンフレット刷新、社章の制作・配布 (ほか)	閉伊川横断橋を受注 受注金額 20億1000万円 鋼7径間連続細幅箱桁橋 橋長 430.5m、総鋼重1,700t	平成29年度史上最高決算 決算売上 39億5000万円 経常利益 1億3000万円 出来高粗利実績 8億4100万円	平成30年度好決算 決算売上 40億5279万円 経常利益 8200万円 出来高粗利実績 7億8500万円	令和元年度史上最高決算 決算売上 41億4291万円 経常利益 1億5485万円 出来高粗利実績 8億2400万円	令和2年度史上最高決算 決算売上 43億9249万円 経常利益 3億2303万円 出来高粗利実績 8億6900万円	令和3年度史上最高決算 決算売上 46億2389万円 経常利益 4億1177万円 出来高粗利実績 12億2090万円	令和4年度史上最高売上 決算売上 46億7408万円 経常利益 1億9418万円 出来高粗利実績 9億1014万円	令和5年度史上最高売上 決算売上 47億1449万円 経常利益 8361万円 出来高粗利実績 8億6900万円	令和6年度決算減収益 決算売上 37億8661万円 経常利益 7018万円 (震災後12年連続増収でストップ) 出来高粗利実績 8億3300万円
2位	溶接全国大阪大会入賞 岩手県溶接選抜大会アーヴの部で佐々木国彦さんが優勝 全国大会において18位入賞、優良賞受賞	平成28年6月度決算好調 決算売上 37億3130万円 経常利益 7855万円 出来高粗利実績 4億1800万円	西塙保氏瑞宝単光章受章 昭和45年に中央製作所入社後様々な工事の現場代理人として貢献	溶接全国山口大会で優良賞受賞 半自動の部で代理出場した藤原裕城さんが見事20位 優良賞を受賞	溶接全国沖縄大会 7年連続出場 藤原裕城さんが全国大会2年連続出場	Covid-19感染防止基本方針 新型コロナウイルス感染防止 基本方針その1~3を定め徹底 Zoomシステムを導入、各種会議のオンライン化を定着	健康経営優良法人の認定 経済産業省が進める健康経営優良法人 初認定 岩手県健康経営宣言事業所認定 初年度は健康5分野に取組み	溶接全国青森大会 2年連続全国入賞 令和4年度 星山希一さん 10位入賞(半自動) 10年連続岩手県代表	健康経営優良法人プライト500 健康経営優良法人3年連続認定 プライト500初認定 全国の中小企業500社、岩手県で4社	優良工事表彰続々 優秀建設施工者岩手県知事表彰(石森裕浩さん) 東京都 優良工事表彰(白鷺橋) 神奈川県 優良工事表彰(83号橋)
3位	平成26年度決算好調 決算売上 36億237万円 経常利益 3327万円 出来高粗利実績 6億4100万円	溶接全国函館大会 4年連続出場 平成24年~平成28年 4年連続全国大会出場 平成27年には全国18位入賞も	役員人事刷新 取締役 菅原克彦(新任) 取締役 福田晴文(新任) 取締役 青木彰人(新任)	J V 1 2 案件が順調に推移 丸島アクリアシステム 8件 大同機工 2件 北日本機械 2件	働き方改革ミナジン導入 残業時間の上限規制、有給休暇5日以上取得完全実施 総務部の負荷が10分の1に	溶接全国大会8年連続代表 藤原裕城さんが半自動の部で2年連続優勝するも、コロナで中止 J R すみ肉 受験者 21名合格	溶接全国三重大会 9年連続県代表 藤原裕城さんが半自動の部で3年連続優勝し全国大会代表へ 5位入賞 関東営業所を常務直轄の部署へ	歴史的組織改正が順調 工事部と建築部を統合 工事課、機械課、建築課、関東工事課設置 関東営業所を常務直轄の部署へ	溶接全国茨城大会 3年連続全国入賞 令和5年度全国大会 藤原裕城さん 12位入賞(半自動) 11年連続岩手県代表	溶接全国高知大会 4年連続全国入賞 令和6年度 佐々木国彦さん 17位入賞(アーヴ) 藤原裕城さん 7位入賞(半自動) 12年連続岩手県代表
4位	岩手県長沢川橋梁表彰 岩手県優良県営建設工事表彰受賞 高橋孝典部長代理が優良現場代理人表彰 SAFETY2015受賞	大同機工さんとのJV受注 宮古港海岸藤原地区陸閘設備(その2)を2億9800万円で受注	溶接全国横浜大会 5年連続出場 昨年に引き続き溶接全国大会出場により5年連続となった	社長が理事長、副会頭へ 平成30年より 岩手県鉄構工業協同組合理事長 花巻商工会議所 副会頭に就任	関東営業所を開設 埼玉県に関東営業所開設 初代所長に三浦正人さんが常駐 事務職員を現地採用	菊池淳哉さん国交大臣顕彰 西塙保さんに続く当社2人目の栄誉	コロナ禍2年目社内感染者0 社内感染者ゼロをキープ 新型コロナウイルス感染防止 基本方針(その4)発出 社員旅行中止、忘年会各部開催	優良工事表彰続々 岩手県 2件(今泉大橋・藤の巻橋) 岩手河川国道事務所 1件(一関地区歩道橋) SAFETY 1件(戻戸洞橋)	役員体制が変更 専務取締役 菅原博 常務取締役 菅原克彦 常務取締役 高橋孝典	令和6年7月の組織再編 部長職の大異動 工事部長・安全部長 青木彰人 工務部長 堀合聰 品質管理部長 猪狩達夫
5位	社員持株会再スタート 社員持株会を再規定 合併後初めて株主が増加 管理職を加えた計27名にて「社員持株会」を構成	技術提案のレベルアップ 熊の平1号橋で技術提案 10点満点 大手企業を抑えて受注達成	製造部出来高100%達成 4週連続で目標出来高100%達成 各個人の技術・技能アップ	働き方改革元年 勤怠管理システム導入決定 製造部アクションプラン開始 工程の見える化、残業管理等	ステンレス協会優秀賞受賞 丸島アクリアシステムとのJV「宮古港海岸藤原地区(その3)陸閘設備工事」でステンレス協会優秀賞を受賞	関東営業所 埼玉県2件受注 営業課長として高橋忍さん常駐 芝宮橋P B、豊橋を元請受注 建設会社の下請で複数件受注	大型WTO案件等が完工 丸島アクリアシステム 7件 北日本機械 1件 完工 丸島アクリアシステム 1件 大同機工 4件 継続中	中央コープD Xの取組進む 出来高管理システム CDS活用中 作業日報のデジタル化に取組み 中央コープ作業日報フォーム CNF開発中	貢献度手当を創設 夏冬賞与の全社評価を基に約2割の高評価を得た社員に給付 6ヶ月ごとに更新を行うモチベーションアップを期待	関東営業所移転 大宮駅西口→さいたま新都心へオフィス面積は3倍パネルブリッジ受注拡大の体制が整う
6位	工場リフレッシュ計画推進 工場内鉄骨塗り替え塗装 材料ヤード拡大、クレーン延長 工場外壁の修繕、工場床コンクリート打替進行中	高木顧問が伊藤學賞受賞 平成28年度 日本橋梁建設協会の伊藤學賞を受賞	J R すみ肉合格者18名 合格者史上最高の18名 大手並み 平均年齢30.8才	製造部の残業過多が問題に 工程管理が不十分で長時間残業 長時間残業ときに交通事故無事故・無災害記録ストップ	宮古西大橋 県優良工事表彰 宮古西大橋(閉伊川横断橋)は北日本機械との特定JVで施工 土木学会の田中賞にも推薦予定	技術部で新技術へ取組 ネオライズ2基完成 4基施工中 日新興業と提携 簡易ゲート開発中 出来形3Dデータの利用検討中	高卒新人2年ぶり5名入社 令和3年春 高卒新人5名入社 工業高校への出前授業3年目 高校生の企業見学積極受入	湿粒プラスチック技術開発進む ミストプラスチック工法 戻り鑄対策工法 2件のNETIS登録完了 F S S 工法協会を設立	中央コープD Xの取組進む 出来高管理システム CDS 中央コープ作業日報フォーム CNFが稼働 サイボウズ社キントーンを利用	中央コープD Xの取組進む 出来高管理システム CDS 中央コープ作業日報フォーム CNFが稼働 サイボウズ社キントーンを利用
7位	工場改善提案制度定着 9月~11月の3ヵ月集計 毎月40件以上の改善提案が提出 提出率80%以上 効果大の提案が毎月5件程度	工場敷地拡張計画その2 ヤード拡張 敷地総面積36,529m ² プラズマ切断機を更新	当社HP更新がアクティブに! HP更新数が年間合計55回 1ヵ月平均4.5回と週一回以上	20tヤードに移動上屋設置 製造部で20tクレーンヤードに長さ20m×幅16.5mの移動上屋(2.8tホイスト付)新設	J V 15 案件が順調に進捗 丸島アクリアシステム 10件 大同機工 3件 北日本機械 2件	J V 13 案件順調に完工・進捗 丸島アクリアシステム 8件 大同機工 4件 北日本機械 1件	関東営業所受注好調 埼玉県の元請3件目 滝下橋受注 芝宮橋は工事評点82点を達成 新たな人員を現地採用	ユニット式フラップゲート開発 日新興業との提携で特許取得 ゲートユニットを設置し無人操作可能な無動力 バランス式フラップゲート	湿粒プラスチック技術が新展開 NETIS登録技術 リエゾンI 最高賞 F S S 工法協会の設立に理事として参画	健康経営優良法人プライト500 健康経営優良法人認定4年目 プライト500 2年連続認定 歩数チャレンジ、1オン1ミーティング等
8位	土木学会東北支部で発表 新銀、猪狩、深井、鈴木4名が論文発表	鉄工技能士合格者計5名 1級 3名中3名合格 2級 3名中2名合格	J V 1 0 案件が順調に推移 丸島アクリアシステム 7件 大同機工 2件 北日本機械 1件	工場見学で若年層採用へ 黒工機械課への出前授業、溶接実習、工場見学を実施 高卒4名、大卒1名入社予定	ラピッドブリッジで公開実験 YNSE・NSEとのパートナーシップで大規模改修工事に利用可能な急速施工橋梁の開発に協力	総務部改善提案ヒット連発 中途採用求人サイトの利用 入口大型看板の改築工事終了 男子ロッカーハウスリニューアル 2Fに給湯室を新設 ほか	出来高管理システムリリース 出来高管理システム CDSリリース 日々の出来高管理表を見える化 出来高と工数を端末から入力	関東営業所受注好調 埼玉県 4件、神奈川県 1件、東京都 1件 元請受注 静岡県への入札参加等 新分野開拓	完成工事評点高得点続々 【岩手県】桜橋歩道橋 95点 大正橋/安家橋 93点 【埼玉県】霞橋 83点 滝下橋 83点 ほか	採用活動に注力、成果 令和7年4月の新卒は5名を予定 マイナビ転職等を利用 中途採用に注力 ミヤンマー人採用検討→見送り
9位	建築関連 大船渡継り災害復興住宅完成 花巻空港ターミナルビル施工中 宮古港藤原地区 ハイブリッド防潮堤製作	建築関連 花巻市天下田住宅F棟 工事評点85点 同G棟も順調に施工中	安全成績は良好を維持 一年間無事故無災害達成 無事故無災害時間 30万時間へ到達	戦略営業が順調に成果 釜石漁港(その1)で元請 ネオライズ形式陸閘を複数受注 岩手県内JVで今泉大橋受注	安全衛生成績が好調 不体災害ゼロを10ヵ月継続中 休業災害ゼロ 200万時間を達成した時を超えて 史上最長を更新	高校生接続教育が定着 釜石商工、一関工業、水沢工業へ接続教育 高校新卒者5名入社予定	新技術への取組進む 揮発性防錆剤+湿粒プラスチック +塗分除去工法の開発が進む 簡易ゲート開発 様々な実験実施 来年は北海道で実施工を視野に	健康経営優良法人3年目 健康経営優良法人 岩手県健康経営宣言事業所 2年連続認定 令和4年度よりプライト500挑戦	技術提案で逆転、受注 大石地区橋梁災害復旧工事 総合評価における客観視で劣るも技術提案で逆転 受注額 4億4891万円	E E 東北に初出展し、好評 SIC工法/金属溶射塗装省略化工法 ミストプラスチック工法 戻り鑄対策工法 ユニット式フラップゲートを展示
10位	共済会主催社員旅行 5年ぶり、約40名が参加 奈良東大寺、丸島アクリアシステム工場、京都清水寺嵐山等を見学	台風10号で現場被災 補修部材、4t ユニット、溶射機、パソコン、コピー機などすべて流出	建築部のニュース ハイブリッド防潮堤がRC構造へ振り戻しで逸注 住宅事業は引渡客から高評価	建築部のニュース 災害復興公営住宅(上町) 新築工事を受注、施工が順調 建設業協会 安全パトロール高評価	製造部生産性向上へ取組 工場内部に製造管理職用 事務所設置、工場内常駐 生産性工場研修を受講し具体的な取組開始	各種工事見学を受入 えふえむ花巻 小学生12名 花農高校Liveセミナー 77名 盛岡工業高校 34名 ほか	1オン1ミーティング開始 3ヵ月に1回程度上司と部下が1対1でミーティング より明るく、前向きな企業風土を醸成	積極的な採用活動に成果 令和5年春、高卒・中途採用 5名入社予定 マイナビ、バンブーコネクト等 人材紹介会社も活用	営業部受注好調 岩手県 3件 東北農政局 1件 関東営業所 3件 ほか	ユニット式フラップゲート 日新興業の地元、九州で事業化開始 川崎機械、貝の殻門で2セット 佐野川機械門無動力工事で1セット
番外	今年の安全成績 無災害記録が324,885時間でストップ ユニオン建設安全表彰(照井斎)	今年の安全成績 無災害記録が283,600時間でストップ	ピークを打った県発注工事 岩手県新小谷木橋で横河ブリッジとの特定JVで技術提案応札するも敗北	全社屋内禁煙がスタート 屋外においても定められた喫煙場所のみ喫煙可	共済会社員旅行が復活 平成27年以来4年半ぶりの復活 会津駒ヶ城、あづくま洞、磐梯熱海温泉など 1泊2日のバス旅行を満喫	チャレンジ100無事故達成 チャレンジ100参加以来 初めて無事故・無違反を達成 安全成績では無災害時間 524,000時間でストップ	CO ₂ 削減で鋼材価格が高騰 鋼材価格がtあたり約8万円→約15万円 (約90%アップ) 理解を求める要望書発行	地域貢献として寄付を実施 花北高校海外交流事業支援、ぬくまる食堂&フードパンtryー事業支援 それぞれ100万円寄付	中央石油、役員体制変更 中央石油の経営を担っていた高橋安英氏退任 新体制へ中央コーポレーション手数料の見直しも	岩手県鉄構組合50周年 岩手県鉄構工業協同組合 記念式典・祝賀会を開催 50周年記念事業でNPO未来図書館と連携
	J E S エレメントでS I C 工法採用 今後のエレメントの主流になる可能性	ドローン活用本格スタート 技術部にてドローンを導入 H Pの現場レポートにドローン写真活用、閲覧数U P	岩手県溶接協会へ貢献 岩手県高校生溶接技術競技会が初開催予定 花北青雲、釜石商工でも溶接出前授業を開催	ネオライズが軌道に フラップゲート式可動防潮堤 ネオライズを数多く受注 設計、製作、据付のトータルで施工管理し高粗利益率確保					女性社員の働く環境整備 【事務所2Fのリフォーム】 女子ロッカーアンド更衣室 →女性専用トイレ 娯楽室→女性専用更衣室&休憩室	
	土木学会東北支部で論文発表 深井、似内、高橋、鈴木4名が昨年に続き発表		管理費の予算主義スタート 実行予算の実施監理を徹底中 旅費交通費、経費、副資材、修繕費の年間予算をたて 毎月確認							

社長賞 (2015年~2024年)

社員一人ひとりの努力を認め、今後の更なる成長を期待して、毎年会社の発展に顕著な貢献をした社員、優れた成果をあげた社員に、社長から感謝と敬意を込めて「社長賞」を授与しています。

最優秀賞		優秀賞			
2015 (平成27)年	製造部 佐々木 国彦	品質管理課 藤原 智克	工事部 鈴木 拓也	製造部 菊池 淳哉	
		営業部 川守 永朗	総務部 猪狩 達夫	技術部 石羽根 菜々	
2016 (平成28)年	営業部 福田 晴文	技術部設計課 日下 徹	営業部 堀合 聰	製造部工務課 丞原 健	
		工事部 照井 隼太	製造部 大竹 康貴	総務部総務課 中津山 雅恵	
2017 (平成29)年	製造部 石川 侑人	製造部製造1課 一ノ倉 孝太	製造部製造2課 小松 真二	製造部工務課 岩渕 学	
		総務部総務課 伊藤 俊彦	工事部 佐々木 竹男	営業部・企画管理室 三浦 正人	
2018 (平成30)年	製造部製造2課 藤原 裕城	建築部 佐々木 淳	製造部荷役仕上課 佐藤 任	製造部製造2課 高橋 明希	製造部工務課 三上 智子
		技術部設計課 砂子田 晶	工事部 鈴木 優太	営業部 酒井 あゆみ	営業部 白澤 洋
2019 (令和元)年	技術部設計課 堀合 聰	製造部生産管理課 神山 星弥	製造部製造課 菅原 徹	製造部工務課 岩渕 学	
		工事部 田中 仁	顧問・営業部推薦 高橋 英彦		
2020 (令和2)年	製造部製造4課 阿部 悟志	技術部 千葉 慎二	品質管理課 小野寺 司樹	総務部 伊藤 俊彦	
		工事部 佐藤 航	建築部 高橋 義樹	営業部関東営業部 高橋 忍	
2021 (令和3)年	製造部工務課 岩渕 学	営業部営業課 望月 優心	製造部 藤原 裕城	工事部 照井 隼太	
		技術部 福地 啓樹	製造部生産管理課原寸係 工藤 彩夏		
2022 (令和4)年	総務部 猪狩 達夫	製造部製造2課 新井 皇貴	技術部設計課 類家 一樹	工事部 高館 和弥	
		関東営業所 西村 雄二	工務部工務課 佐々木 玉恵	製造部製造3課 畠山 希一	
2023 (令和5)年	工務部 吉田 大輔	工務部工務課 伊藤 歩美	製造部製造1課2係 菅原 徹	製造部製造2課3係 草刈 拓斗	工事部建築課 佐々木 淳
		工事部建築課 小向 宏二	営業部営業課 鈴木 裕太	技術部設計課 千葉 慎二	製造部製造1課1係 藤原 裕城
2024 (令和6)年	工事部関東工事課 高橋 忍	プロジェクト部 一ノ倉 孝太	総務部総務課 小原 帆乃香	技術部設計課 田中館 広恵	
		営業部営業課 菊池 友美	工務部工務課 佐々木 玉恵	工事部機械課 蜂谷 悟	
		製造部製造2課2係 畠山 希一	製造部製造1課1係 菊池 美輝	製造部製造2課3係 石川 侑人	
		製造部 佐々木 国彦	製造部製造1課1係 藤原 裕城	工事部関東工事課 田中 仁	
				工事部 石森 裕浩	

☆ピックアップ☆

●平成28年 閉伊川横断橋(現:宮古西大橋)を受注／令和元年度 宮古西大橋県優良工事表彰

東日本大震災からの復興を象徴するインフラの一つである「宮古西大橋」は、北日本機械(株)との特定共同企業体(JV)として受注し、令和元年度に岩手県優良県営建設工事表彰を受賞しました。施工期間中は復興道路の進捗状況を地域の人にも実感していただくため、現場見学の受け入れを積極的に行い、特に宮古市立花輪中学校の生徒を対象とした現場見学会では、生徒たちに復興への願いを込めたメッセージを橋の床版に書いてもらいました。これらのメッセージは最終的にアスファルト舗装の下に隠れてしましましたが、生徒たちにとっては貴重な体験となり、心に残る思い出となったことと思います。



●平成29年 西塙保氏瑞宝単光章受章

当社社員である西塙保氏が平成29年秋の叙勲において「瑞宝単光章」を受章。瑞宝単光章は、国家または公共への貢献が顕著であった者に授与される栄誉ある勲章であり、西塙氏の不断の努力と社会に対する貢献が広く認められたものです。西塙氏は1970年に当社へ入社後、半世紀以上にわたり建設現場の責任者として携わり、これまで20以上の現場で現場代理人や主任技術者、監理技術者を務めております。常に模範となる姿勢で業務に取り組み、多くの後進の指導・育成に現在も尽力されています。



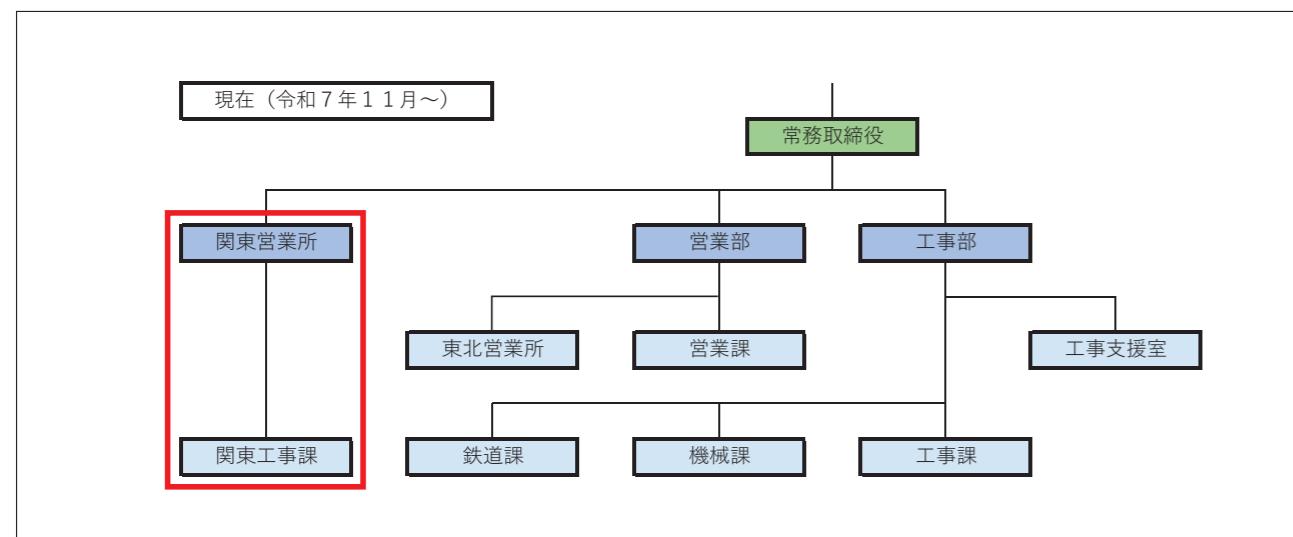
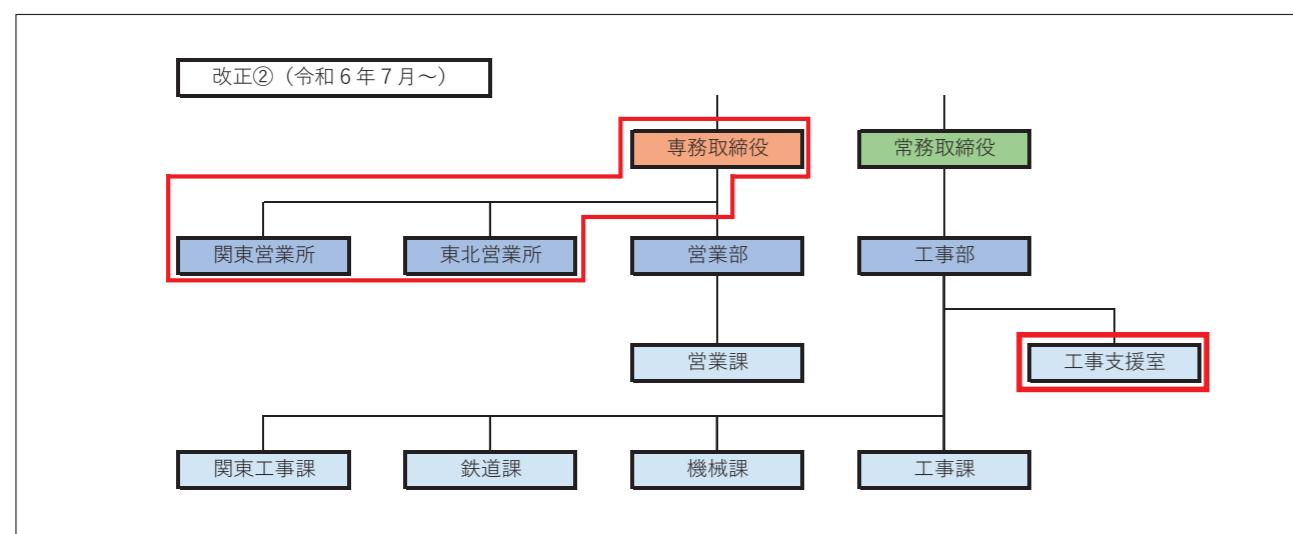
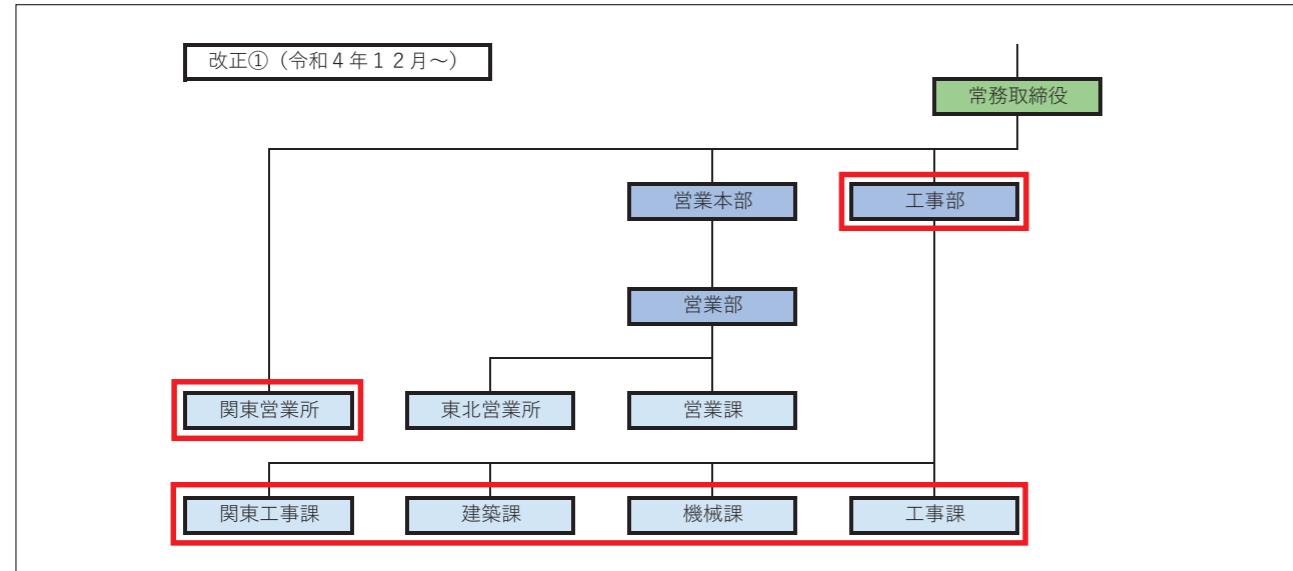
●令和6年 EE東北に初出展し、好評

東北地方整備局が主催する、東北地方最大級の建設技術展示イベント「EE 東北」。当社は「SIC 工法」による金属溶射の高耐候性皮膜技術に加え、近年注目されている鋼構造物の塩害対策として、塩分除去に特化して開発された「F砂 S 工法」や、湿粒化研削材を用いたミストblast工法、ゲート操作の無人化を実現する「ユニット式フラップゲート」を初出展しました。



●令和4年歴史的組織改正／令和6年7月の組織再編

令和4年4月1日付で、「工事部」と「建築部」を統合し、新たに「工事部」として発足。これに伴い、「工事課」「機械課」「建築課」「関東工事課」を新設し、震災復興に伴う機械設備の点検・整備需要の拡大、関東エリアにおける案件の増加、ならびに建築事業における競争の激化に対応していく運びとなりました。また、令和4年12月1日付で、「関東営業所」を「営業本部」から独立させ、常務直轄の部署として再編。これにより、関東エリアでの営業活動を一層強化し、迅速かつ柔軟な対応を可能とする体制が整いました。さらに、令和7年11月1日付、関東工事課を関東営業所直轄の部署といたしました。



2. 令和7年 社長年頭の辞

毎年正月の仕事初め式において社長が社業のみならず、大局にたって年頭の辞を述べられますが、本稿では直近(令和7年)のものを紹介いたします。

令和7年1月6日

株式会社中央コーポレーション 代表取締役 佐々木 史昭

1. はじめに

みなさん、明けましておめでとうございます。社員のみなさん、そして協力会社のみなさんが全員そろって穏やかに令和7年の仕事始めを迎えることができますことを大変うれしく思い、心からお祝いを申し上げます。令和7年が株式会社中央コーポレーション、そして社員のみなさんにとって、より良い年になりますよう祈念申し上げます。毎年、社長の年頭あいさつは、仕事を離れ、世界の潮流、日本の現状、今後の見通し等について、自分なりの考えを述べて参りましたが、今年も令和7年正月の社長年頭の辞をご一読ください。

2. 世界の情勢について

(1) 米国トランプ大統領の再選

昨年11月の米国大統領選挙において、トランプ大統領が地滑り的大勝利を収め、世界政治の潮流は大きく変わったと言われています。2016年の米国大統領選挙において、マスコミの事前報道はヒラリー・クリントンの圧勝を予測していましたがトランプ大統領が勝利し、2020年の選挙において私はトランプ大統領の再選を予想していましたが、大規模な不正選挙が行われて結果がひっくり返され、民主党・連邦政府・マスコミのいわゆるディープステイトが一体となってそのことを隠蔽し、4年間バイデン政権による政治が行われました。その間、ロシアーウクライナ戦争や、ハマースーイスラエル紛争が起こされ、軍産複合体は巨利を得ましたが、世界中が混乱に巻き込まれました。8年間で、YouTubeやSNSによる個人の自由な情報発信が進化し、玉石混交の情報がインターネット上を駆け巡り、市民が情報を得る手段が多様化する一方、日本でも米国でも真実を伝えてこなかったマ

スメディアは信頼を大きく失墜しました。

2024年の大統領選挙においても、不正選挙が行われ、最終結果が出るまで相当長引くと予想していましたが、全米で共和党が10万人規模のボランティアを組織して投票所を見張り、不正行為が疑われれば証拠写真、動画を撮影、弁護士と共有して即座に訴える状況を整えた結果、不正選挙は限定的となり、スイングステイト7州(ペンシルベニア、ミシガン、ウイスコンシン、ジョージア、ノースカロライナ、アリゾナ、ネバダ)においてもすべてトランプが勝利、連邦上院・下院においても共和党が勝利するいわゆるトリプルレッドの状況となりました。米国民の多くが覚醒したことにより、2028年までのトランプ大統領任期4年間で思う通りの政策が実現出来、アメリカンデモクラシーが守られる歴史的転換点になると言われています。

(2) 国際政治の座標軸

国際政治においては、指導者の立ち位置を座標軸に置いて確認すべき、ということを国際政治学者藤井巣喜先生がおっしゃっています。座標軸の横軸にはナショナリズムかグローバリズムかという程度を、縦軸には資本主義(自由)か社会主義(統制)かの程度を示して4つに分類すると図1のようになります。

世界の政治勢力はこの4つに分類される

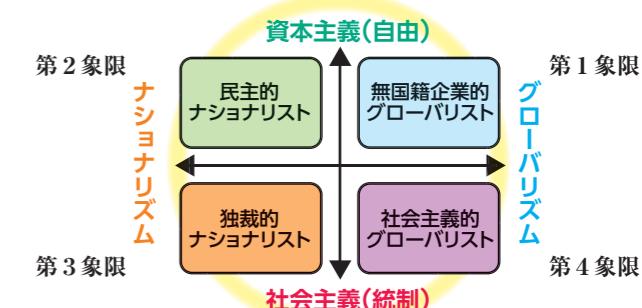


図1 国際政治の座標軸

第1象限は、無国籍企業的グローバリスト
第2象限は、民主的ナショナリスト
第3象限は、独裁的ナショナリスト
第4象限は、社会主義的グローバリスト
となり、各国の指導者を具体的に当てはめてみると、

無国籍企業的グローバリストは、ジョー・バイデン、エマニュエル・マクロン、ボリス・ジョンソン、岸田文雄、石破茂、ジョージ・ソロス、ビル・ゲイツなど、

民主的ナショナリストは、ドナルド・トランプ、安倍晋三、高市早苗、ヨルジ・メローニ、マリーヌ・ルペンなど、

独裁的ナショナリストは、ウラジミール・プーチン、習近平、キム・ジョンウンなど、

共産主義的グローバリストは、バラク・オバマ、ヒラリー・クリントン、カマラ・ハリスなど、となります。

(3) タックスヘイブンとディープステイト

世界政治経済の行方に大きな影響を及ぼしているのはユダヤ人ネットワークです。ユダヤ人は歴史的にユダヤ人国家をもたず、各国に分散して独自のネットワークを形成し、ビジネスの才覚をもって巨大なお金を手にしてきた独特の存在です。彼らは既存国家に迫害されてきた歴史があり、国家こそ悪で、破壊すべき存在と考えています。私たち日本人は、幸福なことに尊敬すべき歴代天皇のおかげで、国は国民を裏切らず、温かく守って貰える、という尊い信頼関係にありますが、このような国は世界で日本のみといっても過言ではありません。ユダヤ人は真逆でグローバリズムの先に世界平和があると考えます。

ユダヤ人は膨大なマネーを基に、世界中から優秀な人材を集め、新たな技術を開発、世界市場で新たなサービスを提供して大きな収益を産み、タックスヘイブンと言われる租税回避地に逃し、各国からの課税を逃れてきました。タックスヘイブンは元々大英帝国時代の植民地利権を管理していたロンドン・シティの一角にある金融会社ネットワークでしたが、世界の国家と国家の莫大なお金のやりとりや、秘匿が必要な世界の富裕層の取引など

のニーズを掴み、世界中のグレーなお金が集まつてくるようになりました。グローバル企業は、頭脳や開発拠点は先進国にありますが、製造は低賃金の新興国で格安を行い、先進国市場で売って大きな利益を得、特定の国に属さず課税を逃れて利益をタックスヘイブンに蓄積し、膨張してきました。このお金が世界中に富を求めて流れ、さらなる富を産み出し、資本主義を膨張させてきました。

これを一緒になって推進してきたのがディープステイトと言われる国家の中にある選挙によるもう一つの権力構造です。官僚、議会、メディアの鉄の三角形により、グローバリズムの望む方向へ国家を導こうとし、反グローバリズムな人物に関しては、あうんの呼吸で排除を試み、エリート支配の継続を求める陰の組織となっています。タックスヘイブンと密接に結びつき、エネルギー、軍需、半導体、自動車等の各分野において各国政治と結びつき、巨大な利権を貪り合う構造になっています。

タックスヘイブンは、民主国家が健全に成長し国際協調が進化すると、国家を超えた健全な経済管理が運営され、国際的脱税が困難になっていきますので、世界は多少混乱していた方が良いという立場であり、彼らは戦争さえ辞さないのです。軍産複合体は生業として、世界中のどこかで紛争や戦争があれば武器を売却し、莫大な富をあげられ、グローバリズムと相性がよいのです。共和党的ネオコンは、世界中で民主化・自由化を推進する立場ですが、目的達成のためには紛争、戦争もありという考え方で、こちらも軍産複合体と利害が一致し、いずれも一般市民の立場を考える立場には全くありません。

(4) 共産主義とフランクフルト学派

米ソ冷戦後、1991年にソビエト連邦が崩壊し、私たちは資本主義が共産主義に勝利した、と理解していましたが、実はその陰で新しい形の全体主義戦略が蕭々と進行していました。旧来の共産主義では、労働者は資本家に搾取されるため、困窮して立ち上がり、共産主義革命が起こるという思想で、実際ロシア革命が起こりましたが、経済成長が順調な先進国においては、労働者は徐々に豊

かになり、共産主義革命は望まれなかったのです。しかしその後、フランクフルト学派という新しい思想が世界中で拡がってきたのです。

起源は、第一次世界大戦後、マルクス主義の最先端研究をやっていたフランクフルト研究所においてでした。先進国の豊かな経済を労働者が享受してしまうと、共産主義革命はおぼつかない。社会を弱体化させなければ共産主義革命はならず、社会の基礎である家庭にターゲットを絞り、根底にある伝統的価値観を長い時間かけて切り崩し、徐々に革命に繋げていこうという思想です。伝統的な男女関係は男性が支配し女性が支配される関係で不平等だと否定し、女性の社会進出を促し、女性が家庭で子供を育てられなくし、保育園や幼稚園において共産主義教育を施すというものです。

アメリカでフランクフルト学派を発展させたのが、シカゴのソウル・アリンスキーリーという社会活動家で、彼の著作「過激派のルール」は左翼革命家のバイブルとされました。バラク・オバマは彼の弟子であり、ヒラリー・クリントンの大学時代の論文は、ソウル・アリンスキーリーの革命理論についてでした。その延長で、オバマ、ヒラリー、バイデンが米国で実行してきた政策は、高福祉政策、移民の受入拡大、違法難民の無制限入国、LGBTQの推進、CO2の排出規制などであり、家庭の破壊、米国国家財政の破壊、社会機能の破壊に繋がっています。オバマケアの国民皆保険により国家財政は危機に陥り、白人と黒人の憎悪を最大限高めれば社会機能は麻痺、子供達に同性愛や性転換を進めて男女という自然界の役割分担を否定すれば父母がいるまともな家庭は破壊に近づく、違法入国者を全て亡命者として受け入れれば低賃金の労働を既存の米国人から奪い働き口が見つからない場合は犯罪に繋がって社会は混乱に陥る、という悪循環です。甚大なハリケーン災害が米国東部を襲った際、南部に甚大な被害が発生しましたが、被災者への援助は微々たるものであった一方、違法入国者には年間数百万円が給付されているといいます。福祉制度を悪用し、米国の国家財政を破綻に追い込もうとする革命プログラムです。地球温暖化により人類が滅んでしまう、というプロパガンダも、グローバリズム戦略の一貫であり、CO

2排出規制により各国の経済を統制し、安価なエネルギーが使えない経済成長が鈍化して不況になり、多くの市民が困窮することを、グローバリズムは望んでいます。

オバマ前大統領は2011年にピボットトゥアジアという戦略変更を発表しましたが、米軍のアジア転換は進めず、アジアで冷戦構造をつくりだし、台湾・日本・韓国を中心に、対中国、北朝鮮包囲網を形成させ、場合によっては戦争を起こすことさえ視野にありました。トランプは戦力均衡による戦争抑止に力点を置き、必要とあれば習近平や金正恩とも直接対話しましたが、相手国の体制転換までは考えていません。マスコミが報道する姿とは正反対であり、トランプ一次政権においては新しい軍事紛争は一つも起こりませんでした。一方、バイデン政権においては、ウクライナ、イスラエル、パレスチナ、シリア、韓国、台湾などで混乱、衝突、紛争が吹き出しました。

(5) 行き過ぎたグローバリズムとその反動

ヨーロッパでは、度を超した移民政策が続けられ、各国に移民が溢れ、治安が悪化し、以前の状態に戻ることは不可能と言われています。そのことに市民が覚醒し、イタリアのメローニ政権、ハンガリーのオルバン政権、ドイツのための選択肢、フランスのメリー・ルペンなど、民主的ナショナリストの支持が拡がっています。ヨーロッパにおいては第2次世界大戦におけるドイツのナチズム、ユダヤ人ホロコーストのトラウマが残り、EUと各国の考えが一致することは難しく、米国のように一挙に方向転換することは困難ですが、グローバリズム政策に対する反感が高まり、ナショナリスト的政治家が政権を取り始めています。

世界中で推し進められたグローバリズムに明確に逆らっていたのは、ロシアのプーチンや中国の習近平など力のある独裁政権でした。欧米メディアは彼らに悪の枢軸という烙印を押していましたが、ロシア、中国サイドから見ると、圧倒的な軍事力を背景にしたアメリカ民主党、CIAこそ恐ろしい存在です。欧米の価値観は勝つことが正義であり、手段を選ばず勝つためには何でもあり、一旦ターゲットにされると、欧米マスコミにより悪魔

化され、戦争に連れて行かれてしまいます。そのことを私たち日本人は、第2次世界大戦で身を以て経験したはずです。力を付けてきた中国、ロシアは連携し、それに同調するグローバルサウスと言われる拡大BRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ、エジプト、エチオピア、イラン、サウジアラビア、UAEの10ヶ国）は欧米の経済支配から離れて脱ドル化を目指すなど世界経済は多極化し、これまでとは全く異なる方向へ動きを加速させています。

(6) そして日本

日本に於けるグローバリズム政策に、自民党の安倍晋三首相は抗っていましたが、暗殺されてしまい、その後の自民党政権、菅義偉、岸田文雄、石破茂の各内閣は、戦争に連れて行かれるよりはマシと、米国民主党の言われるまま、グローバリズム的な政策を推し進めています。LGBTQの推進、選択的夫婦別姓（強制的家族別姓と言われています）は日本の誇る戸籍制度の破壊ですし、女系天皇容認は日本の2000年に渡る男系男子天皇による天皇系の皇統を断ち切る日本の弱体化政策です。移民政策の推進、脱炭素の強制、EV化の推進などはいずれもグローバリズム政策であり、日本の弱体化策です。

世界の自動車市場を席巻しているトヨタ自動車は日本経済最大の砦です。欧米そして中国企業から標的にされ、EVゲームチェンジを仕掛けられ、日本の政治家は籠絡されてトヨタを応援するどころか電気自動車に補助金を出し、日本の弱体化を進めています。EV競争になれば、これまでの圧倒的な強さを誇った内燃機関の優位性を捨て去り、バッテリーに必須の資源を握っている中国の価格破壊戦略に乗った土俵で勝負することになり、それこそ欧米中国の思うつぼです。昨年末、日産とホンダが経営統合し、三菱自動車まで含めた3社の統合がニュースで騒がれましたが、一緒になってもEV市場で勝てる保障は全くありません。筋肉質な体質にならなければ意味はなく、逆に経営をひとつ間違って株価下落を招けば、3社まとめて中国系資本に買われるという最悪の事態にさえなりかねません。優秀な日本を代表する企業であった

シャープ、東芝、パナソニック等は既に外資に買収され、日本企業ではなくなります。これが国際政治・経済の怖さです。日本人はもっと世界を俯瞰して、日本という国の素晴らしさ、トヨタ自動車の偉大さを理解し、日本国そして日本企業を力強くバックアップしていかなければなりません。アメリカ国民にならって覚醒し、自らの意思を具体的な行動に繋げ、トランプ政権を成立させたアメリカのように、日本を取り戻さなければなりません。

日本では、何万年という長い単位で、他民族が行ってきた人種差別や迫害をしたこと、されたこともない世界で唯一の民族と言われています。私たちは、日本人の持つDNAに従って和を尊び、外国人を差別的に見たり待遇したりすることもなく、フラットに付き合うことができますが、欧米人もユダヤ人も植民地支配を受けてきたアジア・アフリカ諸国の方々も、歴史的なトラウマをお互いに持っていて、先入観を持たずに民族同士宥和していくことは難しいと言われています。トランプ大統領の絶対的な信頼を得て、トランプ政権で辣腕を振るうイーロン・マスクは日本の価値観を非常に高く評価し、世界を救えるのは日本の和の精神であると主張しています。日本の和を尊び、穏やかに、お互いを受け入れる思想が世界で期待されています。しかしグローバリズムにとっては最も壊さなければならないのがこの日本の伝統的価値観なのです。私たちは世界平和のため、何としてもこの日本の価値観を守っていかなければなりません。

日本においては、隣国中国との向き合い方も重要です。中国は共産党一党独裁国家であり、長年反日教育を続け、日本の伝統的価値観、あるいは明治以降育んできた民主的価値感とはあまりに違います。中国に経済で絡め取られず、しっかりと距離を保ち、独立を確保する必要があります。日本の伝統的な良さを守るという保守的な基盤の元で、且つ戦争は絶対に避ける、という保守政党が必要です。その上でアメリカのトランプ政権や世界の民主的ナショナリスト政権と連携し、日本の良さを守っていかなければなりません。

3. 幸せの分析

(1) 働く、利益、幸せの関係

20世紀のシステムでは、働く→利益が出る→幸せという循環でしたが、最近は、働く→幸せ→利益が出るという順番に変わってきたという考え方があります。幸せを感じると、我々の体内にプラスの生化学的な反応が生じ、血液、血管、ホルモン、呼吸、発汗などがウェルビーイング（Well-being）な、心身共によい状態になります。人が生き延びる本能としての普遍的反応であり、人がムリなくチャレンジングな状況になり、夢中になって自分の力を出し切ると、成長実感も得られる、ということです。ウェルビーイングは快適でコンフォートゾーンに居ることと捉えがちですが、そこに長く居ると、時間と共に出来ることが減っていきます。チャレンジングな領域に飛び出で、緊張し、不安になりながら頑張って、少しづつ力が付いてくると、楽しくなり夢中になって成長を実感出来る、この循環がウェルビーイングの真髄です。コンフォートゾーンからチャレンジングゾーンへ出て行くことを心地よく感じることが重要です。

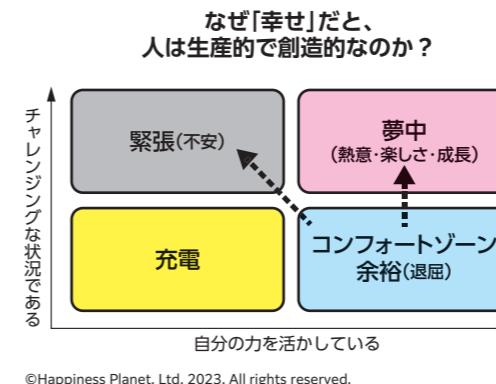


図2 幸せの座標

成功すれば幸せになれる、健康であれば幸せだ、と思っている人が多いと思いますが、実は反対で、幸せだから仕事が上手くいく、幸せを感じるから病気になりにくい、という逆の因果関係の方が圧倒的に支配的なのです。営業担当者が幸せを感じていると受注率は30%高く、幸せを感じている人ほど創造的な仕事が出来て離職率は半分以下となり、幸せを感じる人が多い会社ほど利益率が高い、

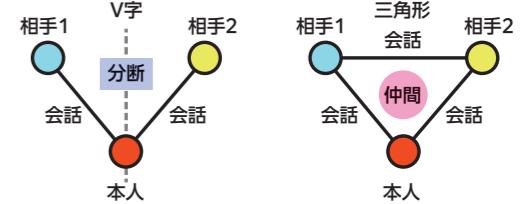
というデータが定量的に得られているそうです。

(2) 人間関係ファクター

さらに、この2~30年の研究で明らかになってきたのが、人間関係がよくないと幸せを感じられず、生産性も良くないというデータです。そのため大切な事はコミュニケーションですが、ただ単にコミュニケーションが多ければよい、というものではありません。例えば、みなさんが周りでよく話をする人が複数居て、みなさとそれの方はよく理解していますが、その相手方同士も関係が良好な場合、関係は良好な三角形型と言えます。一方、そうでなければ関係はV字型と言えます。この違いが決定的に大きい！と言われています。三角形型であればそれが一体感を感じることが出来、精神的に安定する一方、V字型ではコミュニケーションを取っていたとしても、孤立感を感じる場合があるということです。親と子供の関係に例えるとそれは明白です。ある家庭で、子供が父親あるいは母親とよくコミュニケーションを取っていたとしても、父親と母親とのコミュニケーションが希薄な場合、子供は十分な安心感を得ることが出来るでしょうか、父親と母親の関係が良好であれば、子供は精神的に安定して、放つておいてもすくすく育っています。

ファクターXとは

「利他的な三角形の関係」が多い集団は、幸福度も高いことを発見。



用事だけの利己的な関係
生産性も幸福度も低い

仲間としての利他的な関係
生産性も幸福度も高い

©Happiness Planet. Ltd. 2023. All rights reserved.

図3 人間関係ファクター

会社の中も同様です。メールは一対一の連絡ツールですが、報告を受けている人たち相互のコミュニケーションが重要です。それを簡単に解決する方法の一つがメールCC機能の積極活用です。メールで業務上の連絡をする場合、関連する人々に内容を共有しておくことがいかに大切か、CC機能を

活用するだけで最低限の共有は実現出来ます。そしてCCメールを受けとっている人同志のコミュニケーションが重要です。当社ではワンオンワンミーティングを積極的に行ってています。ワンオンワンミーティングの内容は上司に報告することになっていますが、関係する上司含めた関係は三角形になっていますか？会社においては各階層で三角形が存在し、社員1人に三角形が最低1つはありますので、会社全体ではほぼ社員の数だけ三角形があります。それらをV字にせず、三角形についていく。今年はそのことにより、会社全体の一体感をさらに創り出し、社員がより精神的に安心して仕事が出来、幸せを感じながら、チャレンジを楽しみ、さらに成長を実感してもらうような経営を推進して参りたいと思います。

4. 株式会社中央コーポレーション 設立60周年

(1) 岩手県鉄構工業協同組合創立50周年

昨年令和6年、岩手県鉄構工業協同組合は創立50周年を迎え、私は理事長として創立50周年記念事業を主催、10月10日に記念式典祝賀会を開催しました。50周年記念誌も立派に出来上がり、記念式典当日に岩手県知事、岩手県議会議長もご本人にご出席頂き、岩手県当局、岩手県建設業協会会長、全国鉄構工業協会会長、東北鉄構連会長、各県組合理事長など、多くの関係者にご出席頂き、岩手県鉄構業界の50年を振り返って頂きました。以前は100社近い会員企業がありましたが、今は自社工場を保有する正会員は35社となり、1／3まで縮小しました。現在残っている会社は、経営と技術に優れた特徴ある企業であり、成熟した日本の社会インフラを支える基幹産業として、これからも存在し続けると思います。50周年記念事業で取り組んだ岩手の若年層に鉄構産業の魅力をピアールする事業は、溶接技術競技会を高校生と社会人の同日大会としてさらに盛り上げていくこと、NPO法人未来図書館と連携し岩手県内の学校へ会員各社から社員が講師として出向き鉄構産業の魅力を伝えていくことで、これからも継続していきたいと考えています。

(2) 中央コーポレーションの法人設立60周年
当社は昭和40年10月4日の法人設立以来、令和7年で創立60周年となります。当社は法人設立前の歴史も濃く面白い会社ですので、特に新しい社員の皆様はこれを機会に当社の歴史を振り返って頂きたいと思います。

創立60周年記念事業は、記念式典を外向けに大々的に行うというより、創立50周年以降の10年を振り返り、東日本大震災で多くの社会インフラを整備したことを総括して創立60周年記念誌を編纂、PR動画も作成し、それらを披露する場として社員全員参加で、社員中心の記念式典を行いたいと考えています。スケジュールは年間カレンダーを決定する際早めに決定し、記念事業準備委員会を組織して計画的に取り組んで参りたいと思います。歴史的節目となる貴重な機会ですので、みなさま積極的にご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

5. 本当に大切な価値を 体現する企業として

(1) 当社の価値

改めて当社を振り返ってみると、当社は大変恵まれた環境で事業を行えているものと感謝しています。①公共工事に携わっているので極端な単価の下落が起きにくい、②社会インフラの整備は維持補修を含めると十分な成長産業である、③ライバル会社が国内に限定され海外の桁違いなライバル会社と消耗戦に陥る可能性が少ない、④上場企業のもの言う株主のように想定外の要求を突きつけられる事が少なく当社第一の経営に集中出来る、⑤製品の付加価値が高く、設計・製造・防食・輸送・据付・メンテナンスまで全工程で自ら付加価値を産み出すことが出来る、⑥どの工程においても改善の努力次第で利益を高められる、⑦輸送・据付が可能であればどこへでも販売できる、など他社がうらやむ好条件で会社を経営することができています。隣の芝は青く見えると言いますが、一時的な衝動に駆られて転職して給料が上がったとしても、新たな業務で成果を上げ会社も付加価値を上げられなければ、その後給料が上がる保障

はありません。当社においては、社員のみなさんが働きやすい環境を整え、知恵を出し、力を合わせて本業に注力し、利益を上げられれば、利益を外に出さず、出来るだけ社員に還元し、そのことをもって地域に貢献することを経営目的にしています。地に足を付け、各自がプロフェッショナルとして技術・技能を高め、社会に必要とされるインフラ整備技術を高めていくこそ最大の社会貢献であり、地方の豊かさへの王道だと確信しています。当社は経済産業省が認める地域未来牽引企業として岩手県で一番早い段階から認定を頂戴しており、客観データからも、地域の未来を牽引すべき企業であると期待されているのだと思います。

(2) 健康経営優良法人プライト500

当社は、2023年に健康経営優良法人中小企業部門全国500社に与えられるプライト500の認定を受け、2024年も継続、2025年も申請中です。現在プライト500の認定は岩手県内で6社のみです。私はプライト500の認定は得ているものの、社員の健康がそこまで向上している自信は持てず、まだまだレベルアップの余地が大きいと考えています。当社の健康経営活動の主なものとして、①歩数チャレンジ、②健康診断結果のフォロー、③1オン1ミーティング等による社員メンタルヘルスの向上、を上げていますが、さらにレベルアップし、社員一人一人の健康状況がさらに向上するよう、無理なく、継続して取り組んで参りたいと思います。

6. 人生で最も大切なことは考え方である

(1) 会社と人生をシンクロさせる

最後に、みなさまには当社の中長期カーブと、社員みなさまの人生カーブを重ね合わせて考えて頂きたいと思います。会社の状況は刻々と変化しておりますが、それに応じてみなさまにも様々なチャレンジの機会が訪れると思います。ぜひ新しい変化を前向きに受け止め、チャレンジしていただきたいと思います。会社だけが良い、あるいはみなさんだけが良い、という片方だけの幸せはあ

りえません。両者が共に知恵を出し合い協力し合ってこそ、さらなる明るい未来を切り拓くことができます。

岩手県内の公共工事は東日本大震災前の水準まで戻り、県内で大型の新設工事を受注することは難しくなり、その代わりこれまで設置した多くの社会インフラの維持・補修を担うこと、そして関東営業所、東北営業所を核にこれまで培ってきた社会インフラの経験と技術をより広い範囲で発揮していくことが求められています。昨年、当社の関東営業所由来の受注は全社の30%に達し、東京都、神奈川県から優良工事表彰を受賞する事が出来ました。当社にとってもみなさんにとって新しいことにチャレンジしてきた成果がでた、歴史的快挙であったと思います。

(2) 現実を受け止め、前向きに考える

私は毎年社長年頭の辞で「人生にとて最も大切なことはものの考え方だ」ということを申し上げてきました。世の中必ずしも良いことばかりではありません、時にはつらいことも悲しいこともあります。しかし、それらを現実としてしっかり受け止め、明るく前向きに考え、建設的に対応していくことにより、人間はさらに大きく成長することができます。ピンチはチャンスであり、正しく前向きに柔軟に考えて行動すれば、結果は必ずよいものになっていきます。

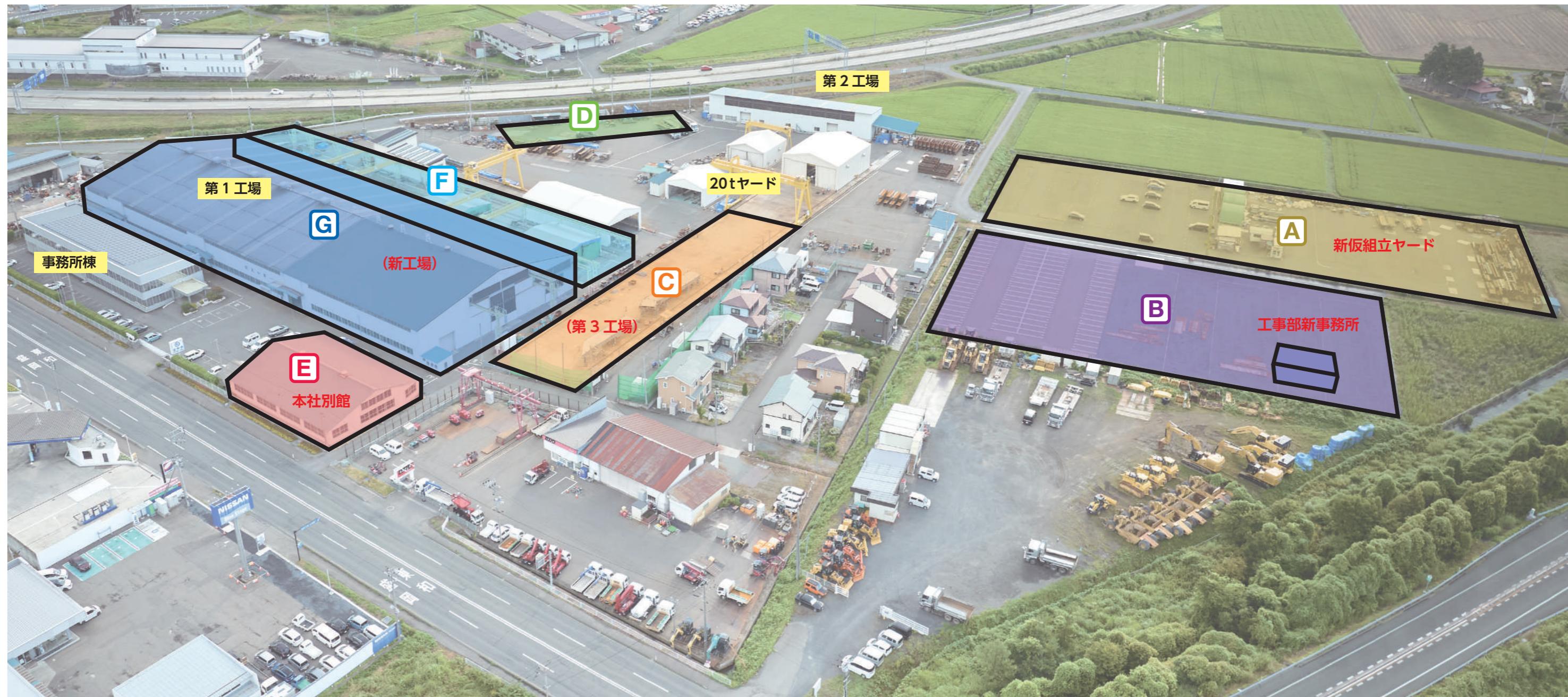
顧客満足の追求、社員関係者みなさんの物心両面のしあわせ、会社の発展、この三方良し、を実現すべく、鋼と建設の高度な技術を磨き、社会に貢献して参りましょう。今年も無事故・無災害を達成し、健康経営にしっかり取り組み、今年1年がみなさまにとって、より良い年となりますようご期待申し上げ、株式会社中央コーポレーション代表取締役の令和7年年頭のあいさつと致します。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

3. 60周年設備投資計画

第1工場建屋の老朽化対策および製造部の業務効率化、生産力UPを見据え、仮組立ヤードの新設、第3工場の新築、工事部新事務所の新築、本社別館の新築を中期的に進めて参ります。

- A 駐車場を移した後、新仮組立ヤードとする。
- B 新駐車場、工事部新事務所を新設する。
- C 40t吊りのクレーンを有する第3工場とする。
- D 移動上屋、クレーンを設置し保管ヤードとする。
- E 本社事務所別館を新設する。
- F 将来の工場建て替えに備え、先行して新工場を新設する。
- G 建築済みのFと一体化して繋げられるよう、新第1工場を新設する。



4. NETIS技術

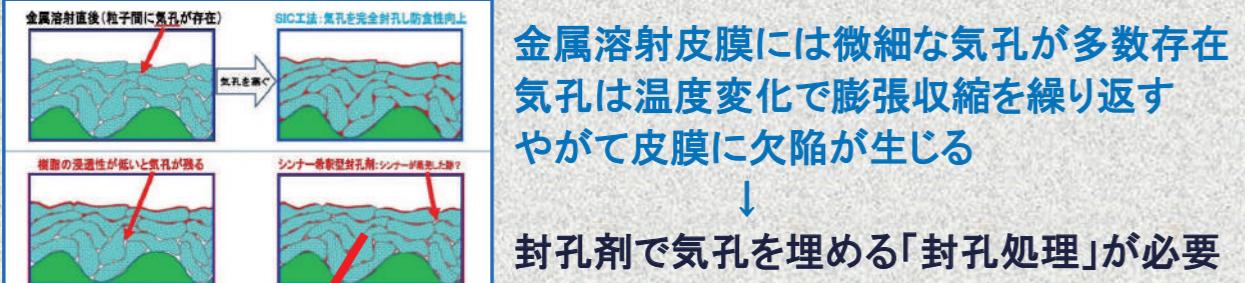
当社では橋梁、水門等の現場ニーズに応えるための技術開発に力を入れ、国土交通省が運用する「新技術情報提供システム（NETIS）」に複数の独自技術を登録しています。



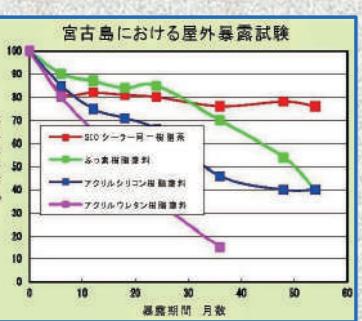
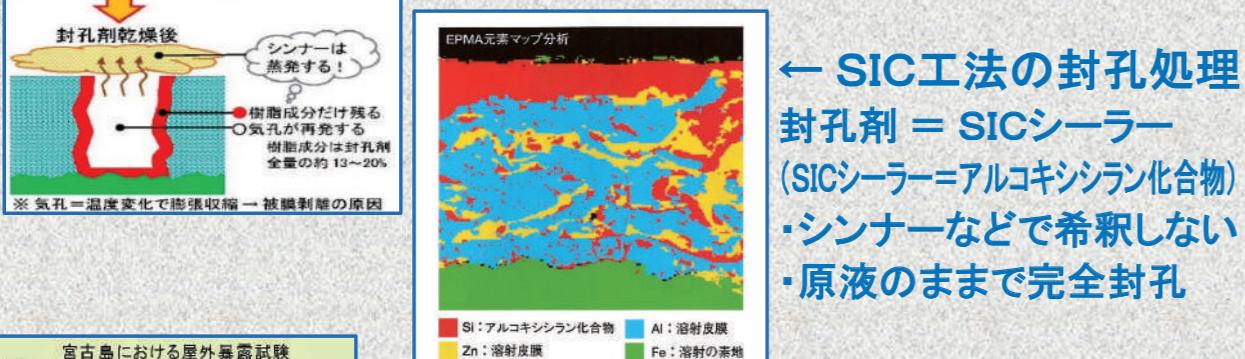
SIC工法

旧 NETIS 登録 TH-140010-VR

金属溶射皮膜を完全に封孔し、高耐候性皮膜で鋼構造物をまもる



微細な気孔を埋める封孔剤には浸透性が必要
封孔剤をシンナーで希釈して浸透性を上げると
シンナーの蒸発跡に気孔再発の懸念あり



SICシーラーは完全無機系樹脂(無溶剤1液型無機系封孔剤)
無機系樹脂は耐候性に優れる(屋外暴露試験で実証)
SICシーラーは上塗り兼用の封孔剤
封孔処理 × 上塗り = SIC工法

従来工法との比較 工程の()はSIC工法独自の表記

工程・耐久性／環境／工法		SIC工法	従来工法
工程	防食下地	金属溶射	金属溶射 鋼鉄防食被覆 泡沫塗装
	封孔処理(1次封孔処理)	SICシーラー	希釈したエポキシ樹脂
塗装部	下塗	不要	エポキシ樹脂 120 μm
	中塗	不要	ふつ素樹脂 30 μm
上塗	(2次封孔処理)	SICシーラー 40 μm	ふつ素樹脂 25 μm
	工程数	金属溶射後2工程	金属溶射後4工程
耐久性	塗装部の耐久性(厳しい環境)	従来工法と同等以上	20年
環境	VOCの含有(揮発性有機化合物)	なし	あり

株式会社 中央コーポレーション

エフサス F砂S工法

NETIS登録 CB-190010-A



タンク内で水と砂を加圧した泥化研削材による湿式ブラスト工法



水と完全に混合されたブラストメディアは、搬送中のホース内で既に粉塵が抑えられており、施工時の粉塵量は非常に少ない

完全に水に覆われたブラストメディアは跳ね返りが少なく、養生を簡易化出来る

湿式ブラストの弱点である戻り錆びを抑制し、仕上がりは乾式ブラストと同等

鋼構造物の塩分を除去し、PCBや鉛を含有した有害塗膜の除去に要求される湿潤化にも対応

仮設ヤードのない現場など
設備は4t車に積載可能

一般社団法人 FSS工法協会

気化水溶性防錆剤

NETIS登録 CB-220006-A

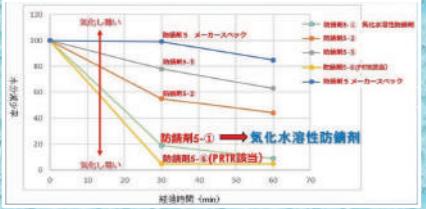


特許 第7601336号 「防錆洗浄剤、下地処理方法及び再塗装方法」
特許権者 (地独)岩手県工業技術センター、株中央コーポレーション、株TERUI、大和化成㈱

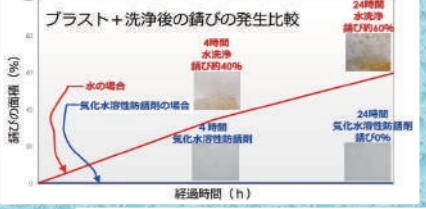
湿式プラストの課題

戻り錆びが出る → 水溶性防錆剤で対応 → 乾燥するまで塗装出来ない
→ Ans 戻り錆びを抑制して乾燥を早める F砂S工法の「気化水溶性防錆剤」

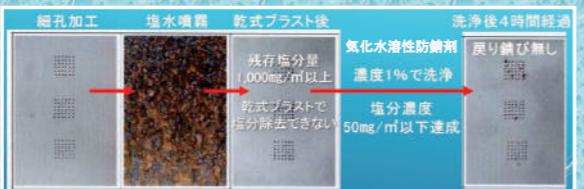
防錆剤種類	主成分	規格・安全法
防錆剤1 A社製	2-(ジエチルアミノ)エタノール	規格: PRTR法(有機)洗浄用 危険物: PRTR法(有機)洗浄用 危険物: PRTR法(有機)
防錆剤2 B社製	IPA ボリオキシエタレンジルキルエーテル	規格: PRTR法(有機)洗浄用 危険物: PRTR法(有機)
●防錆剤3 C社製	重油酸ジイソオロビルアミノヒューム	PRTR法(有機)
●防錆剤4 C社製	重油酸ナトリウム 重油酸アミン液体	PRTR法(有機) 安全性: 防錆剤
●防錆剤5 C社製	重油酸ナトリウム	PRTR法(有機) 安全性: 防錆剤



乾燥を早める改良を加え、メーカー specification の防錆剤に比べ水分揮発を大幅に向上



防錆効果は 24 時間以上(現地状況による)
ブラスト後 4 時間以内の研掃品質の確保が
可能



各皮膜との密着性(剥離なし)

塩分を除去し、戻り錆びを防止

各技術との比較

各技術(工法)の比較	新技術		従来技術	
	F砂S工法	乾式ブラスト + 気化水溶性防錆剤 で洗浄	乾式 ブラスト + 水洗浄	乾式 ブラスト のみ 塩分除去は厳しい
1. 安全性: PRTR 法対象物質非該当	○	○	○	○
2. 安全性: PCB・鉛含有塗膜除去の簡便化	○	×	×	×
3. 安全性: 粉塵の抑制	○(乾式の 5%未満)	×	×	×
4. 塩分除去性能	○	○	○	×
5. 水洗浄後の戻り錆び対策	○	○	×	—

一般社団法人 FSS工法協会

ユニット式フラップゲート

NETIS 登録 QS-230048-A

特許番号 第 7198407 号

開発主旨

近年... ゲート操作員の高齢化・建設費低減
担い手不足・予算不足

人為的操縦不要かつコストダウン

そこで... ユニット式フラップゲート

Unit = コンクリート部材 + 水門

●特徴

工場でユニット化 → 工期短縮
コストダウン

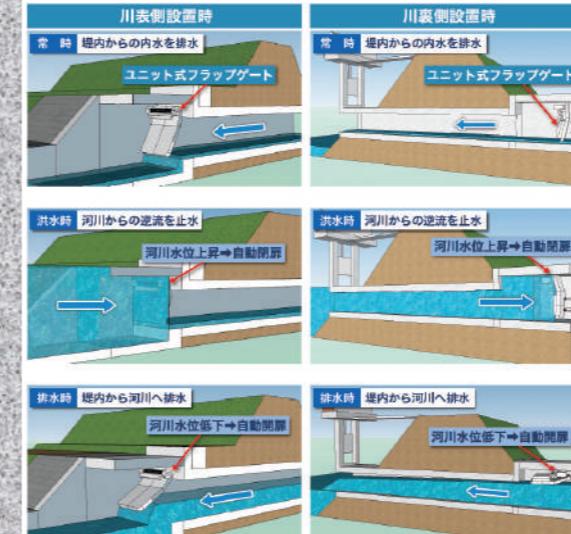
【従来】

1期工事: コンクリート
2期工事: 水門据付

【ユニット式フラップゲート】

1期工事のみで
ユニット式フラップゲート設置

ゲートの仕組み



●効果

① バランスウェイト付自由振動ゲート

- ・水位変化に対するバランス調整で自動開閉
- ・無人かつ無動力

② 水門とプレキャストカルバートの一体化

- ・工場製作後の現地搬入・据付による工期短縮
- ・既設水門・樋門、翼壁等の改築不要
(川裏設置時)

●主要構成(接続既設ボックスカルバート 1.0x1.0m 対応型)

材質(扉体)	材質(カルバート)	重量
扉体・戸当り SUS304	PCaボックスカルバート	鋼材
主軸 SUS304N2	・鉄筋 SD345	・扉体・主軸・戸当り 約 1.0t
水密ゴム (L型)	クロロブレンゴム 硬さ 50	PCaボックスカルバート 約 6.5t
【配合例】	高流动コンクリート 40-68-15N	総重量 約 7.5t

株式会社 中央コーポレーション

5. 資格者一覧

分類	資格	人数
建設業法 技術検定	技術士	1
	技術士補	4
	1級土木施工管理技士	42
	1級土木施工管理技士補	6
	2級土木施工管理技士	8
	1級建築施工管理技士	4
	2級建築施工管理技士	3
	1級管工事施工管理技士	1
	2級管工事施工管理技士	1
	1級電気工事施工管理技士	2
建築士法	2級建築士	2
職業能力開発促進法	1級鉄工技能士（構造物鉄工作業）	11
	1級鉄工技能士（製罐作業）	1
	2級鉄工技能士（構造物鉄工作業）	22
	2級型枠施工技能士	1
	1級金属熱処理技能士	1
	溶射技能士（防食溶射作業）	1
	WES特別級	1
	WES1級	4
	WES2級	10
	超音波検査・レベル1	2
WES8103・非破壊検査	超音波検査・レベル2	1
	溶剤除去性浸透探傷・レベル1	1
	コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木）	1
	アーク溶接 A-2F N-2F	28
	ステンレス溶接 CN-F CN-V TN-F MA-F	11
	半自動溶接 SA-2F SA-2FV SA-2FH SA-2FP SN-2F SN-2FH SA-3F SA-3FH SN-3F SN-3FV SN-3FO	27
	アルミニウム溶接 TN-2F MN-2F	8
	スタッフ溶接・A級	3
	JRすみ肉溶接	17
	JR工事管理者（在）	5
(社)日本鉄道施設協会	JR工事管理者（幹）	5
	無線従事者（第三級陸上特殊無線技士）	4
	（社）鉄骨技術者教育センター 建築鉄骨製品検査技術者 認定登録証	2
	溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会 溶融亜鉛めっき高力ボルト施工技術者	6
	（社）日本建築 あと施工アンカー協会 あと施工アンカー施工士・第1種	4
	あと施工アンカー施工士・第2種	2
	（社）河川ポンプ 施設技術協会 1級ポンプ施設管理技術者	1
	2級ポンプ施設管理技術者	1
	足場の組立て等の業務に係る特別教育	10
	（社）日本電気工事士 協会 第1種電気工事士	2
（社）日本測量協会	第2種電気工事士	2
	測量士補	1
	鉄骨製作管理技術者 登録機構 1級鉄骨製作管理技術者	7
	2級鉄骨製作管理技術者	4
	（社）日本溶射学会 溶射管理士（防食）	2
	（社）建設コンサルタント協会 シビルコンサルティングマネージャ（RCCM）	1
	日本パリュー・エンジニアリング協会 VEリーダー	1
	日本コンクリート工学会 コンクリート診断士 登録者	1
	コンクリート技士 登録者	2
	建設業振興基金 2級建設業経理士	7
(社)日本橋梁建設協会	（社）日本橋梁建設協会 登録橋梁基幹技能者	5

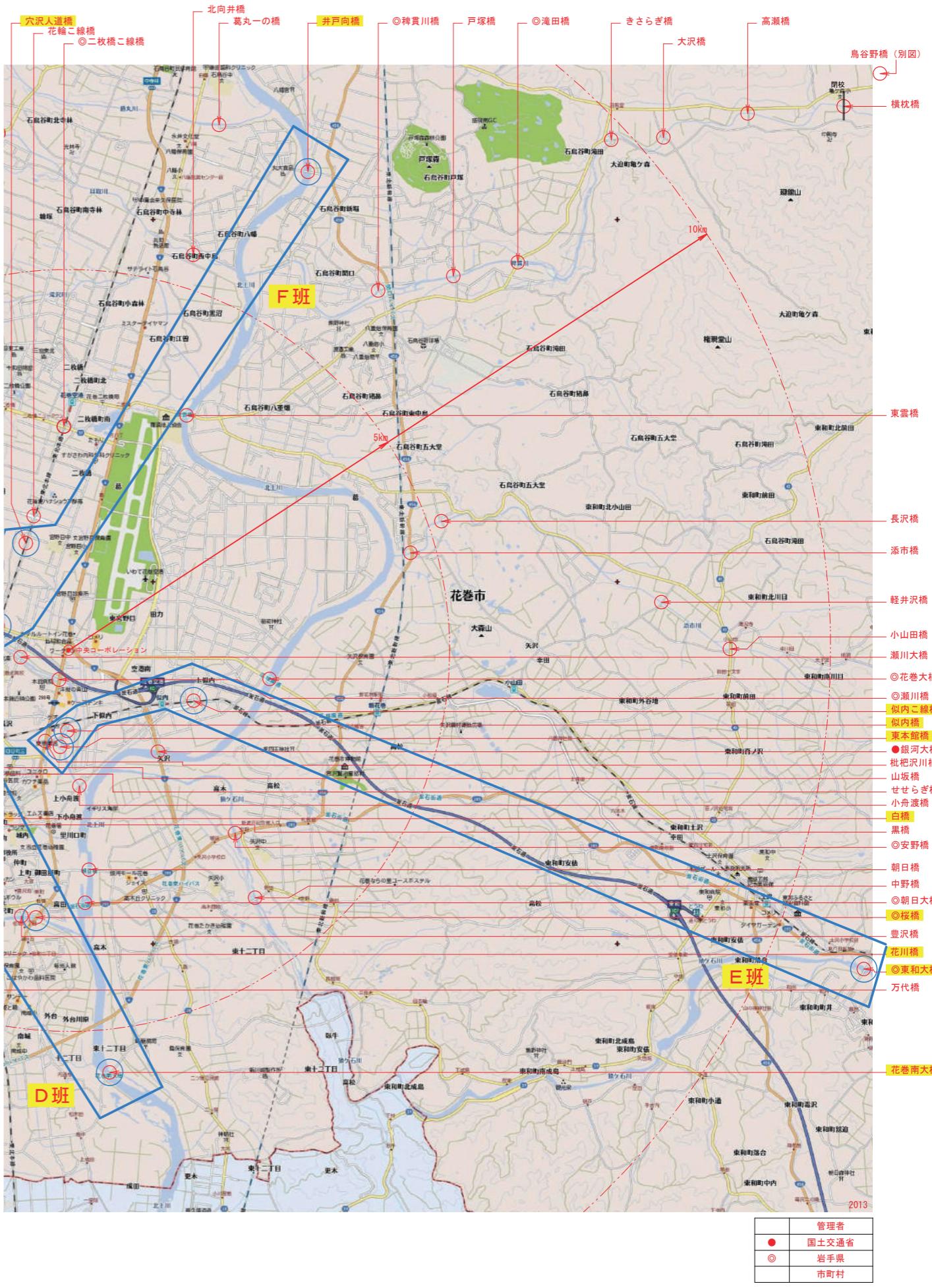
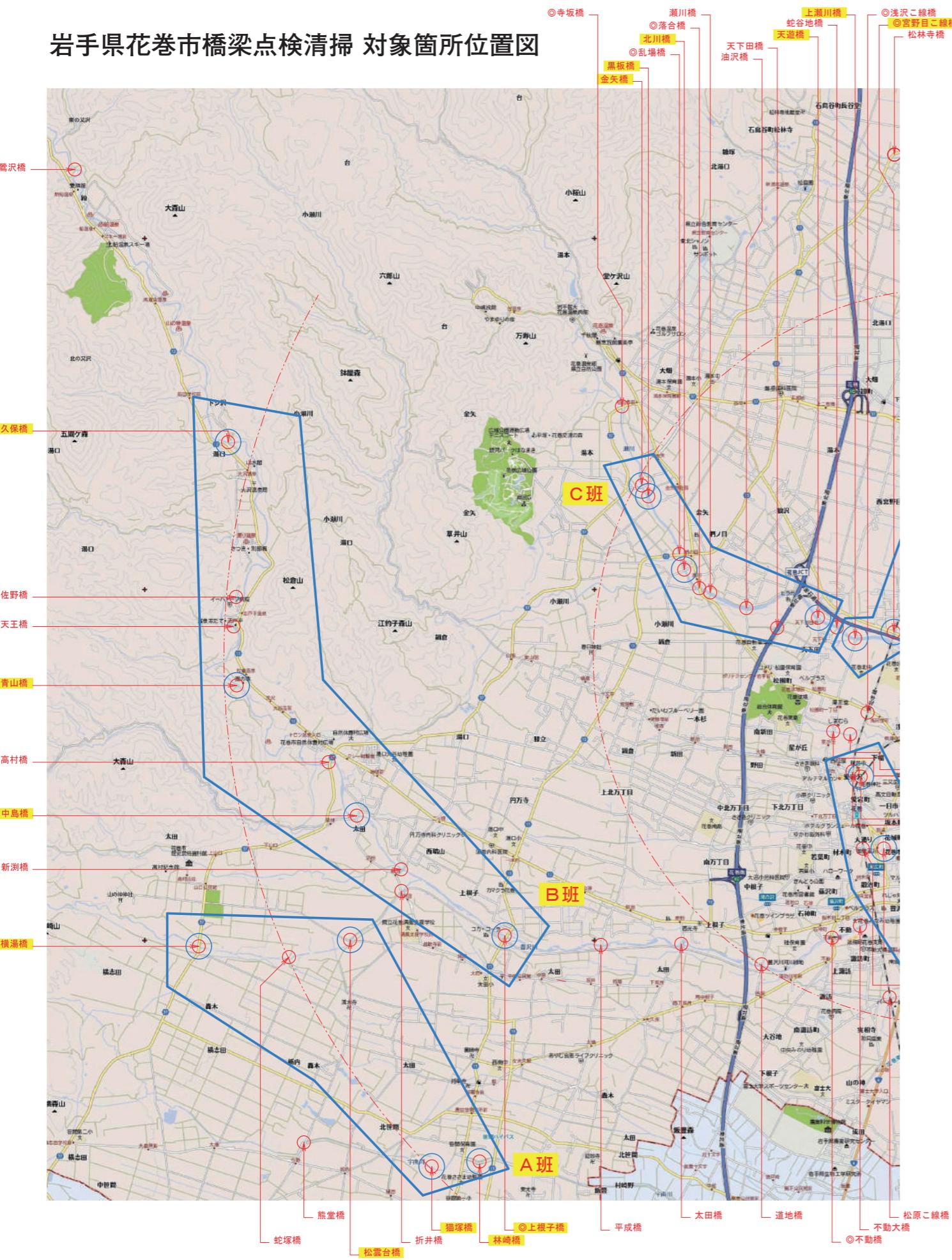
2025.11現在

6. 橋梁ボランティア

10月4日は当社の創立記念日にあたり、毎年「橋梁ボランティア」として、花巻管内の橋梁を対象に点検・清掃活動を行っています。この活動は平成13年にスタートし、今年（令和7年）で25回目を迎えます。地域インフラの維持に貢献するとともに、地域社会に根ざした当社の社会貢献活動の一つとして定着しています。

河川名 (路下条件)	橋名	管理者	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
1 豊沢川	鶯沢橋	花巻市	○		○		○		○		○		○
2 豊沢川	佐野橋	花巻市	○			○		○		○		○	
3 豊沢川	天王橋	花巻市	○		○			○		○		○	
4 豊沢川	青山橋	花巻市	○		○			○		○		○	
5 豊沢川	高村橋	花巻市	○		○			○		○		○	
6 豊沢川	中島橋	花巻市	○		○			○		○		○	
7 豊沢川	新瀬橋	花巻市			○			○		○		○	
8 豊沢川	上根子橋	岩手県			○			○		○		○	
9 豊沢川	平成橋	花巻市	○		○			○		○		○	
10 豊沢川	太田橋	花巻市			○			○		○		○	
11 豊沢川	道地橋	花巻市			○			○		○		○	
12 豊沢川	不動橋	岩手県			○			○		○		○	
13 豊沢川	不動大橋	花巻市				○			○		○		
14 豊沢川	豊沢橋	花巻市				○		○		○		○	
15 豊沢川	桜橋	岩手県							○		○		
16 豊沢川	大久保橋	花巻市						○		○		○	
2 大堰川	花川橋	花巻市							○		○		
1 寒沢川	蛇塚橋	花巻市	○		○			○		○		○	
2 寒沢川	横湯橋	花巻市				○			○		○		
3 寒沢川	松雲台橋	花巻市	○		○			○		○		○	
4 寒沢川	折居橋	花巻市			○			○		○		○	
1 宇南川	熊堂橋	花巻市	○		○			○		○		○	
2 宇南川	猫塚橋	花巻市			○			○		○		○	
3 宇南川	林崎橋	花巻市	○		○			○		○		○	
4 批杷沢川	せせらぎ橋	花巻市			○			○		○		○	
2 批杷沢川	山坂橋	花巻市			○			○		○		○	
3 批杷沢川	批杷沢川橋	花巻市				○			○		○		
1 猿ヶ石川	中野橋	花巻市				○			○		○		
2 猿ヶ石川	安野橋	岩手県			○			○		○		○	
1 北上川	朝日大橋	岩手県				○			○		○		
2 北上川	朝日橋	花巻市				○			○		○		
3 北上川	花巻大橋	岩手県					○		○		○		
4 北上川	花巻南大橋	花巻市				○		○		○		○	
5 北上川	東雲橋	花巻市			○			○		○		○	
6 北上川	銀河大橋	国交省											
7 北上川	井戸向橋	石鳥谷町			○			○		○		○	
8 1耳取川	北向井橋	石鳥谷町			○			○		○		○	
9 1葛丸川	葛丸一の橋	石鳥谷町			○			○		○		○	
2 葛丸川	松林寺橋	石鳥谷町	○		○			○		○		○	
1 添市川	軽井沢橋	花巻市	○		○			○		○		○	
2 添市川	添市橋	花巻市	○		○			○		○		○	
3 添市川	小山田橋	花巻市	○		○			○		○		○	
4 添市川	長沢橋	花巻市			○			○		○		○	
11 1猿ヶ石川	東和大橋	岩手県						○		○		○	
1 瀬川	寺坂橋	岩手県						○		○		○	
2 瀬川	金矢橋	花巻市			○			○		○		○	
3 瀬川	黒板橋	花巻市	○		○			○		○		○	
4 瀬川	乱場橋	岩手県				○			○		○		
5 瀬川	北川橋	花巻市	○		○			○		○		○	
6 瀬川	落合橋	岩手県				○			○		○		
7 瀬川	瀬川橋	花巻市			○			○		○		○	
8 瀬川	油沢橋	花巻市			○			○		○		○	
9 瀬川	天遊橋	花巻市			○			○		○		○	
10 瀬川	上瀬川橋	花巻市				○			○		○		
11 瀬川	瀬川橋	岩手県						○		○		○	
12 瀬川	似内橋												

岩手県花巻市橋梁点検清掃 対象箇所位置図



7. 共濟會活動10年史

共済会は、社員全員を会員として会員相互の親睦を深めるとともに、職場の融和・福利厚生の充実を目的に、毎年行われる新入社員歓迎会や暑気払い・忘年会などの交流会の主催、社員旅行の企画、慶弔金の給付等の活動を行っています。

共済会役員在任期間一覧及び活動内容

年度	共済会役員		日付	活動内容	場所	参加者
2016 (平成28)年 ～ 2017 (平成29)年	会長	佐々木 規義	4月15日	新入社員歓迎会	新亀家	新入社員3名 総勢68名にて開催
	副会長	似内 俊介	7月15日	暑気払い	ホテル花巻	総勢73名にて開催
	監査	近藤 治二	12月22日	大忘年会	愛隣館	総勢75名にて開催
	会計	菅野朱弓実	4月22日	新入社員歓迎会	金婚亭	新入社員4名 総勢59名にて開催
	幹事	及川 健太	8月5日	暑気払い	グランシェール花巻	総勢57名にて開催
		大沼 知義	12月28日	大忘年会	志戸平	総勢81名にて開催
2018 (平成30)年 ～ 2019 (令和元)年	会長	三浦 正人	4月27日	新入社員歓迎会	金婚亭	新入社員4名 総勢62名にて開催
	副会長	菊池 淳哉	8月10日	暑気払い	グランシェール花巻	総勢62名にて開催
	監査	田中 仁	12月28日	大忘年会	渡り温泉	総勢69名にて開催
	会計	中津山雅恵	4月26日	新入社員歓迎会	新亀家	新入社員7名 総勢64名にて開催
	幹事	岩渕 学	8月10日	暑気払い	ホテル花城	総勢54名にて開催
		菊池 広晶	11月23.24日	社員旅行 ☆ピックアップ☆	宮城～福島	総勢22名にて開催
		高館 和弥	12月28日	大忘年会	ホテル千秋閣	総勢76名にて開催
2020 (令和2)年 ～ 2021 (令和3)年	会長	高橋 孝典	7月22日	暑気払い	グランシェール花巻	総勢55名にて開催
	副会長	菊池 利隆	※コロナウィルス感染症対策の為、新入社員歓迎会と忘年会は開催せず			
	監査	照井 斎				
	会計	佐々木玉恵	4月28日	新入社員歓迎会	焼肉ヤマト	新入社員5名 総勢22名にて小規模開催
	幹事	阿部 悟志	砂子田 晶	12月～1月	部署毎忘年会	部署毎
		及川 雅玄		※コロナウィルス感染症対策の為、暑気払いは開催せず		
2022 (令和4)年 ～ 2023 (令和5)年	会長	藤原 悟	4月28日	新入社員歓迎会	焼肉ヤマト	新入社員5名 総勢25名にて小規模開催
	副会長	白澤 洋	12月	6グループに 分かれて忘年会	グループ毎	総勢48名
	監査	佐藤 真宏	※コロナウィルス感染症対策の為、暑気払いは開催せず			
	会計	小野寺司樹	4月28日	新入社員歓迎会	グランシェール花巻	新入社員9名 総勢62名にて開催
	幹事	佐々木歩美	菅原 徹	7月28日	暑気払い	新亀家
		堀江 哲雄	類家 一樹	12月	6グループに 分かれて忘年会	グループ毎
						総勢44名にて開催
						総勢115名
2024 (令和6)年 ～ 2025 (令和7)年	会長	福地 啓樹	4月19日	新入社員歓迎会	グランシェール花巻	新入社員4名 総勢68名にて開催
	副会長	井手 寛幸	7月26日	暑気払い	新亀家	総勢44名にて開催
	監査	長洞 彰	12月20日	大忘年会	マルカン大食堂	総勢82名にて開催
	会計	鈴木 裕太	4月25日	新入社員歓迎会	グランシェール花巻	新入社員6名 総勢75名にて開催
	幹事	及川 智子	玉城 宏二	7月11日	暑気払い	新亀家
		寺嶋 孝子	藤原 裕城	12月	大忘年会開催予定	—
						—

☆ピックアップ☆

平成 27 年に 50 周年記念行事として開催された社員旅行以来、平成 31 年 1 月に約 4 年ぶりに社員旅行を開催︕︕ 社員旅行へ行きたいとの声を基に参加人数 21 名とやや少なめではありましたが「宮城～福島方面 1 泊 2 日」のバス旅行へ行って参りました。

日付	行程	宿泊・備考
① 11/23 (土)	<p>☆ジンギスカンランチ & 飲み放題つき☆</p> <p>【集合】会社前——花巻駅(西口)——長者原SA(休憩)——サッポロビール仙台ビール園名取本館(昼食) 7:50 8:00 11:00 12:15</p> <p>☆日本三稲荷のひとつ☆</p> <p>——竹駒神社(参拝)——あぶくま洞(入場観光)——ご宿泊先 12:50 13:20 15:30 16:30 17:20頃</p>	<p>【磐梯熱海温泉】</p> <p>四季彩 一力</p> <p>* 1泊2食つき * 和室5名利用</p>
② 11/24 (日)	<p>ご宿泊先——鶴ヶ城(見学)——ながめの宿 光雲閣(昼食) 9:00 10:00 11:30 12:40 13:40</p> <p>——国見SA(休憩・買い物)——花巻駅(西口)——会社前【解散】 17:30頃 17:40頃</p>	



【日本三稻荷 竹駒神社】



【サッポロビール 仙台ビール園】



【磐梯熱海溫泉 四季彩一力】



【会津若松 鶴ヶ城】



【ながめの宿 光雲閣】



【あぶくま洞】

8. 会社年表及び沿革

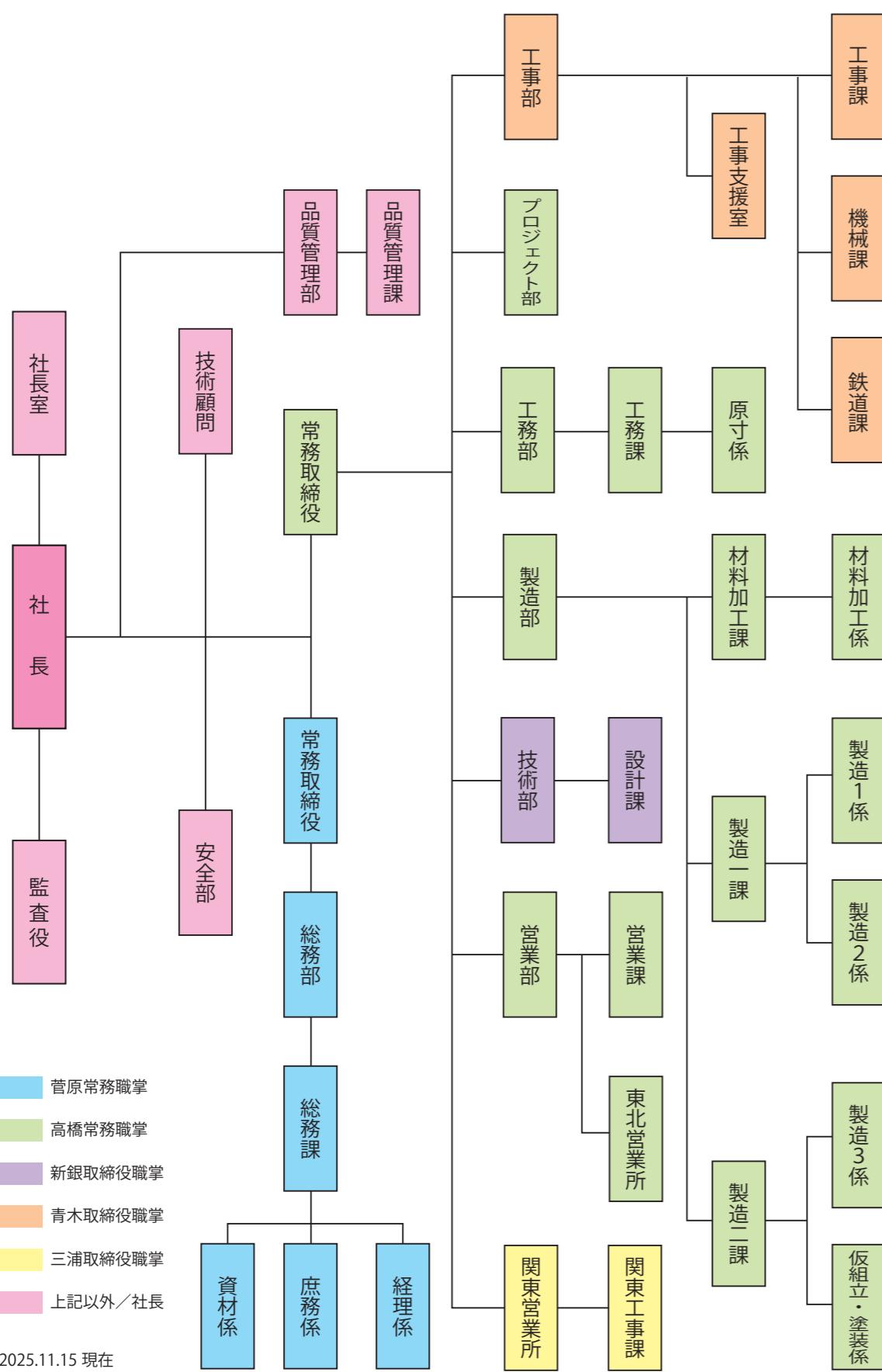
会社略年表

西暦	和暦	出来事
1905	明治38年	この頃、高橋常吉が高常組製作所として営業開始
1932	昭和7年	高橋吉助が函館にて木型製造業開始
1940	昭和15年	有限会社花巻鉄工所設立
1949	昭和24年	有限会社花巻鉄工所閉鎖
1951	昭和26年	高橋吉助が中央製作所として個人創業
1965	昭和40年	株式会社中央製作所設立。初代社長高橋吉助就任 資本金250万円
1967	昭和42年	本社及び工場を花巻市東宮野目に移転
1970	昭和45年	資本金600万円に増資
1973	昭和48年	石油油脂販売業を開始し、宮野目給油所開設。資本金1000万円に増資
1975	昭和50年	第2代社長佐々木郁夫就任。中央製作所、中央建設工業、中央石油3社に分社
1977	昭和52年	資本金2000万円に増資
1982	昭和57年	中央石油花巻IC給油所を開設
1984	昭和59年	資本金3000万円に増資
1991	平成3年	資本金5000万円に増資
1994	平成6年	東京中小企業投資育成株式会社の資本参加を得て、資本金8000万円に増資
1996	平成8年	JR東すみ肉溶接技量認定を初取得
1998	平成10年	ISO9002認証取得
2000	平成12年	ISO9001認証取得。青森営業所開設
2001	平成13年	ISO14001認証取得
2002	平成14年	第3代社長佐々木史昭就任
2003	平成15年	中央製作所、中央建設工業を合併し、株式会社中央コーポレーション発足、資本金9000万円に増資
2005	平成17年	青森営業所廃止、仙台へ東北営業所開設
2009	平成21年	第2工場稼働開始
2010	平成22年	第1回私募債発行
2011	平成23年	中期設備投資計画(H22-24)で、中間市道取得敷地一体化化
2013	平成25年	岩手県代表として全国溶接技術競技会へ初出場
2015	平成27年	創立50周年記念事業実施。「金属溶射SIC工法」NETIS登録
2017	平成29年	工事部の西塚保さんが「瑞宝単光章」を受賞
2018	平成30年	20tクレーンヤードに移動上屋を新設
2019	令和1年	関東営業所開設
2020	令和2年	世界的なコロナ禍で緊急事態宣言が出され、当社でも新型コロナウイルス感染防止基本方針を策定
2021	令和3年	当社オリジナル出来高管理システム「CDS」の導入 経済産業省ならび日本健康会議より「健康経営優良法人2021(中小規模法人部門)」に初認定
2022	令和4年	ユニオン建設より、在来線エリア土木設備修繕工事に対して感謝状受賞 藤の巻橋が岩手県優良工事表彰受賞 一関地区歩道橋が岩手河川国道事務所優秀工事表彰受賞 仙建工業より、福島県沖地震による土木構造物の応急復旧工事に対して感謝状受賞
2023	令和5年	特許取得した「F砂S工法」「気化水溶性防錆剤」がリエゾン最高賞受賞 経済産業省ならび日本健康会議より「健康経営優良法人2023(中小規模法人部門(ライト500))」に初認定 岩手県環境生活部より「いわて女性活躍認定企業等(ステップ2)」に初認定 ユニオン建設より、2022年度の様々な工事に対して感謝状受賞 ユニオン建設より、安全衛生・管理に対して感謝状受賞 2階応接室2部屋の改修工事を行い、会議室を増設 経費精算システム「楽楽精算」の導入
2024	令和6年	当社オリジナル作業日報フォーム「CNF」の導入 増員に伴い関東営業所をさいたま市内にて移転 白鷺橋にて東京都第五建設事務所長より優良工事表彰受彰 83号橋にて神奈川県厚木市木事務所より優良工事表彰受彰 未来図書館より、パートナー企業として感謝状受賞 ユニオン建設より、安全管理・品質に対して感謝状受賞 厚生労働省より、公正労働統計調査の協力に対して感謝状受賞 社員共有娛樂室と女子更衣室の改修工事を行い、女子更衣室の移動と女子トイレを新設
2025	令和7年	岩手県労働局より「ユースエール」に初認定 見積り、発注書、請求書のシステム化「キントーン」の導入 花巻市長より、消防団協力事業所に対して感謝状受賞 大船渡市で発生した林野火災に対して義援金100万円を寄付 ユニオン建設より、安全管理・品質に対して感謝状受賞 創立60周年記念事業実施

この10年の歩み (平成28年~令和7年)

西暦	和暦	出来事
2016	平成28年	JR東日本相模線社家厚木間跨道橋新設工レメントにて「SIC工法」を初採用
		台風10号の影響により久慈管内橋梁補修工事現場が被災
		敷地拡張計画その2によりヤード拡張し敷地総面積が36,529m ² となる
		ユニオン建設より、前沢南ご線橋工事に対して感謝状受賞
		ユニオン建設より、安全成績に対して感謝状受賞
		顧問の高木錦郎さんが「伊藤学賞」を受賞
		NCプラズマ切断機を更新
2017	平成29年	すみ肉溶接技量試験合格者18名 平均年齢30.8才
		厚生労働省より「若者応援宣言企業」に初認定
		花巻商工会議所より「優秀モデル企業」受賞
2018	平成30年	技術部にドローンを導入
		20tクレーンヤードに移動上屋を新設
		勤怠管理システム「ミナジン」を導入

9. 組織図



10. 役員在任期間一覧

		5月 株式会社中央コーポレーション発足													平成													令和										
		和暦	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7													
役職		氏名	創立後社歴													38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
取締役	山藤 光男	常務取締役	株式会社中央コーポレーション													専務取締役																						
代取締役	佐々木 史昭	代表取締役社長																											監査役									
取締役	菅原 博	取締役	常務取締役																										専務取締役									
監査役	佐々木 啓子	監査役														監査役																						
取締役	高橋 善美	取締役																																				
取締役	藤原 正克	取締役													監査役																							
監査役	小石川 洋	監査役																																				
取締役	伊藤 誠	取締役																																				
取締役	新銀 武	取締役													取締役																							
取締役	福田 晴文														取締役																							
取締役	青木 彰人														取締役																							
取締役	菅原 克彦														常務取締役																							
取締役	高橋 孝典														取締役																							
取締役	三浦 正人																											取締役										
		西暦													2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015													2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025										

令和6年度 旧役員体制集合写真



令和7年度 新役員体制集合写真



常務取締役
菅原 克彦



代表取締役社長
佐々木 史昭



常務取締役
高橋 孝典



監査役
菅原 博



取締役 技術部長
新銀 武



取締役 工事部長
青木 彰人



取締役 関東営業所所長
三浦 正人



監査役
藤原 正克
(令和7年度退任)

11. 全体写真・部署別写真

全体写真



製造部



製造一課



製造二課



工事部



材料加工課



工事支援室



工事課



鉄道課



機械課



技術部



総務部



品質管理部



工務部



プロジェクト部





関東営業所

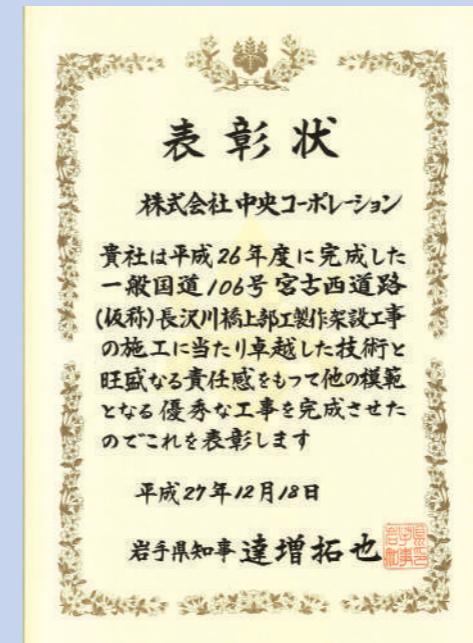


関東工事課

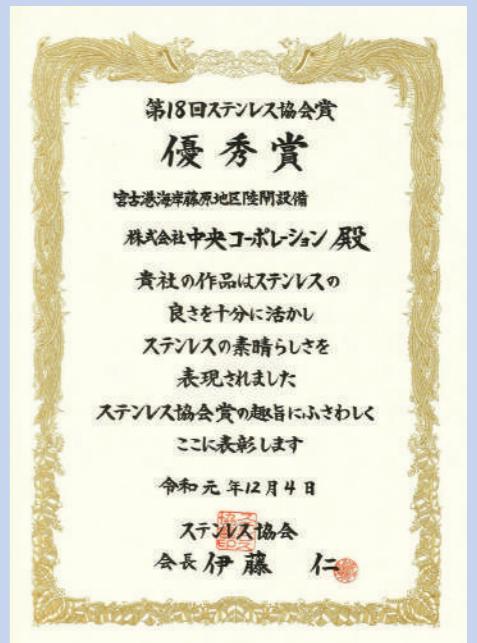


12. 表彰状・感謝状一覧

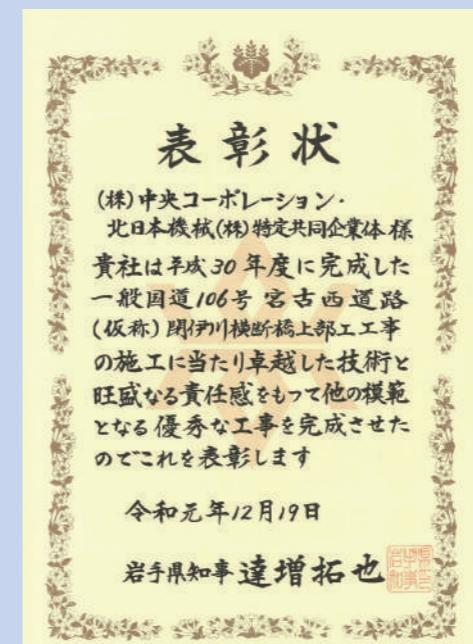
〈1〉表彰状(会社)



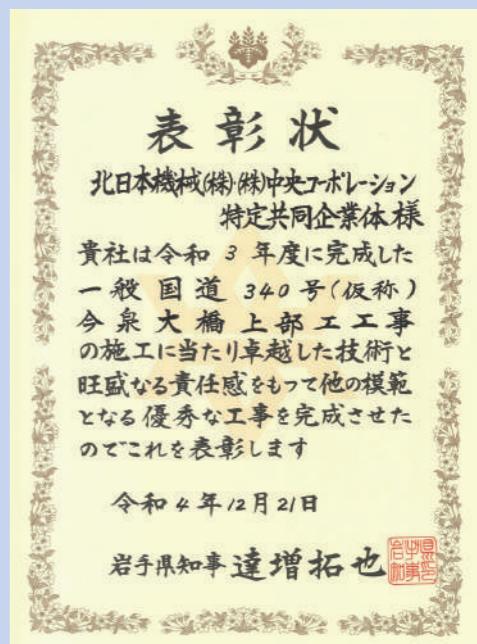
受賞年：平成27年12月18日
表彰者：岩手県知事
表彰名：長沢川橋 優良県営建設工事表彰



受賞年：令和元年12月4日
表彰者：ステンレス協会会長
表彰名：宮古藤原陸閘 ステンレス協会賞優秀賞

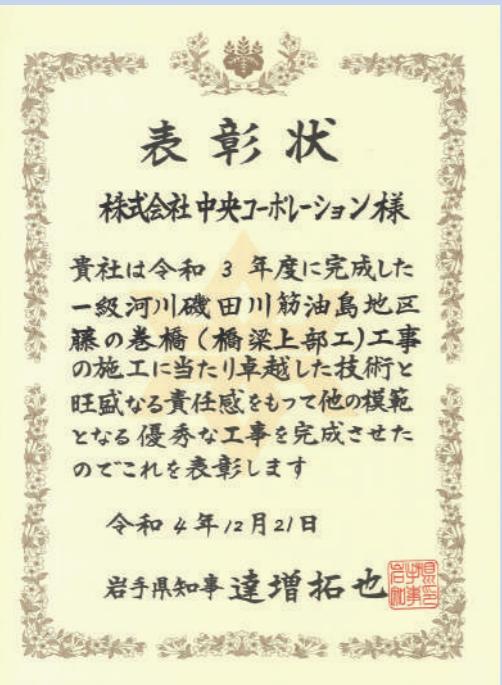


受賞年：令和元年12月19日
表彰者：岩手県知事
表彰名：閉伊川横断橋 優良県営建設工事表彰
その他：中央コーポレーション・
北日本機械(株)特定JV

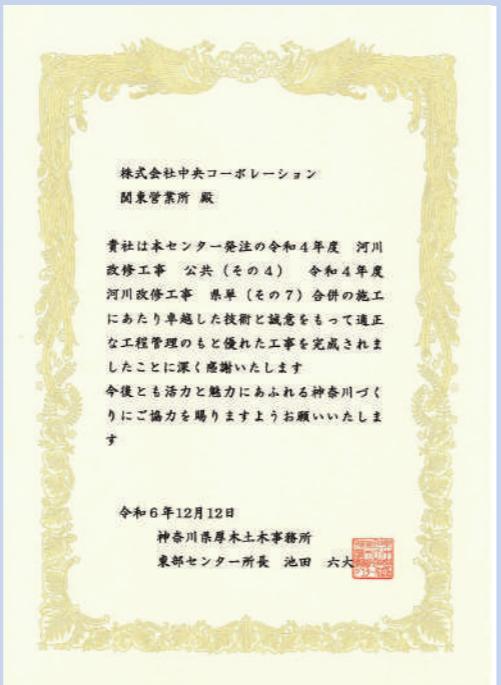


受賞年：令和4年12月21日
表彰者：岩手県知事
表彰名：今泉大橋 優良県営建設工事表彰
その他：北日本機械(株)・
中央コーポレーション特定JV

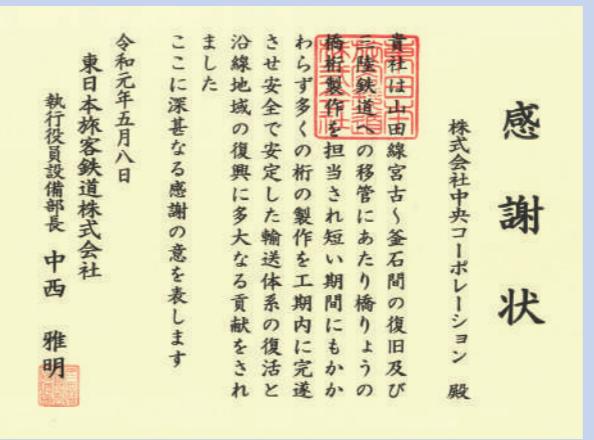
〈2〉感謝状(会社)



受賞年：令和4年12月21日
表彰者：岩手県知事
表彰名：藤の巻橋 優良県営建設工事表彰



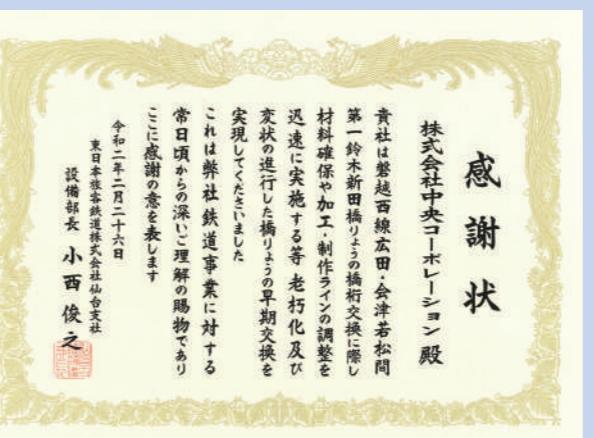
受賞年：令和6年12月12日
表彰者：神奈川県厚木土木事務所
東部センター所長
表彰名：83号橋 工事表彰



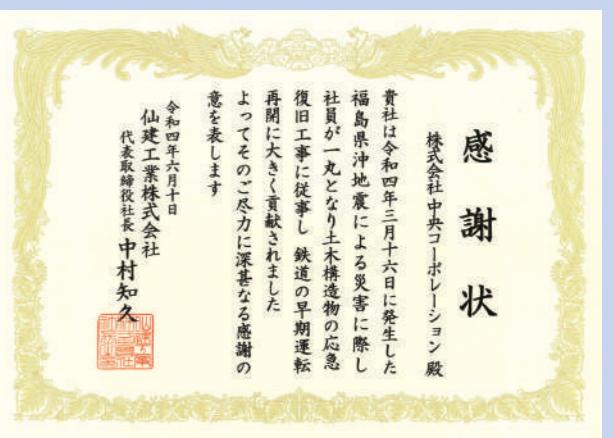
受賞年：令和元年5月8日
表彰者：東日本旅客鉄道(株) 執行役員設備部長
表彰名：山田線宮古～釜石間 三陸鉄道桁製作



受賞年：令和元年7月5日
表彰者：岩手県釜石市
表彰名：東日本大震災復旧復興に対して



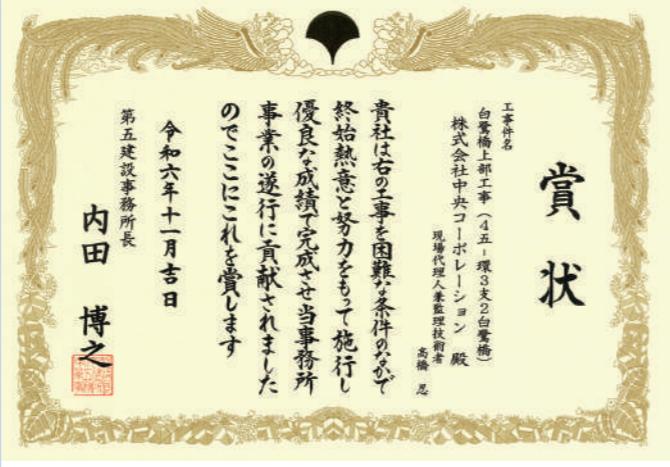
受賞年：令和2年2月26日
表彰者：東日本旅客鉄道(株)仙台支社 設備部長
表彰名：磐越西線広田～会津若松間 第一鈴木新田橋梁



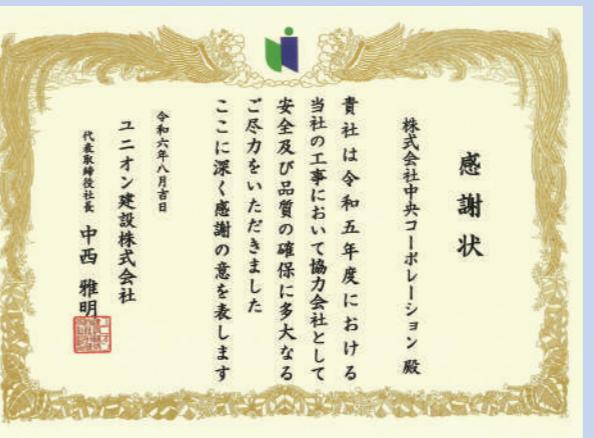
受賞年：令和4年6月10日
表彰者：仙建工業(株) 代表取締役社長
表彰名：福島沖地震応急復旧工事に対して



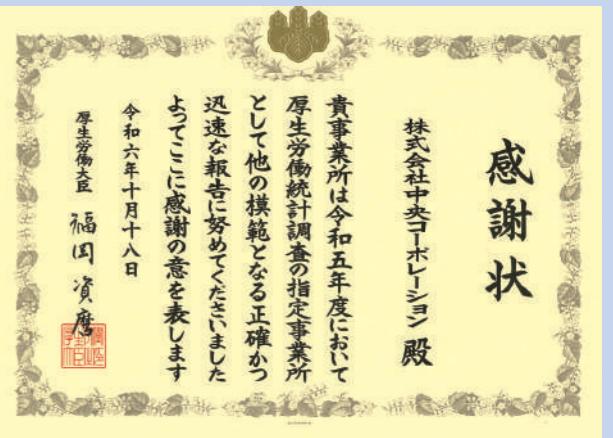
受賞年：令和4年7月28日
表彰者：東北地方整備局 岩手河川国道事務所所長
表彰名：一関地区歩道橋 優秀工事表彰 (似内俊介)



受賞年：令和6年11月吉日
表彰者：東京都第五建設事務所所長
表彰名：白鷺橋 優良工事表彰 (高橋忍)



受賞年：令和6年8月吉日
表彰者：ユニオン建設(株) 代表取締役社長
表彰名：令和5年度施工工事全般に対して

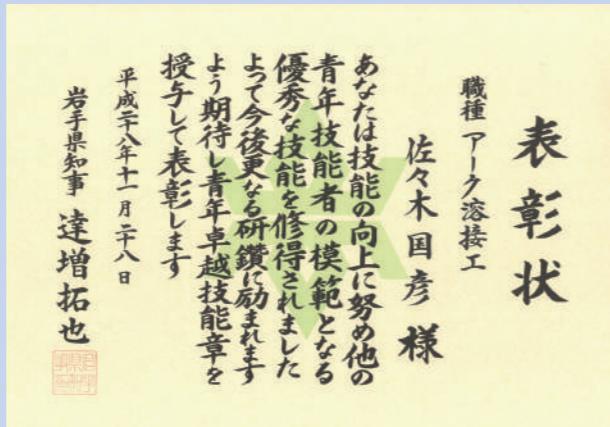


受賞年：令和6年10月18日
表彰者：厚生労働大臣
表彰名：厚生労働統計調査に対して

〈3〉表彰状(個人)



受賞年：平成28年6月21日
表彰者：建設業協会会長 / 土木施工管理技士会会長
表彰名：優良県営建設工事担当技術者（日下徹）



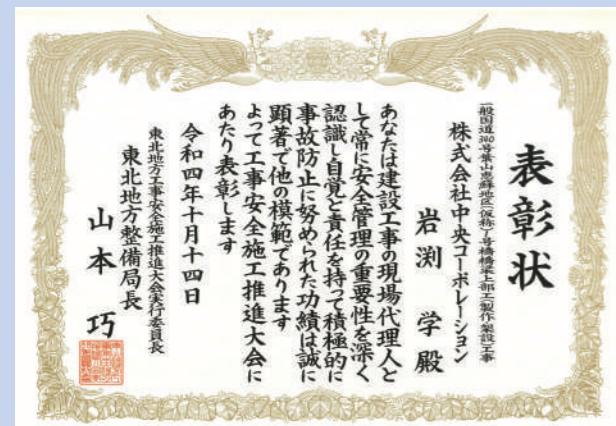
受賞年：平成28年11月28日
表彰者：岩手県知事
表彰名：アーク溶接工 青年卓越技能（佐々木国彦）



受賞年：平成29年11月3日
表彰者：内閣総理大臣 及び 内閣府賞勲局長
表彰名：瑞宝単光章（専門工事事務功労）
(中：西塚保)



受賞年：令和2年10月9日
表彰者：国土交通大臣
表彰名：優秀施工者（菊池淳哉）

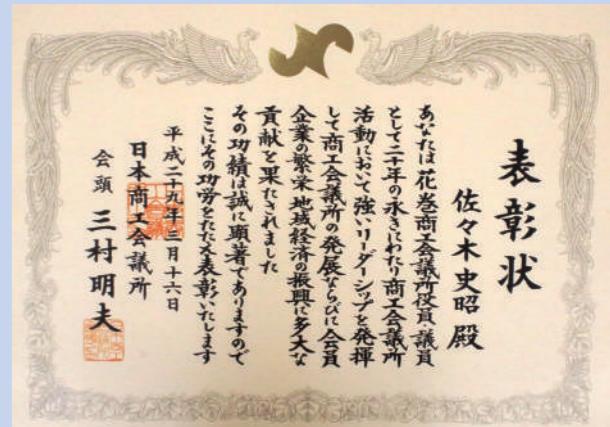


受賞年：令和4年7月14日
表彰者：国土交通省 東北地方整備局長
表彰名：葉山恵蘇地区1号橋 SAFETY2022
(岩渕学)

〈4〉表彰状・感謝状(社長)



受賞年：平成27年3月5日
表彰者：岩手県鉄構工業協同組合
表彰名：創立40周年記念 同組合役員に対して
(佐々木史昭)



受賞年：平成29年3月16日
表彰者：日本商工会議所
表彰名：花巻商工会議所役員議員に対して
(佐々木史昭)



受賞年：平成29年6月8日
表彰者：岩手県商工会議所連合会
表彰名：花巻商工会議所役員議員に対して
(佐々木史昭)



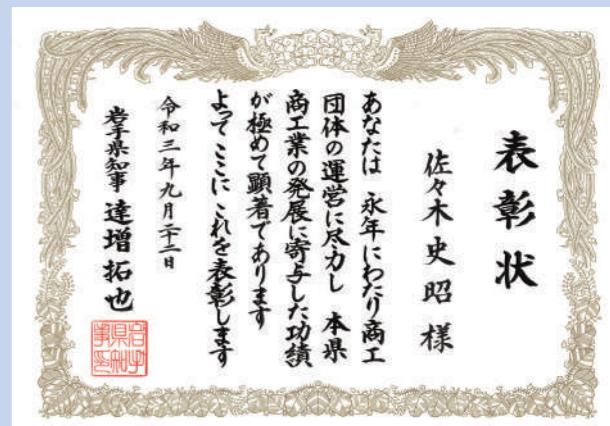
受賞年：平成29年7月3日
表彰者：東北六県商工会議所連合会
表彰名：花巻商工会議所役員議員に対して
(佐々木史昭)



受賞年：令和7年10月28日
表彰者：国土交通大臣
表彰名：優秀施工者（石森裕浩）



受賞年：令和元年2月20日
表彰者：岩手県鉄構工業協同組合青年部
表彰名：同組合第六代会長として感謝状
(右：佐々木史昭)



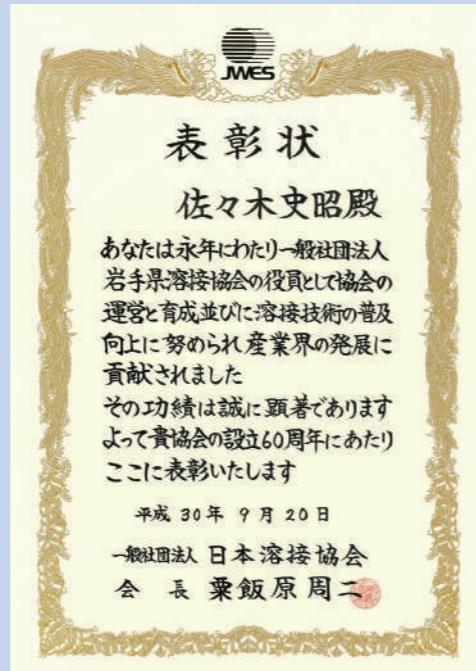
受賞年：令和3年9月22日
表彰者：岩手県知事
表彰名：岩手県鉄構工業協同組合理事長に対して
岩手県商工観光業（岩手県知事）表彰
(佐々木史昭)



受賞年：令和5年8月9日

表彰者：花巻市長

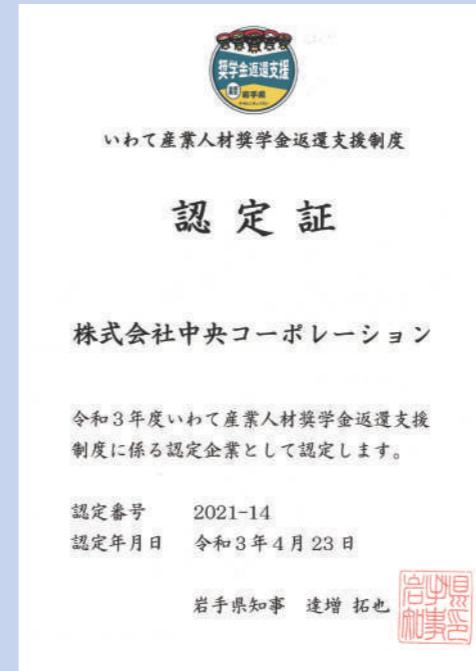
表彰名：公益財団法人花巻国際交流協会理事長に対して
花巻市活力あるまちづくり表彰（佐々木史昭）



受賞年：平成30年9月20日

表彰者：日本接客協会

認定名：岩手県接客協会役員に対して
(佐々木史昭)



受賞年：令和3年4月23日

表彰者：岩手県知事

認定名：いわて産業人材奨学金返還支援
制度 初認定
※以後令和7年度まで毎年認定



受賞年：令和3年3月8日

表彰者：日本健康会議

認定名：健康経営優良法人（中小部門）
プライム500 初認定
※以後令和7年度まで毎年認定

〈5〉認定証



受賞年：平成29年12月22日

表彰者：経済産業大臣

認定名：地域未来牽引企業



受賞年：令和2年4月1日

表彰者：岩手県知事

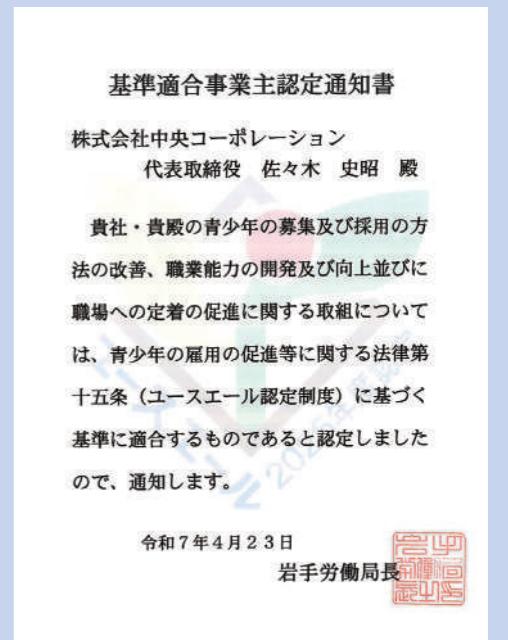
認定名：いわて健康経営事業所 初認定
※以後令和7年度まで毎年認定



受賞年：令和5年10月12日

表彰者：岩手県知事

認定名：いわて女性活躍認定企業
ステップ2 初認定



受賞年：令和7年4月23日

表彰者：岩手労働局長

認定名：ユースエール 初認定

〈6〉その他の表彰状・感謝状

表彰状(会社)

No.	受賞年	表彰者	表彰内容
1	令和元年12月4日	株式会社 産業新聞	ステンレス協会記念 産業新聞社賞
2	令和2年3月30日	ユニオン建設 株式会社 盛岡土木出張所	令和元年度における施工工事全般への貢献に対して
3	令和2年11月27日	花巻市交通安全対策協議会	花巻市交通安全コンクール「チャレンジ100」 特別協力事業所賞
4	令和2年11月27日	花巻市交通安全対策協議会/花巻市警察	花巻市交通安全コンクール「チャレンジ100」 優良事業所賞

感謝状(会社)

No.	受賞年	表彰者	表彰内容
1	平成28年3月1日	ユニオン建設株式会社	前沢南ご線橋補修工事に対して
2	平成28年4月4日	ユニオン建設株式会社	安全成績累計1万点達成
3	平成28年8月2日	太田橋完成祝賀行事実行委員会	太田橋の施工における地域貢献と協賛に対して
4	平成30年8月27日	豊沢橋完成記念事業実行委員会	豊沢橋の施工における地域貢献と協賛に対して
5	平成31年3月26日	ユニオン建設株式会社	十文字ご線橋(人)撤去工事に対して
6	平成31年4月1日	岩手県知事	奨学金返還支援事業に対し寄付
7	令和2年8月21日	ユニオン建設株式会社	安全成績累計1万点達成
8	令和2年9月4日	豊沢川土地改良区	長年のアドバクト活動協力に対して
9	令和3年3月11日	ユニオン建設株式会社	盛岡在来線土木設備修繕工事に対して
10	令和3年5月吉日	ユニオン建設株式会社	令和2年度工事における安全と品質に対して
11	令和5年6月吉日	ユニオン建設株式会社	令和4年度工事における安全と品質に対して
12	令和5年7月3日	ユニオン建設株式会社	安全管理において優秀な成績を収めた
13	令和6年3月8日	特定非営利活動法人 未来図書館	未来図書館パートナー企業賞
14	令和7年1月12日	花巻市長	消防団協力事業所に対して
15	令和7年8月吉日	ユニオン建設株式会社	令和6年度工事における安全と品質に対して

表彰状(個人)

No.	受賞年	表彰者	表彰内容	受賞者名
1	令和元年6月17日	岩手県知事	優秀建設施工者	菊池 淳哉
2	令和2年11月19日	建設業協会 / 土木施工管理技士会	優良県営建設工事担当技術者	日下 徹
3	令和5年6月15日	建設業協会 / 土木施工管理技士会	優良県営建設工事担当技術者	石森 裕浩
4	令和5年6月15日	建設業協会 / 土木施工管理技士会	優良県営建設工事担当技術者	田中 仁

表彰状・感謝状(個人・その他)

No.	受賞年	表彰者	表彰内容	受賞者名
1	令和元年6月7日	岩手県危険物安全協会連合会	運営協力と発展に寄与	佐々木 史昭
2	令和2年9月18日	ユニオン建設株式会社	職務に精励し発展に貢献	照井 齊
3	令和3年8月7日	花巻北高等学校 桜雲同窓会	国際交流事業寄付	佐々木 史昭
4	令和6年12月12日	神奈川県厚木土木事務所 東部センター	適性な工程管理のもと優れた工事を完成させたことにより	田中 仁

認定証

No.	受賞年	表彰者	表彰内容
1	平成29年2月15日	厚生労働省岩手労働局	若者応援宣言企業 初認定
2	令和2年10月13日	岩手県知事	いわて女性活躍認定企業ステップ1 初認定
3	令和3年3月4日	日本健康会議	健康経営優良法人2021(中小部門) 初認定
4	令和3年4月1日	岩手県知事	いわて健康経営事業所(2回目)
5	令和4年3月9日	日本健康会議	健康経営優良法人2022(中小部門)(2回目)
6	令和4年4月吉日	岩手県知事	いわて産業人材奨学金返還支援制度(2回目)
7	令和4年4月1日	岩手県知事	いわて健康経営事業所(3回目)
8	令和5年2月27日	株式会社岩手銀行/株式会社北日本銀行	第20回リエゾンI研究開発事業化育成(F砂S工法)
9	令和5年4月1日	岩手県知事	いわて健康経営事業所(4回目)
10	令和6年4月吉日	岩手県知事	いわて産業人材奨学金返還支援制度(3回目)
11	令和6年3月11日	日本健康会議	健康経営優良法人2024(中小部門) ブライト500(2回目)
12	令和7年4月吉日	岩手県知事	いわて産業人材奨学金返還支援制度(4回目)
13	令和7年3月10日	日本健康会議	健康経営優良法人2025(中小部門) ブライト500(3回目)

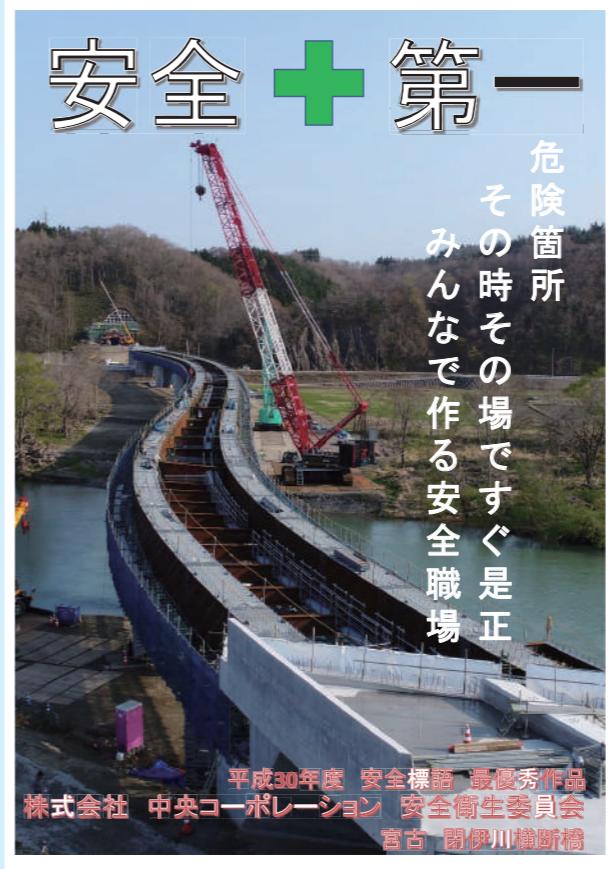
13. 社内安全ポスター&標語コンテスト



平成28年度



平成29年度



平成30年度



令和元年度



令和2年度



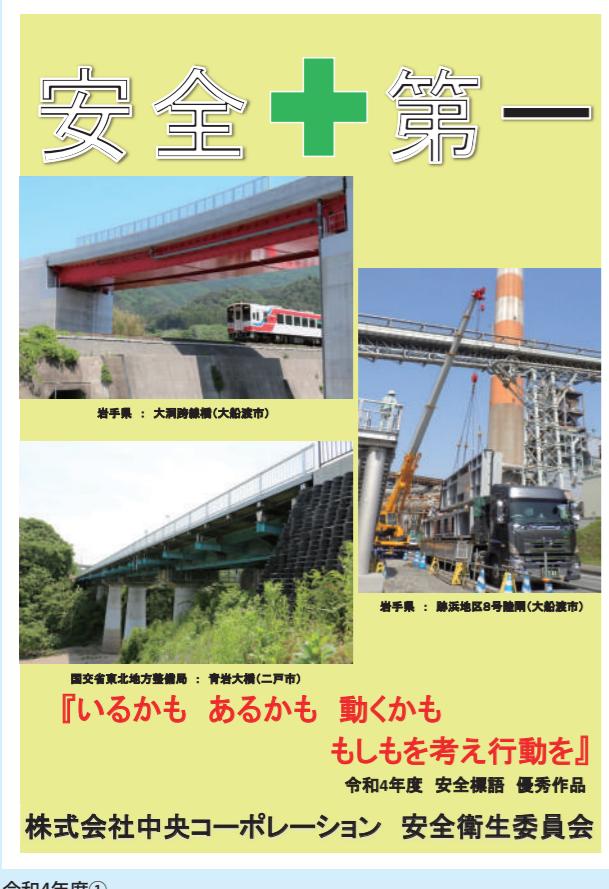
令和3年度



令和4年度③



令和5年度①



令和4年度①



令和4年度②



令和5年度



令和6年度①



令和6年度②



令和6年度③



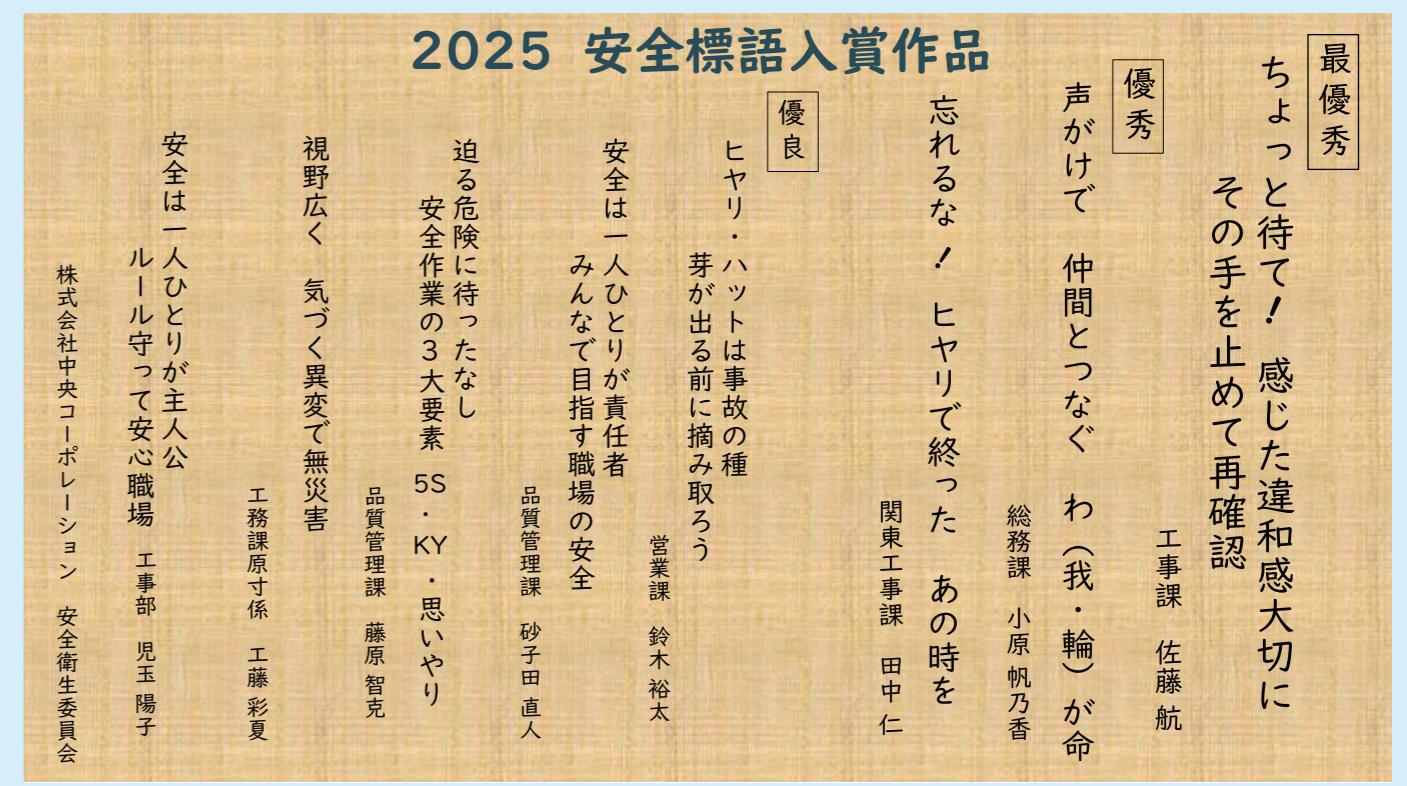
令和7年度③



令和7年度①



令和7年度②



14. 社内ゴルフコンペ結果一覧

回	年月日	会場	氏名	スコア(グロス)	所属
40	平成28年6月11日	盛岡南ゴルフ倶楽部	佐々木 政人	-	(株)トーセン
41	平成28年10月22日	江刺カントリー倶楽部	渡邊 健①	88	奥州銅産(株)
42	平成29年6月3日	盛岡南ゴルフ倶楽部	寺嶋 孝子	86	社員
43	平成29年10月29日	北上カントリークラブ	畠山 寿人①	43(ハーフ)	菅原塗装(現:(株)畠山塗装)
44	平成30年6月16日	江刺カントリー倶楽部	小原 忠美	85	(有)オーピーエス
45	平成30年10月27日	盛岡南ゴルフ倶楽部	菅原 克彦	89	社員
46	令和元年6月1日	盛岡南ゴルフ倶楽部	平木 与一	97	日鉄溶接工業(株)
47	令和元年10月26日	江刺カントリー倶楽部	藤原 正克	90	社員
48	令和2年6月20日	盛岡南ゴルフ倶楽部	鎌田 美美子	88	社外
49	令和2年10月24日	江刺カントリー倶楽部	伊藤 勉	85	(株)トヨタレンタリース岩手
50	令和3年6月19日	盛岡南ゴルフ倶楽部	高橋 伸利	77	第一開明(株)
51	令和3年10月23日	江刺カントリー倶楽部	荒川 昭二	81	日本製鉄(株)
52	令和4年6月18日	盛岡南ゴルフ倶楽部	佐々木 史昭	78	社長
53	令和4年10月22日	盛岡南ゴルフ倶楽部	須藤 祐二	90	サンリード東北(株)
54	令和5年6月3日	盛岡南ゴルフ倶楽部	渡邊 健②	80	奥州銅産(株)
55	令和5年10月14日	江刺カントリー倶楽部	三浦 宏宣	93	(株)七十七銀行 北上支店
56	令和6年6月22日	盛岡南ゴルフ倶楽部	照井 齊	98	社員
57	令和6年10月14日	盛岡南ゴルフ倶楽部	鷹羽 聰	86	(株)岩手銀行 花巻西支店
58	令和7年6月21日	盛岡南ゴルフ倶楽部	畠山 寿人②	86	(株)畠山塗装
59	令和7年10月18日	盛岡南ゴルフ倶楽部	菅野 卓訓	86	日成(株)



第58回優勝 畠山寿人さん

第59回優勝 菅野卓訓さん

編集後記

多くのみなさまにご協力を頂戴し、無事株式会社中央コーポレーション創立60周年記念誌を制作することが出来ました事、心から御礼を申し上げます。

特に座談会、インタビューの章につきまして、関係者の皆様に快く応じて頂きましたことで、内容が充実し、関心を深められる内容となりました。十分な注意を払って編集したつもりですが、なお不十分な点、礼儀を失している点、お気づきの点等あろうと存じますが、それらにつきましてはどうぞ弊社総務部までご連絡賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

2025年11月15日には、ホテルグランシェール花巻にて創立60周年記念祝賀会を開催致しました。ここに祝賀会の一端を掲載し、記録に留めたいと存じます。

1. 参加者 163名 *今回、ご来賓の招待は行わず、社内行事として開催しました
2. 総合司会 FMはなまきアナウンサー 柳原睦子 様
3. ごあいさつ 株式会社中央コーポレーション 代表取締役社長 佐々木史昭
4. 協力会社表彰

□製造関係

- | | | |
|------------|---------|----------|
| ST機電 | 代表 | 照井 悟 様 |
| スチールワークス畠山 | 代表 | 畠山 由二 様 |
| 有限会社高幸工業 | 代表取締役 | 高野橋 芳幸 様 |
| 株式会社畠山塗装 | 代表取締役社長 | 畠山 寿人 様 |

□工事関係

- | | | |
|-------------|---------|---------|
| 株式会社エステック | 代表取締役 | 高橋万里 様 |
| 及川興業株式会社 | 代表取締役 | 及川恭章 様 |
| 株式会社オリテック21 | 代表取締役 | 櫻岡賢拓 様 |
| 株式会社佐々木工業 | 代表取締役 | 佐々木照男 様 |
| 株式会社佐々木電機本店 | 代表取締役社長 | 佐々木 大 様 |

5. OB功労者表彰

- | | |
|----------|---------|
| 元専務取締役 | 菅原 博 様 |
| 元監査役 | 藤原 正克 様 |
| 元取締役製造部長 | 伊藤 誠 様 |
| 元安全部長 | 鎌田秋雄 様 |
| 元製造部次長 | 阿部孝治 様 |
| 元技術部課長 | 酒井正規 様 |
| 元工事部課長代理 | 佐々木竹男 様 |
| 元顧問 | 高橋英彦 様 |

※表示順については順不同につきご了承ください。

- | | |
|--------|--------|
| 元専務取締役 | 菅原 博 様 |
|--------|--------|

6. 受賞者謝辞

7. 石森裕浩さん令和7年度優秀施工者国土交通大臣顕彰受賞紹介

8. 催し物

□早池峰岳流石鳩岡神楽／弊社製造部製造課係長菊池利隆さん出演

演目「祈祷権現舞」

□健康経営取組み 歩数チャレンジ個人表彰

第1位 製造部製造課製造一係 係長 藤原 裕城 平均歩数：10,571歩
第2位 品質管理部品質管理課 主任 北田 広栄 平均歩数：10,259歩
第3位 取締役工事部長 青木 彰人 平均歩数：10,746歩
第4位 営業部営業課 課長 岩渕 学 平均歩数：10,228歩

□中央コーポレーション謎解きゲーム

9. 記念品

□賢治最中本舗&パティスリー・アンジュ／合資会社末廣
シェフ・パティシエ高橋隆悦氏セレクトによる菓子詰め合わせ
(隆悦氏の祖父、末廣元社長高橋慧氏の父、創業者高橋泰助氏は
弊社創業者高橋吉助の末弟にあたる。)



最後に、ご多忙のところ執筆、編集、印刷に多大なご尽力を頂きました株式会社菊忠印刷 菊池忠彦社長様を始めとするスタッフの皆様に心から感謝を申し上げます

株式会社中央コーポレーション創立60周年記念誌編集委員会

委員長 佐々木 史 昭 (代表取締役社長)
副委員長 菅原 克彦 (常務取締役)
委員 高橋 孝典 (常務取締役)
委員 佐々木 政城 (総務部長)
委員 伊藤 俊彦 (総務課長代理)
委員 小原 帆乃香 (総務課員)

協力 菅原 博 (相談役)
藤原 正克 (元監査役)

以上

株式会社中央コーポレーション
創立60周年記念誌

発行日／令和7年12月1日

発行／株式会社中央コーポレーション

〒025-0003 岩手県花巻市東宮野目第11地割5番地
TEL 0198-26-3033 FAX 0198-26-3035

編集／創立60周年記念誌編集委員会

印刷・製本／株式会社菊忠印刷
〒028-0115 岩手県花巻市東和町安俵10区445番地
TEL 0198-42-2511 FAX 0198-42-2378